

第150号

# おとづれ

関西医科大学同窓会



関西医科大学 枚方学舎

大原一枝 名誉教授 追悼号

おとづれ  
第一五〇号

平成三十一年三月

第150号

# おとづれ

一般財団法人 加多乃会



関西医科大学総合医療センター  
「1月のホスピタルガーデン」  
45回生 村田 章

同窓会・加多乃会事務局  
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号  
関西医科大学13F  
TEL 072-804-2171 FAX 072-804-2177  
E-mail : dousouka@hirakata.kmu.ac.jp



患者本位の医療と介護  
<http://www.kaiseikai.or.jp>

理事長  
**出射 靖生 (38回生)**  
 〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町8-1

日本医療機能評価機構認定病院  
**京都回生病院** 京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814  
 TEL (075) 311-5121(代) FAX (075) 314-1843  
 院長: 福井好彦 (39回生) 外科部長: 古形宗久 (46回生)

- 訪問看護ステーション かいせい
- 在宅介護支援センター 京都回生病院
- 訪問リハビリテーション かいせい
- 京都回生病院 デイケアセンター
- 京都回生病院 居宅介護支援事業所

介護老人保健施設  
**ケアセンター回生** 京都府向日市物集女町中海道19番地の5 〒617-0001  
 TEL (075) 934-6888(代) FAX (075) 934-7513

- ケアセンター回生 デイケア
- ケアセンター回生 居宅介護支援事業所
- 訪問看護ステーション第二かいせい
- 向日市北地域包括支援センター

**グッドエイジング リハビリテーション かいせい**  
 京都府向日市寺戸町殿長17 K&Cコート1階 〒617-0002 TEL (075) 934-3319 FAX (075) 934-3318

**クリニック回生** 京都市中京区御幸町通錦小路上ル 〒604-8051  
 TEL (075) 255-0253 FAX (075) 255-0254

- 皮膚科/美容皮膚科/小児皮膚科/内科(金曜AM)  
 外科/整形外科(水曜PM)/リハビリテーション科  
<http://clinic-kaisei.com>
- 在宅診療・訪問看護
  - アンチエイジング リハビリテーション回生
  - 訪問リハビリテーション クリニック回生

日本医療機能評価機構認定病院

**医療法人真生会 向日回生病院**

〒617-0001 京都府向日市物集女町中海道92-12 TEL (075) 934-6881(代) FAX (075) 933-9413  
 外科部長: 堀部 登 (42回生) 内科部長: 生田英夫 (46回生)

- 訪問リハビリテーション向日かいせい
  - サテライトステーション長岡
- <http://shinseikai.jpn.com>

〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目27 マンハイム長岡南棟301号 TEL&FAX (075) 952-7317



京都回生病院



ケアセンター回生



クリニック回生



ほっ。  
 心がかよう、心が安らく、環境づくり。  
 ~心がかよう、心が安らく、環境づくり。~  
**武田病院グループ**  
<http://www.takedahp.or.jp/>



**BRIDGE THE GAPS**

「ブリッジ・ザ・ギャップス(橋をかけよう)」  
 武田病院グループ 副理事長  
 医療法人 財団 康生会 武田病院 名誉院長  
 社会福祉法人 青谷福祉会 理事長

**武田道子**  
 (第26回生)

医療法人 財団 康生会  
**武田病院**  
 TEL.075-361-1351

医療法人 財団 康生会  
**北山武田病院**  
 TEL.075-721-1612

医療法人 医仁会  
**医仁会 武田総合病院**  
 TEL.075-572-6331

指定管理者 医療法人 医仁会  
**精華町国民健康保険病院**  
 TEL.0774-94-2076

医療法人 財団 医道会  
**十条武田リハビリテーション病院**  
 TEL.075-671-2351

医療法人 財団 医道会  
**稲荷山武田病院**  
 TEL.075-541-3371

**宇治武田病院**  
 TEL.0774-25-2500

**木津屋橋武田病院**  
 TEL.075-343-1766

医療法人 財団 宮津康生会  
**宮津武田病院**  
 TEL.0772-22-2157

社会福祉法人 青谷福祉会  
 特別養護老人ホーム **ヴィラ稲荷山**

社会福祉法人 青谷福祉会  
 軽費老人ホーム **ヴィラ城陽**

社会福祉法人 青谷福祉会  
 特別養護老人ホーム **ヴィラ山科**

社会福祉法人 青谷福祉会  
 特別養護老人ホーム **加茂の里**

ケアハウス **あじさい**

社会福祉法人 青谷福祉会  
**城陽市立東部デイサービスセンター**

社会福祉法人 青谷福祉会  
**三条小川デイサービスセンター**

医療法人 財団 康生会  
**武田病院健診センター**  
**武田病院グループ総合窓口** (健診のご予約、  
 健診結果のお問合せ)  
 TEL.075-746-5100

医療法人 財団 康生会  
**山科武田ラクトクリニック**  
 TEL.075-581-0910

医療法人 財団 康生会  
**山科武田ラクト健診センター**  
 TEL.075-746-5100 (武田病院グループ総合窓口)

医療法人 財団 康生会  
**梶井町放射線診断科クリニック**  
 TEL.075-950-5751

医療法人 財団 康生会  
**京都駅前武田透析クリニック**  
 TEL.075-351-9200

医療法人 財団 康生会  
**柳馬場武田クリニック**  
 TEL.075-213-2216

医療法人 財団 康生会  
**康生会クリニック**  
 TEL.075-354-7227

医療法人 財団 康生会  
**たけだ診療所(免疫・遺伝子クリニック)**  
 TEL.075-351-8282

医療法人  
**児玉記念乳腺クリニック**  
 TEL.075-463-9050

社会福祉法人 悠仁福祉会  
**京都認知症総合センター**  
 特別養護老人ホーム **ヴィラ鳳凰**  
 ケアハウス **やまぶき**

社会福祉法人 悠仁福祉会  
**グループホーム鳳凰榎島**  
**複合型施設鳳凰榎島**

医療法人 医仁会  
 老人保健施設 **白寿**

医療法人 医仁会  
 老人保健施設 **いわやの里**

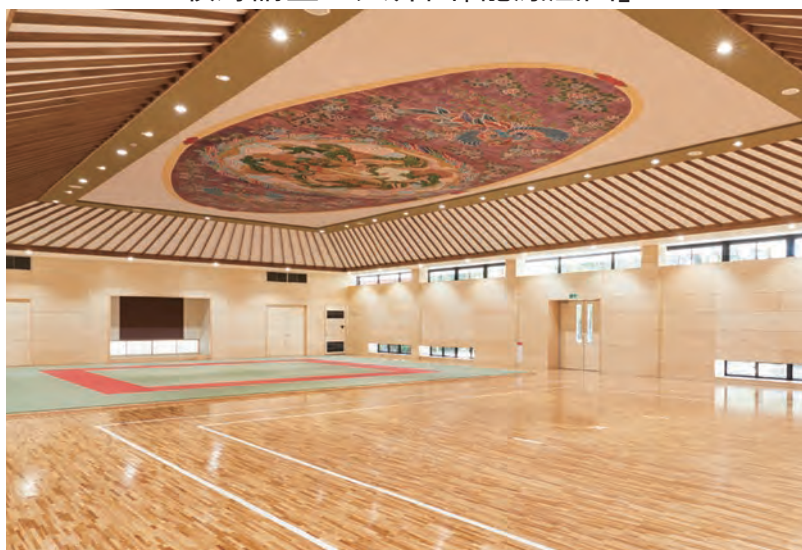
介護付有料老人ホーム  
**あいらの杜 宇治五ヶ庄**

# 関西医科大学創立90周年記念事業

牧野講堂(武道館)



牧野講堂 天井画「龍鳳凰図」



牧野講堂内の高額寄付者のレリーフ



大原一枝氏(4回生)



鮫島美子氏(13回生)



藤森民子氏(13回生)

# 告 示

2019年3月27日

関西医科大学同窓会  
理事・監事選挙管理委員会  
委員長 是 枝 ち づ

## 理事および監事選挙に関する件

関西医科大学同窓会会則 第三章 第6条4、並びに同施行細則 第三章 第7条の定めるところに基づき下記の通り告示する。

### 記

1. 理事および監事を選挙により選出する期日は2019年5月26日とする。
1. 立候補届け出締め切りは2019年4月9日とする。

以 上

理事および監事の選出並びに立候補についての詳細は裏面施行細則をご熟読ください。

----- 切り取り線 -----

### 立 候 補 届 け 出 用 紙

理 事 ・ 監 事 (○をおつけ下さい)

立候補者名			( 回生) 印
専攻科	自開・勤務<勤務先> その他		
推薦者名	1		( 回生) 印
	2		( 回生) 印

(立候補理由)

切り取り線

※ 立候補届け出締め切りは2019年4月9日とする

2019 2020	年度 理事・監事選挙	受付日	2019年 月 日	受付番号	
--------------	------------	-----	-----------	------	--



# 関西医科大学同窓会会則施行細則（抜粋）

## 第三章 理事および監事の選出

- 第 7 条 理事20名以上25名以内 監事2名は評議員会において立候補者中から選挙により選出する
- 第 8 条 選挙に関する事務は選挙管理委員会が管理する
- 第 9 条 選挙管理委員は 正会員中より若干名を会長が任命する
- 第 10 条 選挙の告示は 選挙期日の60日前に行う
- 第 11 条 選挙管理委員会に委員長をおく 委員長は選挙管理委員の互選により選出する
- 第 12 条 選挙は規定の用紙による無記名投票とする
- 第 13 条 理 事 10名連記 監 事 2名連記
- 第 14 条 次の投票は無効とする
- (1) 規定の用紙を用いないもの
  - (2) 連記所定数を超えるもの
  - (3) その他選挙管理委員会が無効と認めたもの
- 第 15 条 得票数が同数で定数を超過するときは 同得票者で抽選によって定める
- 第 16 条 次点者は補欠となることができる
- 第 17 条 役員に欠員を生じ会務に支障をきたす場合は 理事会の決議によりこれを補充することができる 但しこの場合は次の評議員会において承認を得なければならない

## 第四章 理事および監事の立候補

- 第 18 条 理事および監事の立候補者および推薦者は 正会員で会費完納者にかぎる
- 第 19 条 理事および監事立候補者は 指定の立候補届け出用紙に 正会員の推薦者2名を併記し 指定の期日までに選挙管理委員会に届け出る
- 第 20 条 選挙管理委員会は選挙日14日前までに立候補者名簿を作成し 評議員および支部長に提示する
- 第 21 条 立候補者が定数以下のときは選挙は行わず 立候補者をもって理事および監事とする なお不足数は 正会員中から評議員会において選出する

----- 切り取り線 -----

切り取り線



## 目 次 おとづれ 第150号 (同窓会のページ)

会長音信 .....	秋 田 光 彦 .....	1
「おとづれ」第150号の発行にあたって .....	山 下 敏 夫 .....	3
	友 田 幸 一 .....	4
	内 藤 博 江 .....	6
就任挨拶 新任教授のご挨拶 .....	甲 田 勝 康 .....	7
診療教授就任のご挨拶 .....	海 堀 昌 樹 .....	8
胆膵外科診療教授就任のごあいさつ .....	里 井 壯 平 .....	8
外科学講座乳腺外科担当診療教授就任のご挨拶 .....	山 本 大 悟 .....	9
就任のご挨拶 .....	清 水 拓 也 .....	10
就任のご挨拶 .....	堀 井 恵美子 .....	10
会員寄稿		
私立医科大学同窓会あれこれ .....	南 克 昌 .....	12
ニュースあれこれ		
第6回「オール関西医大ゴルフ会」報告 .....	南 克 昌 .....	15
第6回「オール関西医大ゴルフ会」優勝記 .....	戸 倉 敬 雄 .....	15
第6回「オール関西医大ゴルフ会」に参加して .....	雨 堤 賢 一 .....	16
混声合唱団コールクライス第37回定期演奏会 .....	島岡昌幸・木下 洋 .....	19
甲子園OB戦と野球部懇親会 .....	小牟田 清・増田 暉 .....	19
平成31年 関西医科大学同窓会新年会 .....	三 谷 武 生 .....	21
支部だより(九州北部、兵庫、岐阜、和歌山、奈良、高知、静岡、三重、大阪) .....		23
クラス便り(32回生、34回生、51回生、54回生) .....		36
会務報告(平成30年7月～12月) .....		40
学内ニュース 学報ならびに広報より .....		43
研究助成各賞のご案内 .....		48
俳 壇 .....		49
訃報並びに偲び草 .....		51
投稿規定 .....		72
編集後記 .....		73
同窓生の附属病院受診について .....		74



# 会長音信

秋田光彦（34回生）

余寒お見舞い申し上げます。

昨年は災害が多く、各地に多大な被害をもたらしました。北陸豪雪、福井豪雪に始まり、4月の鳥根県西部地震、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨・酷暑、中国・四国地方の大水害、9月には25年ぶりの非常に強い勢力で近畿地方を中心に台風21号が直撃、そして北海道胆振東部地震による被害と1年中起こり、日本列島をほとんど網羅するほどの異例な自然災害に見舞われました。多くの家屋の倒壊、水害、土砂災害等々も起こりました。

同窓生の方々にも多くの被害がありました。幸い死者がおられなかったことはせめてものことと思っております。

災害により被害を受けた皆様に心からお見舞い申し上げます。日本は昔から自然災害が多く、先人達が困難と取り組み闘ってきた努力により、克服し、自然とタイアップし発展してきました。

どうか同窓生の皆さま方におかれましては日頃から災害に対しては充分に備えて頂き、日常の仕事を続けて頂く様お願いいたします。

## 大学について

昨年創立90周年を迎えました。看護学部の開設、牧野講堂（武道館）の完成、国際交流センターの建設準備、創立90周年記念式典・講演会・懇親会が開催されました。その式典では理事長が大学の歴史と、近未来を具体的に紹介され、更なる飛躍を熱く語られていました。私たち同窓生も大いに期待したいところです。

そして山中伸弥客員教授（京都大学iPS細胞研究所所長）の特別講演がありました。

牧野の講堂が武道館として建て替えられ、素晴らしく立派な建物になっていきます。牧野の母校も大変身しておりますので、一度ぜひ訪問してください。この武道館の建設費の大半が同窓生のご寄付と、同窓会ならびに加多乃会の寄付によるもので、玄関に「同窓生の協力により完成された」という顕彰碑が建てられます。母校の発展に寄与し、かつ後輩に何かを残すことが出来ました。これまでの各位のご協力に心からお礼申し上げます。有り難うございました。

さらにこの牧野に、理学療法士、作業療法士の学部設置が計画中であります。介護の方面にも医学教育、看護教育を取り入れるとのこと。今後ますますの大学の発展を期待したいと思います。

本年8月8日より約10日間、第71回西日本医科大学総合体育大会が開催されます。関西医科大学医学部が4年ぶりで主管校になっており、参加校44校、参加者17000人の予定です。学生はこの大会の成功に向けて頑張っております。同窓生の皆さま方も所属されていた各クラブの活躍を激励するために、大会にぜひ行ってください。

## 同窓会について

### (1) 訃報

会員の皆さまに悲しいお知らせがあります。関西医科大学名誉教授、そして関西医科大学同窓会名誉会長である大原一枝先生（4回生）が昨年11月12日に105歳で逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。今号は大原一枝先生の追悼文を掲載しております。

### (2) 同窓会誌「おとづれ」について

同窓会誌「おとづれ」は昭和12年に1号が発行され、今号は150号となります。それを記念して、本のサイズをA5版からA4版とし、

文字も大きくなりました。

(3) 診療教授就任

59回生の海堀昌樹氏が外科学講座（肝臓外科担当）診療教授に、同じく59回生の里井壯平氏が外科学講座（胆膵外科担当）診療教授に平成30年8月1日付で就任されました。

(4) 大学理事と同窓会・加多乃会理事との懇談会

昨年8月18日、毎年恒例の「大学理事と同窓会・加多乃会理事との懇談会」が開催されました。今年で28回目になります。テーマは①経営・管理 ②教育 ③研究 ④診療 ⑤新専門医制度・指導医 ⑥看護学部 ⑦関西医科大学創立90周年記念事業募金 等について懇談しました。最近は大学の発展、大学の経営状況も良いということと和やかな話が出来て有意義な会となりました。

(5) 第6回「オール関西医大ゴルフ会」

平成30年11月4日（日）、田辺カントリー倶楽部（京田辺市）にて64名の参加者があり、例年通り楽しく過ごしたとのこととです

(6) 役員改選

2019年度は、2019・2020年度の役員改選の年にあたります。2月には往復はがきで各クラスの評議員選挙をお願いいたしました。また会員の皆さま方には同窓会に関心をもって頂き、多数の役員立候補で、活気のある同窓会の発展を期待しています。告示ならびに立候補届出用紙は本誌巻頭頁に掲載しておりますので、よろしくお願いたします。

選挙管理委員長 是枝ちづ氏<sup>④⑧</sup>

選挙管理委員 畑埜武彦氏<sup>③⑥</sup> 塚口裕康氏<sup>⑤⑥</sup> 吉田勝紀氏<sup>⑥⑥</sup>

覚道奈津子氏<sup>⑦⑦</sup>

(7) 私立医科大学同窓会連絡会「西部会」「全国会」

昨年9月29日に第28回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」が

愛知医科大学愛橘会の主催で、11月10日に第29回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」が聖マリアンナ医科大学聖医学会の主催のもと開催されました。毎年私立医大29校が楽しい状況でお互い和やかな話が出来ております。

以上大学と同窓会の近況をご報告しました。

今後とも会員の皆様方のご支援、ご協力をお願いします。そして同窓生各位のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

お願い 最近、同窓会費の納入率が低く滞納額が高額になって

おります。ぜひご協力をお願いします。高額滞納者にはご相談に応じますので事務局にご相談ください。



## 会 告

2019年度 関西医科大学同窓会

支部長会・評議員会・総会・懇親会

開催日 2019年5月26日（第4日曜日）

場 所 枚方学舎13階



# 「おとづれ」第150号の発行にあたって

関西医科大学 理事長

山下 敏夫 (34回生)

「おとづれ」第150号の発行にあたって、心からお祝い申し上げます。ここまで育ててこられた歴代同窓会会長、編集者、同窓会員の皆様に敬意を表します。

本誌が第150号発行の節目に、関西医科大学も創立90周年という節目を迎えました。「温故知新」や「歴史は未来の鍵」という言葉がありますように、節目節目に過去を振り返り、そこから多くを学び、心を新たにして未来にはばたくことは大切なことだと思います。そういう意味で、まず「おとづれ」の、そして次に関西医科大学の歴史を繙いてみたいと思います。

「おとづれ」の歴史は大学や同窓会のそれと重なりますが、本学で保存している資料を基に、私なりに整理をしてみました。本学は昭和3年に、同窓会は昭和8年に創立され、そして同窓会機関誌「おとづれ」は昭和12年に第1号が発行されました。初めはタブロイド版でした。年に約3回発行されていましたが、戦時中、紙不足などの理由で休刊の時期があり「おとづれ」も時代の趨勢に翻弄されました。昭和23年に再刊され、まず年に1回、そして昭和28年から原則として年に2回の発行となり、現在まで続いています。

その内容ですが、発刊時は同窓会の会長は校長であり、したがって「おとづれ」の編集は学校側が主体でした。当時の前田 鼎校長が「おとづれ」第1号にその発刊の意義を「母校の消息を伝え、卒業生の動静を明らかにし、また就職情報の提供などを目的として、さらに医師としての必要な最新の知識を供給するために発刊した」と記しておられます。20年近く経過し、昭和36年に民主化の機運に乗って同窓会会長に初めて同窓生である川那部喜美子先生が就任され、それに伴って「おとづれ」の編集は同窓会側が主体となりました。内容も同窓会や同窓生の動向が中心となりましたが、一方、大学の情報や最新の医学・医療知識も伝えるという型は変わらず現在に至っています。さらに今回の150号発行を契機に、本誌のサイズがA5版からA4版になるとのことで、大きな目に見える進歩がなされます。更なる充実が図られますことを期待する一方、私個人的には、従来のA5版で和紙風の表紙の「おとづれ」を手にした時の暖か味も忘れられません。

次に、90周年を迎えた関西医科大学の歴史を踏まえた現況を述べることも私の立場上必要かと思えます。本学は「おとづれ」と同様に進歩を重ね、目に見える変化として、大学本部・学舎、附属病院、総合医療センター、香里病院などほぼ全ての施設が新築され、また新たに看護学部・同大学院が開部し、くずは病院が開院しました。さらに詳しく述べるべきところですが、まことにタイムリーなことに「おとづ

れ」第150号の発送にあたり、本学の創立90周年記念式典・記念講

関西医科大学 学長

友 田 幸 一（45回生）

演会・祝賀会記録集「Anniversary Ceremony Report」が同封されています。その中で「関西医大の90年―歴史と現在に感謝し、未来にはばたく―」と題する私の記念講演の内容が掲載されていますので、それを本学の歴史、現況そして未来の説明に替えさせていただきます。是非ご一読いただき、「おとづれ」や同窓会の歴史と重ね合わせていただき、また本学の将来像について私と一緒に思いを馳せていただければ幸いです。

ややプライベートなお話になり恐縮ですが、私は、今は学校法人の代表の立場にいますが、歴とした同窓生です。したがって卒業後50数年に亘り「おとづれ」を愛読してきましたことになりました。特に6年強の国内留学や3年弱の海外留学で本学を離れていた時期には、「おとづれ」が母校の情報を得る唯一のもので、隅々までしっかり読ませていただいたことを記憶しています。おそらく現在大学を離れておられる大多数の同窓生の皆様は、その当時の私と同じような気持ちで「おとづれ」が届くのを心待ちにし、そこから同窓生や母校の、そして医学・医療の新しい情報を得ておられるのではないかと思います。それを考えますと、私共大学に在籍している者は、益々医学・医療に勤しみ、母校を発展させ、「母校は頑張っている」というメッセージを「おとづれ」を通じて同窓生に発信していきたいと、またそれが私共の義務であると感じを新たにしております。

最後に同窓会の益々の発展と会員の皆様のご多幸をお祈りいたします。

昭和12年9月に同窓会機関誌「おとづれ」第1号が発刊されて以来、82年の歴史を経て150号が発刊されますこと、編集に携わってこられた多くの方々の努力と熱意に対して敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

平成27年4月に山下敏夫学長（現理事長）の後任として、学長に就任して以来、同窓会の様々な活動に参加させていただき、皆様の母校愛と母校への願望を常に感じてまいりました。あらためて学長職の責任の重さに身が引き締まる思いでございます。

さて、この機会を得て本学の教学に関する近況を紹介させていただきます。本学は平成25年に枚方に新キャンパスが誕生し、昨年、創立90周年を迎えたことを契機に、看護学部・大学院が新設されるなど一気に大学の規模が拡がりつつあります。

教育については、平成32年度の国際認証受審を目指して、これまでのカリキュラムの大幅な改革を行っています。教養・基礎統合型カリキュラムや臨床実習時間の充実や単位制度の導入などです。

入試制度については、質の高い学生や志願者数増を意識して、授業料の減額、新たに「特色入試枠」を設け、英語検定、科学オリンピック参加、国際バカロレア資格等のいずれかを有する学生の募集、また「一般・センター併用入試枠」を設け、双方の点数が合算される有利な方式を導入しています。

卒業判定・国試対策については、昨年から12月と1月の2回に分けて卒業判定を実施。国試は、平成30年の新卒93・3%、総合91・4%、私立医科大中17/29位、全国54/80位と回復傾向が見られており、平成31年は新卒95%以上、総合92%以上を目標に対策強化を行っていま

す。また医学教育センター内に新設されたIR部門で、過去のデータベースをもとに卒業判定、国試合格予測も行っています。

講座再編、新設については、2年前から始まり、すでに「臨床病理学講座」、「生理学講座」、「衛生・公衆衛生学講座」、医化学と化学を統合して「医化学講座」に再編。新たにiPS・幹細胞再生医学講座、同応用医学講座、ゲノム編集、ゲノム解析部門の新設。平成31年度は解剖学1、2を統合して「解剖学講座」に再編の予定です。

研究については、平成28年に大学院設立55周年を契機に、医科学専攻の一本化とカリキュラムの改変が行われました。研究者として必要な倫理観、ルールなどを学ぶ共通コースを新設し必修化するとともに、社会人コースを充実し、働きながら研究を続けるための様々なサポート体制を整えています。平成25年度から始まった「研究医養成コース」は、現在14名の学生が選択し、今年初めて卒業生が出ます。また国際大学院構想や基礎・理工系連携大学院など、修士課程の設置認可を予定しています。

科研費等の獲得については、年々増加傾向にあり、平成30年度の採択額は2億5千万円となりました。平成31年度の申請は、若手の申請が増えたことから今後の研究力アップにつながるものと期待されます。大学ランキングについては、THE世界大学ランキング2019版で、本学は世界のトップ800(1000位(898位))と昨年に引き続き1000番以内にランクインしました。国内の1258大学中35位、医科系大学での順位はトップ7位、関西の私立大学中2位となりました。

初期研修・後期専門研修については、2、3年前から初期研修定員の53名はフルマッチ、後期研修専攻医数は昨年度は63名と定員オーバーする科もありました。今年度は一次登録者は、57名、引き続き二次登録開始待ちの状況です。

本学は、今後の疾患の動向、変化そして次代の医学・医療に目を向けて、これから目指す臨床・基礎研究課題は、(1)細胞・臓器再生医療、創薬の研究、(2)がん拠点病院・がんプロをベースにがんを中心とした研究、(3)アレルギーセンター・アレルギー疾患医療拠点病院をベースに免疫・アレルギー分野の研究、(4)ゲノム医療・同拠点連協病院をベースにゲノム医学の研究、(5)中枢・末梢神経系の研究、(6)予防・健康創生医学と介護リハビリなどです。そのために超高齢化社会を視野に、2021年に新たにリハビリテーション学部を設置を進めています。

これから注目される大学は、「世界に開かれた大学」で、充実した留学制度・環境が整い、教育・研究の質が保障される大学であることが重要です。約2年計画で、国際交流施設・留学生の居室・患者家族の宿泊などホスピタリティ機能を備えた、本学のシンボルとしての100m超のタワー棟の建設を予定しています。

本学が誇る建学の精神「慈仁心鏡」と90年の伝統を活かし、独自性と柔軟性をもって、自由な発想のもとに个性的な大学を目指して行きたいと考えています。本学が、「学生にとって魅力ある大学」、「教職員にとって働きがいのある職場」、皆が「誇りをもって語りあえる大学」になることが私どもの願いです。

今後とも絶大なるご支援を宜しくお願い申し上げます。



## 内藤博江(22回生)

「おとづれ」とは、関西医科大学の同窓会誌の名称である。

「おとづれ」第1号が発行されたのは昭和12年9月であった。その後「おとづれ」は戦中戦後の混乱期をも乗り越え、現在に至っている。

この長い歴史を持つ「おとづれ」については、当初は母校関西医科大学並びに同窓会の記念行事等の記録を主体としていたようであったが、次第に成長を遂げ、今や全国の私立医科大学の同窓会の中でも、同窓会誌として高い評価を得るに至っている。

「おとづれ」という誌名の由来については、故大原一枝関西医科大学名誉教授が「おとづれ」第100号の誌上にて詳しく解説しておられる。

それによると、「おとづれ」という誌名は、当時の学内募集で第一席を得た作品名であったという。それ以来、「おとづれ」は同窓生のみでなく、広く多くの人々に読まれ愛され続けていることに大きな感動を覚える次第である。

「新仮名づかい」が一般に使用され始めた頃、同窓会では同窓会誌の名称は「おとづれ」か「おとずれ」かで対立が起こり、ついに論争にまで発展する事態となった。しかし最終的に、誌名は伝統的な「おとづれ」に決定されるに至った。

「おとづれ」に登場した随筆の中で最も強く印象に残っているのは、福島昌彦氏<sup>③</sup>の「あごひげ診療譚」であった。それは思わず「クスッ」と笑わせられるような作品で、多くの読者を喜ばせてくれたのであった。

「あごひげ診療譚」は(その1)から(その65)まで長期にわたり連載されていたが、現在は作者が故人となられ、それが不可能となった。この事態は「おとづれ」にとっても非常に無念である。

私たちが長く楽しませてくれた福島氏に深く感謝する次第である。

大原一枝名誉教授は、「おとづれ」の生みの親であり、育ての親であると申し上げてよい程の絶大なる貢献を果たされた。昨年105歳で天寿を全うされたが、ご逝去の直前まで終生、母校関西医科大学及び同窓会を強く愛し続けられた。母校並びに同窓会に対する貢献は絶大であり、言葉では表しきれないものがある。大原一枝先生の熱いご心情と強力な使命感に深い感謝を捧げると共に、心から幾重にもお礼申し上げます。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### おとづれ原稿募集

(第151号 2019年9月発行予定)

会員各位よりの寄稿を歓迎します。

- ・ 学術記事
- ・ 随筆、紀行文、医療問題、その他趣味  
百一般いずれでも結構です  
会員各位よりの寄稿を歓迎します
- ・ 締切り 2019年6月15日(厳守)
- ・ 送り先

〒573-1010 枚方市新町2-5-1

関西医科大学 13F

TEL (072)804-2171

FAX (072)804-2177

E-mail dousouka@hirakata.kmu.ac.jp

関西医科大学同窓会おとづれ係まで

# 就任挨拶

## 新任教授のご挨拶

関西医科大学 衛生・公衆衛生学講座担当研究教授

甲 田 勝 康 (57回生)



平成30年6月1日付けで、衛生・公衆衛生学講座の研究教授を拝命し、母校に帰ってきました。選考に関わって下さった方々に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。今後は本学の社会医学と臨床研究の発展に尽力いたします。

現在本学では、基礎・社会医学講座の改編に伴い、衛生・公衆衛生学領域の全般を担当する講座として、衛生・公衆衛生学講座が西山利正主任教授のもとに4月1日からスタートしております。また同時に、研究を主たる職務とする「研究教授」の制度が導入され、基礎・社会医学や臨床研究の強化が図られております。

衛生学は1875年に長與專齋がその名を与えた学問で、ドイツ語のhygieneに由来し、日本医学会の部会としては最も古い歴史を持ちます。担当する領域は、健康増進や疾病の発症予防、疾病の重症化予防などです。一方、公衆衛生学も衛生学と同様に予防医学を扱います。

が、我が国においては比較的新しい学問で、太平洋戦争後の社会保障制度改革と共に発展しました。衛生学と比べると、共同社会における組織的な取り組みに重点を置いて、全ての人々が平等に健康を享受する社会を目指している点が特徴だと思います。

私は、平成元年に関西医科大学を卒業しましたが、臨床研修の後は浜松医科大学・公衆衛生学講座に約10年、その後一時は関西医科大学・衛生学講座にお世話になりましたが、近畿大学・公衆衛生学講座にも約10年と、約25年間は母校を離れておりました。この間、日本衛生学会や他の学会の編集委員等を務めつつ、北海道、福島、新潟、静岡、大阪、兵庫、香川、沖縄等の市町村で地域住民を対象とした疫学研究を行ってきました。25年間続けている小児期からの生活習慣病予防に関する研究では、教育委員会や保健センターと協力しながら研究を展開しております。加えて15年前からは、日本人成人女性母集団を代表とする Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) cohort study で骨粗鬆症の研究を行っています。さらに10年前からは、Fujiwara-kyo Osteoporosis Risk in Men (FORMEN) study において、奈良県在住男性高齢者の生活習慣病に関する追跡研究も行っています。これらの研究に共通しているのは、単に研究データを収集するだけでなく、研究成果を対象者や住民に還元し、一連の活動で築いた信用を生かして対象地域を拡大してきたことです。

私は現在、本学の臨床研究支援センターを兼務し、臨床研究の研究デザインや生物統計についての相談会を行っています。今後は、これまでの経験を活かし、学内や病院の先生方とも連携して、本学における臨床疫学の発展にも尽力する所存であります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 診療教授就任のご挨拶

関西医科大学 外科学講座（肝臓外科担当） 診療教授

海堀 昌樹（59回生）



平成30年8月1日付で、外科学講座肝臓外科担当診療教授を拝命いたしました。ご推挙いただきました多くの先生方に心よりお礼申し上げます。またこれまでご指導、ご支援賜りました関西医科大学各位の皆様へ厚くお礼申し上げます。

私は、1991年に本学を卒業し、同外科学講座ならびに関連病院において外科学全般にわたる修練を行い、1997年に京都大学移植外科で生体肝移植術を学びました。2002年より当院初の生体肝移植術を開始し、2010年までに総数29例の移植手術を行ってまいりました。現在では安全丁寧な合併症を起さない細心の手術を行うことをポリシーとして、年間100例以上の原発性肝細胞癌、転移性肝癌、胆管癌などの肝切除術を指導医および執刀医として担当しております。今後さらには「手術手技の確さ」、「手術進行の円滑さ」、「術野の完成度」を肝に銘じ手術手技を精進していく所存です。

研究面におきましては、病態の原因解明のための基礎研究に始まり、新しい手術術式の開発、術後合併症克服の工夫、新しい医療機器開発のトランスレーショナルリサーチが外科学の発展のためには必須のものとして認識し、実践してまいりました。基礎と臨床ともに興味のある外科研究者の育成を目標とし、今後も大学院生や研究生を数多く指導し

ていきたいと考えております。また私が関与しております文部科学省科学研究、厚生労働科学研究、日本医療研究開発機構、寄附講座での研究を今後もさらに発展させていきたいと考えております。

これまで諸先輩が築き上げてこられました、関西医科大学の学内外での肝臓外科診療の信頼をさらに強固なものにするともに、若手外科医の育成へも力を注いでいきたいと考えております。関係各位におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしく御願ひ申し上げます。

## 胆膵外科診療教授就任のごあいさつ

関西医科大学 外科学講座（胆膵外科担当） 診療教授

里井 壯平（59回生）



関西医科大学開学90周年の良き年である平成30年8月1日付で、外科学講座胆膵外科担当診療教授を拝命いたしました。

小生は関西医科大学（以下、本学と略）を卒業後、一般外科研修・大学院課程を修了し、英・仏・独で計1年半の間、肝胆膵・移植外科の臨床ならびに研究に従事しました。本学へ帰学後は、主に胆膵外科医として積極的に臨床研究を主導し、術式および周術期管理の標準化・後進の育成に努めてまいりました。2005年までは年間30〜50件の胆膵外科手術が、



2006年以降は年間150〜170件に増加し、現在の手術件数とその成績は本邦において有数の施設となっています。

また、難治癌である膵癌において、平成12年より完治を目指すべく世界に先駆けて集学的治療を導入してきました。他施設にて切除不能と診断された場合でも精査にて切除可能と判断できる場合や、強力な化学療法、さらには精密な放射線照射の後に切除可能となることがあるため、積極的に進行がんの集学的治療に取り組んでいます。中でも極めて予後不良で癌随伴症状が高率に出現し、有効な治療法のない腹膜転移癌に対して、抗癌剤の腹腔内投与を行うレジメンを導入し、良好な成績を収めました(Satoi S et al. Ann Surg 2017、先進医療Bに承認(2017年(先1269)第3号))。さらに胆膵領域疾患は緊急対応を要することが多く、当院での緊急診療体制の整備、地域連携の確立、後送病院の確保を行うことで、患者さんとその家族にとって安心・安全で、満足度の高い診療が受けられる体制を構築しております。

これからも、胆膵外科はチーム医療をモットーとして難治疾患に取り組み、国内のみならず欧米・アジア各国とも連携し臨床研究を推進し、治療の標準化を追求すると共に、高度外科医療(低侵襲ならびに高難度手術)を実践してまいります。微力ながら、胆膵外科、外科学講座、本学附属病院ならびに本学のますますの発展に寄与して参りたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

## 外科学講座乳腺外科担当診療教授

就任のご挨拶

関西医科大学 外科学講座(乳腺外科担当) 診療教授

山本 大悟



平成30年8月1日付で外科学講座乳腺外科担当診療教授を拝命しました。

これまで関西医大で研鑽を積んで参りました臨床の知識や技術を後進に伝え発展させていくと共に、研究面でも新たな発展を目指したいと考えております。

乳癌の診断・治療はこの20年間で大きく

変わりました。以前は主流であった乳房切除術は少なくなり、現在は乳房温存療法が全体の60%に行われています(日本乳癌学会調べ)。乳癌手術では、術前に薬物療法で腫瘍を縮小させて縮小手術を行うこと、センチネル(見張り)リンパ節生検の結果から腋窩リンパ節郭清を省略することなど、患者様に優しい手術を心がけています。乳房切除術が避けられない場合にも、形成外科の協力で自己組織やインプラントを用いた乳房再建術なども積極的に取り入れています。乳房インプラントが保険償還されてから、より幅の広い乳房再建ができるようになりましたが、未だ解決すべき問題点が数多く残されており、乳癌領域は診断分野でも様々な新しいデバイスが出てくることが予想され、飛躍的に発展する分野と考えております。薬物療法では、国内外の治療や臨床試験に積極的に参加し、新薬剤や治療法の開発、予後因子や効果予測因子、そしてバイオマーカーなどのトランスレーショナル研

究に関わっています。特に、進行乳癌に対するホルモン療法や遺伝乳癌に対する診療研究は高いレベルにあると言えます。大病院としての最新、最善の診断・治療を尽力してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

## 就任のご挨拶

関西医科大学 医学部医化学講座 教授

清水 拓也



平成30年7月1日付で関西医科大学医学部化学講座の主任教授を拝命いたしました。前任の伊藤誠二教授から伝統ある当講座を引き継がせていただくことになり、この重責に身の引き締まる思いでございます。

私は「薬は何故効くのか？」という単純な疑問からスタートして、昭和61年に金沢大学薬学部に進学し、学部では有機化学を学びました。有機化合物を合成し、核磁気共鳴等により化合物の構造を決定していく中で、(有機化合物である)薬物が(タンパク分子としての)受容体にどのように認識され、生体内で作用しているのか、興味を持つ様になりました。平成7年に京都大学大学院医学研究科に進学しました。京都大学では、創薬の重要なターゲットとなつているGタンパク共役受容体(GPCR)の一つであるプ

ロスタグランジン(PG)受容体の生理的・病態生理的役割の解析を行いました。その後、GPCRの結晶構造解析により原子分解能レベルで薬物と受容体の結合様式を明らかにしています。私は、個々の分子の立体構造に基づく機能発現メカニズムの解明から、それらの分子の細胞での働き、さらに個体(In vivo)でどのような生理的、病態生理的な役割を果たしているのかまで、多次元での解析と統合的な理解を目指したいと考えています。

## 就任のご挨拶

関西医科大学 理事長特命教授

堀井 恵美子



2018年9月1日付で整形外科理事長特命教授を拝命いたしました。

私は1979年に京都府立医大を卒業後、名古屋大学整形外科教室に入局して研修を始めました。整形外科の中でも手外科を専門分野として研究をはじめ、1989年Mayo Clinic (U.S.A) Biomechanics Lab.に留学しました。ここで手関節・肘関節の解剖とバイオメカニクスを研究テーマとして勉強しました。臨床部門では、

小児先天異常に対する機能再建を専門として、小児病院と連携して臨床にあたってきました。2006年8月までは名古屋大学にて大学院生・学生指導を行ってきましたが、同年9月より名古屋第一赤十字病院にて、より臨床活動に重点をおくとともに、研修医に対する実践指導を行ってきました。

関西医大の整形外科は、脊椎外科・関節外科の二分野で突出した業績を収めてこられたので、“手外科”という分野は、大学においては若干目新しい分野になるかと思えます。手外科は、外傷学の基本だけでなく、高齢化社会の中で上肢の機能再建は将来重要課題でもあり、整形外科教室の三本目の柱として育てていくことが私に課せられた仕事と考えております。

関西医大整形外科二代目教授の小川亮恵先生に、手外科の中でも特にリウマチに関してご指導いただいたことが記憶にあります。卒業以来関西とは縁がなく過ごしてまいりました。また、大学を離れて以降、臨床指導に重点をおいてきましたので、基礎研究の部門では十分なことはできかねると思えます。臨床部門として手外科を作り、関西医大の将来を担っていく若い方々の指導に全力を尽くし、関西医大の成長にお役に立てるよう頑張つてまいる所存です。ご指導をよろしくお願い申し上げます。



## 医療法人 藤井会

理事長 藤井 弘史 (59回生)

### 藤井外科

〒579-8004 東大阪市布市町3丁目6番21号  
TEL (072) 985-3051

### みくりや診療所

〒577-0034 東大阪市御厨南2丁目6番3号  
TEL (06) 6787-2508

### 石切生喜病院

〒579-8026 東大阪市弥生町18番28号  
TEL (072) 988-3121

### 大東中央病院

〒574-0042 大東市大野2丁目1番11号  
TEL (072) 870-0200

### 深江クリニック

〒537-0002 大阪市東成区深江南3丁目22番13号  
TEL (06) 6977-2955

### 住道クリニック

〒574-0046 大東市赤井1丁目13番1号  
TEL (072) 872-9555

### 藤井会リハビリテーション病院

〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号  
TEL (072) 983-7811

### 北河内藤井病院

〒575-0003 四條畷市岡山東3丁目1番6号  
TEL (072) 879-5311

### 香芝生喜病院

〒639-0252 奈良県香芝市穴虫3300番地3  
TEL (0745) 71-3113

### 藤井会ケアプランセンター

〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号  
TEL (072) 983-7806

### 藤井会新石切デイサービス

〒579-8014 東大阪市石切町1丁目8番22号  
TEL (072) 987-5005

### 藤井会訪問看護ステーション

〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号  
TEL (072) 983-7622

### 看護多機能施設さくら

〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号  
TEL (072) 983-7633



# 会 員 寄 稿

## 私立医科大学同窓会あれこれ

南 克 昌（38回生）

私は昭和45年（1970）3月、関西医科大学を卒業（38回生）しました。卒業後10年程、大学に残りましたが、その後、今の病院に来て、38年経ちました。年をとると、若い時を懐かしく思います。私も同窓会年齢となりました。15年程前に、ある先輩に推され、同窓会大阪支部の役員となりました。そして、5年前からは、同窓会本部の役員も兼ねております。

私は高校の同窓会にも時々行きますが、6歳を過ぎると、サラリーマンであった友人は定年退職し、再就職しても数年しか続かず、自宅で年金生活を過ごす人が多いようです。同窓会では、昔の話ばかりで現実感が乏しく、もう一つしっくりこないような感じで終わります。

その点、医大同窓生は、資格社会の恩恵を受け定年の無い人が多く、定年があっても医師として同じような環境で生活・仕事を続けている人が多いからか、同窓会でも、昔の話とともに、いつまでも現役としての話ができますので、生活感があり、生き生きとしたものになります。

「関西医科大学」は昭和3年（1928）に、「大阪女子高等医学専門学校」として創設され、昭和22年（1947）には、学制改革で「大阪女子医科大学」となり、昭和28年（1953）には男女共学、

翌、昭和29年（1954）には「関西医科大学」と改称しております。本年6月に創立90周年を迎えました。

卒業生は8千余名おり、その内6千余名は健在で、年齢も20歳台から100歳以上の幅広い年代の会員がおります。全国に30支部がありますが、大学キャンパスが枚方にあるので、京阪神在住者が多く、中でも大阪が多くなっております。

同窓会役員は、事務所が枚方の学舎内に同居するので、遠方の同窓生は毎月の理事会に出席し難く、どうしても京阪神在住者が多くなるという傾向があります。また元々女子医専なので、年長者に女性が多く、同窓会役員も女性が多かったようですが、今は男性役員の方が多くなっております。15年前からは、同窓会会長も男性となっております。

任意団体である「関西医科大学同窓会」は、財務部門強化の為、昭和38年に、同窓会創立30周年記念事業として「加多乃会特別基金」を併設し募金を開始、これを基に、平成49年4月「財団法人加多乃会」を設立（平成25年10月「一般財団法人加多乃会」に移行）しました。

「関西医科大学同窓会」と「一般財団法人加多乃会」は、お互いの長所を生かし運営されております。

「学校法人関西医科大学」・「関西医科大学同窓会」・「一般財団法人加多乃会」は組織・会計上はお互いに独立していますが、毎年8月第3週土曜日に、各理事者が集まり、現状報告・意見交換を行っており、良好な関係を保っております。

同窓会の目的は、1. 会員親睦、2. 母校の発展に寄与、3. 医学を通じての社会貢献ということで、いろいろな事業を行っております。具体的には、3年に一度名簿を更新作成、前年度まで会費完納者に配布し、年2回同窓会誌を発行します。そして、年1回の総会・支部長会、毎月理事会を開催し、支部会開催を奨励しております。学生・研究者にはいろいろな賞（2、400万円）・補助金を交付し、医師向

け・市民向けの医療講演会なども主催しております。

その為の財源は、会費徴収が主となりますが、最近では収納率（80%弱）が徐々に低下しており、運営上の問題となっており、会費も年会費（8,000円）徴収という方法よりも、卒業時の終身会費（15万円）徴収という方法に変えつつあります。これ以外に、不定期ですが、同窓先輩諸氏の寄付があります。思わぬ大金の寄付で、我々も驚かされることがあります。この寄付金の積み重ねが基金となり、会費収入の不足分を補っております。

ところで、全国には、82校の医学部・医科大学がありますが、60校以上が戦後に設立されたものです。私立の医学部・医科大学は31校あります。古くは、1920年代に設立された慶応大学医学部・東京慈恵会医科大学・日本医科大学の3校があり、続いて戦中・戦後、主に学制改革期に、50校あった医学専門学校や臨時医専が廃校、或いは医科大学として10校が残りました。関西医科大学もこの内の一校となります。この13校が私立の旧設校と言われます。1970年代に医科大学新設ブームがあり、私立で16校のいわゆる医学部・医科大学が増設されました。これらが新設校と呼ばれる大学です。新設校と言っても、既に40年以上の歴史を有しております。

その後、しばらく日本では私立の医学部新設はありませんでしたが、平成28年（2016）に東北医科薬科大学（仙台市）、平成29年（2017）に国際医療福祉大学（成田市）が開学しました。しかし、まだ卒業者はおらず、同窓会はありません。

50年前に、大阪の2校（大阪医科薬科大学と我々の関西医科大学）と、九州の久留米大学医学部の3校を除く10校で、毎年「私立医科大学同窓会連絡会東部会」が開催されるようになりました。その後、28年前に、新設校も含め29校の私立医学部・医科大学同窓会代表が集まり、年1回11月に「全国私立医科大学同窓会連絡会・全国会」が、当

番校持ち回り制で開催することになりました。27年前からは、その内、名古屋以西の11校の同窓会代表で集まる「全国私立医科大学同窓会連絡会・西部会」が年1回9月にあります。私は4年前より、関西医科大学同窓会代表の一人として、この両会合に出席しております。

いずれも各校代表2〜4名位が集まり、当番校は多くの理事と共に、大学の理事長・学長・院長なども同席します。アンケート報告・討論・講演会後、懇親会では他校卒業の方々とも、懇談、各校同窓会の実状をも聞くことができます。そして、趣向をこらした余興もあり、和やかな雰囲気のとります。

因みに、「第28回全国私立医科大学同窓会連絡会西部会」は、2018年9月には愛知医科大学同窓会が当番校となり名古屋で11大60人が集い開催されました。次回2019年9月には、近畿大学医学部同窓会が当番校となり、大阪で開催される予定です。ここでは、同窓会組織・運営、支部・支部会活動、名簿・ホームページ、学生と同窓会の関わり、大学と同窓会の関わり、同窓会の事務組織、同窓会活動と活性化方策などのアンケート結果が報告、討論され、懇親会では、いろいろな情報交換がなされます。

2018年11月の「第29回全国私立医科大学同窓会連絡会全国会」は、聖マリアンナ医科大学同窓会が当番校となり、東京で29大学160人が集い開催されました。この時は、「東部会」・「西部会」・「全国会」の報告の後、聖マリアンナ大学非常勤講師 室伏由佳氏による「アスリートから見たアンチ・ドーピング」という講演があり、医師も関わりの深いドーピング問題が伝えられました。次回2019年11月には、愛知医科大学同窓会が当番校となり、名古屋で開催される予定です。

関西医科大学同窓会も既に、「西部会」は平成4年（1992）・平成7年（1995）・平成24年（2012）の3回、「全国会」は



第28回全国私立医科大学同窓会連絡会西部会

平成11年（1999）・平成17年（2005）の2回と、何回も当番校を務めております。

総合大学、医療系学部を併設する医科大学、単科の医科大学と、いろいろな種類・規模の大学が集まる私立医科大学同窓会連絡会では、自校の大学・同窓会しか知らない私にとっては、「目から鱗が落ちる」ものも沢山あります。例えば、入学時に同窓会終身会費を納付するところ、大学が同窓会費を徴収しているところ、医局に入局したものは他大学卒業者でも同窓会員とするところなどがあります。また、アンケート結果・懇親会の話などを聞くと、組織も任意団体から法人といういろいろな同窓会運営方法があることが判ります。概して、新設校の方が大学との結びつきが強く、同窓会理事者にも大学人が多い様で、旧設校の方が大学と一定の距離を置き、その独立性が高い感じがあります。このような私立医科大学同窓会連絡会の貴重な経験を、今後の同窓会活動に生かしていきたいものです。

## お知らせ

超高齢化の世情に鑑み、高齢会員に対しての同窓会費支払い免除が提案されていたが、平成22年10月の理事会で承認を得た。関西医科大学同窓会会則施行細則「高齢又は健康上の理由によって、届け出により会費を免除することができる」に準じ書面による届けの提出を求めるとした。

### 対象は1～18回生（平成31年度）

往復ハガキに免除の希望の有無と同時に、名簿、"おとづれ"、その他の総会関連以外の郵送物の要・不要の記入を求めた。向後 毎年1回生毎に対象範囲を拡大する。



# ニユースあれこれ

## 第6回「オール関西医大ゴルフ会」報告

世話人 南 克 昌（38回生）

第6回「オール関西医大ゴルフ会」は、平成30年11月4日（日）に、昨年と同じ、田辺カントリー倶楽部において開催されました。

「オール関西医大ゴルフ会」は、平成25年に枚方カントリークラブにて、同窓会創立80周年・財団法人加多乃会設立40周年記念事業として行われた「記念ゴルフコンペ」が起源となっており、前回より同窓会が協賛し、同窓会事業の一つとなりました。

今年も、加賀典雄氏<sup>③⑨</sup>を総務に、西村完生氏・岡崎俊治氏<sup>③⑥</sup>、立岩二郎氏<sup>④①</sup>、小林誉典氏<sup>④⑧</sup>を世話人に、山下敏夫理事長<sup>③④</sup>、友田幸一学長<sup>④⑤</sup>、澤田 敏附属病院長<sup>③⑧</sup>や多くの教授も参加し、64名で競技が行われました。

11月4日は、晴れの特異日とされる11月3日（文化の日）の翌日、好天下、絶好のゴルフ日和、アウト・インとに分かれてスタートしましたが、各9組と多いので、スタート時の開会式はなく、競技終了・入浴後、ゴルフ談義にふけり、表彰式を行いました。久しぶりに顔を合わす方々も多く、会は和やかな内に進みました。

優勝は、香川県善通寺市より駆けつけた戸倉敬雄氏<sup>④⑨</sup>（ダブルペリア方式、42・43）で、山下敏夫理事長から理事長杯、同窓会から優勝

盾が授与されました。ベストグロスには雨堤賢一氏<sup>⑤④</sup>（43・39）、他にも、準優勝・3位・5位・7位・ブービー賞・ニアピン賞・ドラコン賞などがあり、嬉しそうな受賞者の顔が思い浮かびます。

その後、同窓会からは、平成31年1月20日（日）正午より、帝国ホテル大阪で開催される「同窓会新年会」には、是非今日以上のご参加をとのお願いがあり、世話人からは、来年の第7回「オール関西医大ゴルフ会」は2019年10月22日（火・祝「即位礼正殿の儀」）に、ここ「田辺カントリー倶楽部」で開催しますので、ご参加下さいとの案内があり、盛会裏に終了しました。

今回も85歳となる先生を迎え、山下理事長は、自分をはるかに上回る大先生に、百歳社会の実現を垣間見るように驚嘆しておられました。このような方々と、ゴルフを通じて一日お付き合いできる会の意義の深さを感じ取り、有効にご利用いただければ幸いです。脳外科・小児科などは同門会ゴルフとして利用していただいております。同級会ゴルフにも是非ご利用下さい。縦に、横につながり、この会が同窓会の主要な目的である「会員相互の親睦」に、大いに役立つことを期待しております。

## 第6回「オール関西医大ゴルフ会」優勝記

戸 倉 敬 雄（49回生）

このたび優勝させていただきました戸倉と申します。現在、香川県で開業しております。この会のことは「おとづれ第146号」で加賀

典雄氏<sup>③⑨</sup>が、会の発足のいきさつを詳しく書かれていましたので知っておりまして。いつか機会があれば参加したいと思っていたところ、お世話人で組み合わせ担当の小林誉典氏<sup>④⑧</sup>のご厚意で参加することができました。

今回の会場は近年続けてこの会が開催されている名門の田辺カントリー倶楽部でした。倶楽部ハウスの受付カウンター周囲やロビーは伝統を感じる作りで、コースは素晴らしく整備されており、特にグリーンの上がりには感動しました。また、すべてのスタッフが気づかいのある応対をしてくださいました。このような名門ゴルフ場で休日には大きなコンペを開催できるのは、山下敏夫理事長<sup>③④</sup>がこのゴルフ場の理事をされているおかげと思っております、ありがたく感謝申し上げます。

さて、当日は天候に恵まれコースコンディションは抜群でした。私のプレーの内容ですが、前半のアウトの3番ではセカンドショットを2段グリーンの下段に乗せることができましたが、上の段のカップに向かって打ったパットが段を上りきらず元の場所まで戻ってきてしまいました。結局4パットを要しましたが、残念というより、このような速いスピードのグリーンでゴルフができることに喜びを感じながらラウンドしておりました。後半のインは二つのショートホールを共にダブルボギーとし、ダブルペリア方式のハンデ計算では大変不利な結果になってしまいました。そのため、表彰式での順位発表の時はリラックスして聞いておりました。いよいよ優勝者の名前が発表されたときに私の名前が呼ばれ、本当にびっくり仰天してしまいました。持ち回りの優勝トロフィー、副賞、理事長賞、同窓会会長賞と立て続けに頂くことになり、優勝スピーチを考える時間もないくらいでした。この会では、優勝するとスピーチ以外に優勝記を書くことが義務ということはわかっていましたが、お世話人の方からもう一つの義務を言い渡されました。それは次回の会にも必ず参加するようというこ

とです。今回は連休の二日目で、香川県から来るのでも時間の余裕があったのですが、次回は会の前日の診療を終えた夜に家を出発して駆けつけるつもりです。

ところで、他のことでも通じることと思いますが、ゴルフにおいてもプレーするにはある程度の健康、時間、費用が必要です。これらの条件が整ってゴルフができていくことに感謝しつつ、今後も楽しみたいと思っております。

最後になりましたが、同組でプレーしていただいた方々には和やかに楽しくラウンドさせていただき感謝申し上げます。また、この会を運営していただいたお世話人の方々、同窓会事務局の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 第6回「オール関西医大ゴルフ会」に参加して

雨 堤 賢 一 (54回生)

平成30年11月4日(日) 田辺カントリー倶楽部に於いて開催された第6回「オール関西医大ゴルフ会」にて念願のベスグロ賞を頂き、この上なく喜んでおります。

思い返せば5年前、初めて参加した第2回オール関西医大ゴルフ会終了後の懇親会にて、70台でベスグロ賞を颯爽と受け取る立岩二郎氏<sup>④①</sup>を羨望の眼差しで見えていたものです。

是非私も立岩氏のようにベスグロを取りたいという夢を密かに抱き、オール関西医大ゴルフ会が田辺カントリー倶楽部で開催されることも

あり、4年前に一念発起して田辺カントリー倶楽部に入会しました。

しかしながら入会しただけで腕が上がる訳はなく、90台がやっとという状態が続きました。昨年と同ゴルフ会でも98を叩いて、げんなりして帰ったことを覚えております。そんな訳でこの日のベスグロ賞は、天にも昇る気分でした。

振り返ると、1番で50センチのパーパットを外してしまい、4番までボギー続き、「次はパーが来るかダボが来るか?」と思った途端、花道からの3打目がトップして奥の斜面へ行きダボ。今日もいつも通りかと肩を落としていたところ、これまで一度しかワンオンしたことがない難しいショット6番でユーティリティでナイスショット、ワンオンワンパットのバーディ。これで息を吹き返し、なんとかアウト43でホッと一息。

午後は、11番でナイスショットが2つ続き、田辺カントリー入会後初の2オンでパー、続く12番、グリーンエッジからランニングアプローチがトップして「やってしまった!」と思ったらピンに当たってバーディ(当たってなかったら奥から3パットしていたかも、ラッキー)、17番でシャンク気味のミスショットでグリーンから遠い方の手前のバンカーに入れピンチ、これをなんとかボギーでしのげたおかげでインは39。トータル82。好スコアが出た理由は、1・5m位までのパットが1番を除いてほぼ決まったことです。パットが人一倍苦手な私としては驚くべきことでした。実はボール位置を変えてみたことが奏功したようです。私は左眼が利き目です。利き目の真下にボールを置くことがセオリーとは知っていましたが、そこにボールを置いても左過ぎると感じてしまい、プレーしだすと結局両足の真ん中にボールを戻して打っていました。この日は我慢して左眼の真下に置き続けて打ったところ、ラインが見えるように感じ、パット数が30に収まりベスグロ賞に繋がったように思います。

5年前の初参加の時に憧れたオール関西西医大ゴルフ会でのベスグロ賞を頂けたことを誇りに、また次回のオール関西西医大ゴルフ会に向け、練習を重ねていきたいと思っております。毎年楽しみなこのオール関西医大ゴルフ会が恒久的に開催されることを願っております。参加者が総勢64名にも及ぶ盛大な会の開催のためにご尽力下さった全ての皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

組合せ (\*印:学内在籍者)

OUT

1	8:42	山下 敏夫*	34	南 克昌	38	立岩 二郎	41	吉村 匡史*	64
2	8:49	友田 幸一*	45	友田 隆子	45	笹 英彦	46		
3	8:56	谷川 昇*	-	柄川 武子	34	神原 達也*	66		
4	9:03	杉崎 俊照	47	雨堤 賢一	54	城 信雄	64	宮島 理乃	55
5	9:10	澤田 敏*	38	鍛冶田 英俊	53	高田 達良	53		
6	9:17	高山 康夫*	50	北庄司 浩三	45	戸倉 敬雄	49	高井 惣一郎	51
7	9:24	大草 世雄	50	西川 睦彦	52	大澤 昭朗	53	宮島 茂夫	55
8	9:31	浅井 昭雄*	-	田中 衛	-	染田 邦幸	-	森脇 祥文	37
9	9:38	埜中 正博*	-	亀井 孝昌*	79	宮田 真友子*	83	内藤 信晶*	84

IN

1	8:42	飯田 寛和*	-	加賀 典雄	39	柏村 宗弘	39	砂川 正興	39
2	8:49	東 洋一	32	河島 祥彦	51	山崎 雅裕	56	阿呉 夢 相達	-
3	8:56	小林 誉典	48	楠瀬 直孝	48	高田 俊行	48	北出 浩章	56
4	9:03	頼 将烈	53	清水 秀和	53	毛利 晃之	55	三宅 豊	56
5	9:10	木下 利彦*	49	西村 完生	36	中山 堯之	40	三谷 武生	48
6	9:17	田中 浩	36	水野 紳司	43	高橋 義公	43	山岸 和矢	46
7	9:24	中川 満	31	笠原 勝	37	尼子 明久	43	卯西 元	47
8	9:31	中村 彰利	50	岡崎 仁志	50	緒方 肇	51	奥田 晃司	63



# オール関西医大ゴルフ会 (2018年11月4日(日))



競技方法：ダブルペリア 隠しホール：OUT \*\*\* \*\* IN \*\*\*\*\*  
 田辺カントリー倶楽部 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱

順位	氏名(回生)	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	順位	氏名(回生)	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	戸倉 敬雄 (49)	42	43	85	13.2	71.8	33位	宮島 茂夫 (55)	50	51	101	21.6	79.4
2位	谷川 昇 (教授)	46	45	91	19.2	71.8	34位	神原 達也 (66)	56	49	105	25.2	79.8
3位	加賀 典雄 (39)	48	45	93	20.4	72.6	35位	田中 衛	53	51	104	24.0	80.0
4位	友田 幸一 (学長 45)	50	50	100	26.4	73.6	36位	高井 惣一郎 (51)	57	58	115	34.8	80.2
5位	浅井 昭雄 (教授)	43	41	84	9.6	74.4	37位	小林 誉典 (48)	47	43	90	9.6	80.4
6位	中川 満 (31)	52	49	101	26.4	74.6	38位	楠瀬 直孝 (48)	61	49	110	28.8	81.2
7位	高田 達良 (53)	43	45	88	13.2	74.8	39位	宮島 理乃 (55)	52	57	109	27.6	81.4
8位	笹 英彦 (46)	44	43	87	12.0	75.0	40位	澤田 敏 (病院長 38)	47	55	102	20.4	81.6
9位	高橋 義公 (43)	42	44	86	10.8	75.2	41位	友田 隆子 (45)	61	57	118	36.0	82.0
10位	頼 将烈 (53)	51	41	92	16.8	75.2	42位	西村 完生 (36)	58	59	117	34.8	82.2
11位	砂川 正興 (39)	49	48	97	21.6	75.4	43位	中山 堯之 (40)	55	56	111	28.8	82.2
12位	立岩 二郎 (41)	48	42	90	14.4	75.6	44位	吉村 匡史 (64)	60	57	117	34.8	82.2
13位	山崎 雅裕 (56)	49	52	101	25.2	75.8	45位	城 信雄 (64)	51	53	104	21.6	82.4
14位	清水 秀和 (53)	48	44	92	15.6	76.4	46位	高田 俊行 (48)	56	53	109	26.4	82.6
15位	鍛冶田 英俊 (53)	47	45	92	15.6	76.4	47位	木下 利彦 (49)	57	56	113	30.0	83.0
16位	北庄司 浩三 (45)	52	45	97	20.4	76.6	48位	岡崎 仁志 (50)	58	58	116	32.4	83.6
17位	雨堤 賢一 (54)	43	39	82	4.8	77.2	49位	笠原 勝 (37)	47	50	97	13.2	83.8
18位	柏村 宗弘 (39)	50	49	99	21.6	77.4	50位	柄川 武子 (34)	60	59	119	34.8	84.2
19位	緒方 肇 (51)	50	55	105	27.6	77.4	51位	山岸 和矢 (46)	50	50	100	15.6	84.4
20位	大草 世雄 (50)	46	41	87	9.6	77.4	52位	河島 祥彦 (51)	49	57	106	21.6	84.4
21位	西川 睦彦 (52)	50	43	93	15.6	77.4	53位	埜中 正博 (診療教授)	62	59	121	36.0	85.0
22位	田中 浩 (36)	49	49	98	20.4	77.6	54位	三谷 武生 (48)	64	55	119	31.2	87.8
23位	大澤 昭朗 (53)	49	49	98	20.4	77.6	55位	東 洋一 (32)	64	58	122	33.6	88.4
24位	毛利 晃之 (55)	52	45	97	19.2	77.8	56位	三宅 豊 (56)	59	57	116	27.6	88.4
25位	内藤 信晶 (84)	56	53	109	31.2	77.8	57位	南 克昌 (38)	53	63	116	26.4	89.6
26位	森脇 祥文 (37)	56	52	108	30.0	78.0	58位	奥田 晃司 (63)	58	64	122	32.4	89.6
27位	飯田 寛和 (特命教授)	55	53	108	30.0	78.0	59位	卯西 元 (47)	64	62	126	36.0	90.0
28位	高山 康夫 (50)	55	52	107	28.8	78.2	60位	亀井 孝昌 (79)	64	56	120	30.0	90.0
29位	北出 浩章 (56)	56	54	110	31.2	78.8	61位	中村 彰利 (50)	59	60	119	28.8	90.2
30位	染田 邦幸 (名誉教授)	51	46	97	18.0	79.0	62位	杉崎 俊照 (47)	60	68	128	36.0	92.0
31位	山下 敏夫 (理事長 34)	52	49	101	21.6	79.4	63位	尼子 明久 (43)	67	71	138	36.0	102.0
32位	水野 紳司 (43)	49	52	101	21.6	79.4	64位	宮田 真友子 (83)	76	70	146	36.0	110.0

理事長賞・同窓会会長賞：戸倉 敬雄④ ベストグロス：雨堤 賢一⑤④

## 混声合唱団コールクライス第37回定期演奏会

コールクライスOB会代表世話人

島岡 昌幸 (38回生)

木下 洋 (42回生)

平成30年11月18日(日)午後2時から、天満橋ドーンセンターで関西医科大学混声合唱団コールクライスの定期演奏会が盛況のうちに開催された。混声合唱団は昭和38年に発足、昭和44年から対外的な定期演奏会を行っている団員40名の本学最大級のクラブである。秋田光彦



H30.11.18 天満橋ドーンセンター

同窓会会長⑳からは祝電を頂戴し、会場には四方伸明加多乃会副会長㉔夫妻、なつかしい名誉教授の方々、旧職員、学生、関西の合唱界の聴衆が会場に集う中、学歌「のぞみ」で厳粛に開幕した。

さすがに40名の卓越した歌唱力での「栄光の架橋」や「麦の唄」は圧巻で感動的である。混声合唱組曲「いのち」の演奏もすばらしく、心にしみる演奏であった。喝采の拍手に続くアンコール曲「瑠璃色の地球」では、多忙な医学部6年間の勉強の中、演奏会をなした本学学生達のひたむきな姿に感銘をうけた。

閉幕は、50年の長きにわたり歌い

継がれている伝統の部歌「夜の歌」(阪田寛夫作詞、佐々木伸尚作曲)とナレーションで団旗の照明が次第に暗転し、会場からの拍手のもと今年の定演を終了した。観客は学生達の感謝のストーム演奏を受け、花一輪を手にすばらしい演奏会の余韻を感じつつ会場を後にした。

コールクライスは、医学部入学式、看護学部入学式、同窓会総会懇親会、開学90周年記念式典・祝賀会、白菊会総会、香里病院院内コンサート、同窓会新年会で感動的な美しい演奏を披露している。JOB K(現NHK)に出演した記録がある大阪女子高等医専・女子医科大学時代のコーラス部(顧問・故大澤忍婦教授)の伝統をくみ、学歌「のぞみ」を継承して学内行事や対外的活動に邁進し、学長賞も受賞した大学屈指のクラブに成長している。学生時代、この定期演奏会のステージで活躍され、本年逝去された竹森和正㉓、相良宝作㉔両君に心から哀悼の意を捧げます。

同窓会会員の皆様方には、来年11月の第38回定期演奏会のご案内・ご招待チケットを発送させていただきたく、ぜひご一報賜りますれば幸いに存じます。

## 甲子園OB戦と野球部懇親会

準硬式野球部OB 小牟田 清 (49回生)  
現役部員代表 増田 暉 (3学年)

甲子園球場。野球をする者であれば誰もが一度は憧れる場所です。大阪桐蔭高校の春夏連覇の躍進や、流行語大賞の候補にもなった「金

足農旋風」は今も記憶に新しいことでしょう。毎年のようにドラマが起きる甲子園球場。この野球の聖地に私たち関西医科大学準硬式野球部のOB・OGの方々と現役部員が集い、そしてその思い出をここに記す日が来ようとは。

2018年11月25日。甲子園球場にて、OB・OGの方々とその関係者、現役部員を含む総勢約100名でOB戦が行われました。関西医科大学準硬式野球部の関係者がこれほど集まったことは嘗てなかったのではないのでしょうか。甲子園球場の偉大さを改めて感じるとともに、準硬式野球部のOB・OGの方々の力を集結させると、これほどまでに大きなムーブメントを起こせるということをもっと感じました。OB戦では、多くの方々と甲子園球場という素晴らしい球場で久々に野球を楽しむことができ、現役部員の勇姿も見ることができました。



H30.11.25 甲子園球場

した。懇親会では、OB・OGの方々と交流を持つことができ、多くの方々の貴重なお話により、関西医科大学準硬式野球部の歴史に触れることができました。野球の聖地甲子園球場での一日を大成功のもと終えることができたことを、大変嬉しく思います。

来年の西医体は、私たち関西医科大学が主管を務めます。これを機に、現役部員・OB・OGの方々との結束を強めることができればと考えております。過去に一度、関西医科大学は西医体の主管を務めています。そして、主管を務めたその年に、準硬式野球部は優勝を果たしました。主管という大変

な任務をこなしながら優勝したというこの業績は、今でも関西医科大学準硬式野球部の誇りでもあります。

近年は、上位に食い込むこともなく、少し物足りなく感じているところでもあります。そのため、主管を務める今年はその再来として、西医体優勝をOB一同願っていることでしょう。昨年の秋リーグでは、久々の優勝を果たしており、また、実際に甲子園にて現役部員の戦いぶりを見て、今年の西医体は大いに期待できると感じました。約40年ぶりの西医体優勝を祈念して、OB・OG一同が力を合わせて、現役部員を支えていきましょう。

最後になりましたが、この場をお借りして、甲子園球場にて行われましたOB戦にご協力いただきましたたくさんの方々にお礼を申し上げます。また、今回はご都合が合わず参加できなかった皆様、今後OB・OGの方々が旧交を温められる機会を設けられればと考えております。そのような機会には是非ともご参加ください。また、今回のOB戦を機に、OB会を設立いたしました。部誌などの配布も考えております。お知らせなどに関しましては、改めて現役部員からご連絡いたします。OB・OGの方々と現役部員が力を合わせ、関西医科大学準硬式野球部のますますの発展に力を注ぎましょう。

## ー お 願 い ー

各種新聞に掲載されたもので同窓会員に関心のある記事を「ニュースあれこれ」のページで紹介しておりますが、必然的に編者の目にとまる地区が主として近畿地方に限定されております。これを更に広い範囲より取りあげたいと思いますので、各地区、各領域で、身近に活躍された方々の記事がございましたら、新聞を切り抜いて編集部までお送り下さい。



## 平成31年 関西医科大学同窓会新年会

三 谷 武 生 (48回生)

平成31年の関西医大同窓会新年会は、総勢66名の出席をもって1月20日(日)正午より帝国ホテル大阪3階「白鷺の間」において、大阪支部の担当で開催されました。

南 克昌大阪支部副支部長<sup>③⑧</sup>の司会で始まり、まず開会の辞として杉岡武彦大阪支部支部長<sup>③②</sup>がご挨拶させて頂きました。昨年創立90周年を迎えることができたことは同窓会としてもこの上ない慶びであったと述べたのち、同窓会の歴史にも触れつつ、誇れる同窓会であるためにも同窓生の親睦が何より大切であることを訴えました。

続いて「仕舞で祝う新春」と題した見事な舞を観させて頂きました。山田日出美大阪支部顧問<sup>②⑨</sup>より、この日舞って頂く能楽師の大西智久氏、大西礼久氏、今村哲郎氏の紹介がありました。大西氏は親子で重要無形文化財でもあられ、日本でも指折りの能楽師とのことでした。また、披露された曲目、「高砂」、「巴」、「猩々」についても、その内容が詳しく解説されました。

そして司会が中山堯之大阪支部理事<sup>④⑩</sup>に移り、秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup>よりご挨拶を頂きました。昨年は自然災害が多く大変な年であったが、大学としては創立90周年を無事迎えることができ、牧野キャンパスには同窓会が一緒になって立派な武道館を建てることができましたことなど喜びを語られました。また今年は西医体の主管ということもあり、同窓会として支援していくことへの要請も述べられました。続いて水野孝子加多乃会会長<sup>②⑨</sup>がご挨拶に上げられ、創立90周年を迎えられたこと、今本学が素晴らしい状況であることに對し、山下理事長に感謝

の辞を述べられました。また105歳で天寿を全うされた<sup>故</sup>大原一枝名誉会長<sup>④</sup>を偲び、その思いを語られました。

続いてご来賓のご挨拶を賜りました。まず山下敏夫理事長<sup>③④</sup>からは昨年の創立90周年事業に対しての物心両面の支援に感謝しているとお言葉を頂きました。今後の計画として、牧野キャンパスに6階建てのリハビリテーション学部学舎、また枚方キャンパスには、国際交流センターを含み、また留学生あるいは患者様ご家族の宿泊施設をも兼ね備えた地上100mのタワー棟、これは枚方市のランドマークになるのではないかとのことでした。さらに、附属病院別館の建設など、そして一方では、地域医療連携法人の認可が目の前であることなどを述べられました。このように大学としては一步一步進んでおり、立ち止まるわけにはいかない、今年は100周年に向けてのスタートの年であるとも語られました。

次に、友田幸一学長<sup>⑤</sup>からご挨拶を頂きました。昨年巷を賑わした医学部入試不正問題でも本学は全くの汚点もなく、これにより志願者数の増加を期待し、また国試対策として、留年生、浪人生の学力を合格基準まで上げることができているとのことでした。一方、研究資金の確保の成果が表れ始めているとのこと、基礎講座の再編によっても研究面の充実が期待できるようになったとも述べられました。国際大学院制度を検討しており、アジアのレベルアップに貢献し、世界に開かれた大学でありたいと話されました。最後に、大学と同窓会が両輪となり100周年を迎えたいと結ばれました。

そしていよいよ山谷陽一郎大阪支部監事<sup>③⑩</sup>の発声での乾杯となり、懇親会がスタートしました。徐々にお酒がすすんでいくうちに、各々があちこちで挨拶に回ったり話し込んだりと和気藹々の雰囲気の中、来年の新年会担当となる京都支部請田修一支部長<sup>④⑨</sup>からその案内がありました。



そしていよいよ宴もたけなわ、関西医大コールクライスにより  
 「糸」「瑠璃色の地球」が披露され、学歌「のぞみ」を全員で斉唱、  
 そして妹尾次郎大阪支部副支部長⑦からご出席頂いた皆様への感謝の  
 言葉での閉会の挨拶、最後に全員で集合写真に収まり、名残惜しくも  
 散会となりました。



# 支部だより

## 九州北部支部会の皆様へ

暑中お見舞い申し上げます。梅雨が明けるや高温多湿の不順が続き、熱中症の搬送が連日報道されています。皆様のお身体はいかがでしょうか。

さて、平成30年7月8日の支部会は、大雨被害による交通混乱のため急遽中止といたしました。出席予定であった秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup>はじめ遠来からの方々にはご面倒をおかけしました。

近年の日本列島は “忘れないうちにやってくる” 災害続きで、このたびの大阪地震と西日本豪雨では被害に遭われた同窓の方々が多数おられることと推察いたします。そこで、支部会を年内に再度開催することを考えましたが、おそらく本部からの来賓や皆様のご予定が合致する日程を見つけることは困難と思ひ、今回は例年通りに2019年7月第1日曜日に開催いたしますので、ご参加のほどをよろしくお願ひします。

以上をお知らせいたします。猛暑の中、皆様のご健勝を祈ります。

支部長 平田哲郎（43回生）

事務局 三根 茂（43回生）

## 兵庫支部

### 第14回兵庫かたの会ゴルフコンペ報告



H30.11.23 三木ゴルフクラブ

平成30年11月23日（祝）、同窓会兵庫支部、姫路支部で年1回行われている「兵庫かたの会ゴルフコンペ」が三木ゴルフクラブにて開催されました。毎年、この勤労感謝の日を恒例としていますが、今年は土曜日を挟んでの3連休の方もおられたのか、参加者が8名と少なく（例年3〜4組、12名）、少数精鋭（？）のコンペとなりました。

当日、早朝は冷え込んでいたため、色々と着込んでスタートしましたので、身体も動きにくく、ボールもあっちこっちにとっ散らかっていましたが、日が高くなるにつれて暖かさも感じるようになり、徐々に上着を脱ぎながらのプレーとなりました。身軽になったからといって決して球筋が安定した、というわけではないのですが、とにかく小春日和を満喫し、先輩後輩入り交じり和气藹々と楽しい一日を過ごすことが出来ました。

成績は、皆さん仕事がお忙しいのか、グロスふた桁が一人だけという結果でしたが、逆にゴルフを始めたばかりの方でも気軽に参加できるコンペとなっているのではないかと思います。なかなか若い人がゴルフをしてくれないと言われる昨今、門戸を思いっ切り広げてお待ちしておりますので、兵庫県にお住いの方はぜひともお声掛けください。



出席者 柄川武子<sup>③④</sup> 丹家元陽<sup>④①</sup> 丹家聖仁 由井雄一<sup>④③</sup>  
大杉幸男<sup>④⑦</sup> 楠瀬直孝<sup>④⑧</sup> 東 章悟・石井洋光<sup>⑤④</sup>

東 章悟 記（54回生）

## 岐 阜 支 部



H30.7.21 たか田八祥

平成30年7月21日、今年も同窓会から秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup>をお迎えし、岐阜市にあります「たか田八祥」にて恒例の岐阜支部会を開催いたしました。

岐阜支部会は約50名の会員を有し、毎回15名前後の参加があります。毎年5月に枚方で開催される支部長会に参加しておりますと、会員が集まらなくて会が成立しないといった寂しいお話を伺いますが、岐阜支部会は毎回盛会が続いております。

今年もレギュラーメンバーに加え、超久々に参加の芥子川逸和氏<sup>⑤①</sup>、そして初参加の石黒 聡氏<sup>⑤②</sup>、若いところで北田善彦君<sup>⑥③</sup>、早野 賢君<sup>⑥④</sup>にご参加頂きました。個人的には同級生の今村 寧君<sup>⑥⑤</sup>の参加が嬉しかったです。彼は大々的に事業を行って大変多忙なため、会

の日程が内々定の段階で捕まえておかないとなかなか参加に至りません。（笑）

さて、私の拙い開会の挨拶の後、秋田会長から関西医科大学と同窓会の現状を伺いました。滝井に新しくできたホスピタルガーデンのお話では、地図と写真と自身の記憶を重ね合わせながらも皆さん想像を膨らめますが、壮大すぎて今一つイメージが湧かないようでした。私は5月に訪問してりましたのでよくわかりました。我々の聖地として、皆さんも一度は訪れて頂きたい名所です。

その他にも、関西医科大学が極めて順調に未来に向かって成長し続けていると感じる数々のエピソードを伺うことができました。自分の人生には何の関係もないだろうと思いつつ、何故か高揚します。私が研修医の頃に伺っていた暗い話は、完全に過去の思い出話になったようです。

さて、秋田会長からお話を頂いた後は、例年ですとミニレクチャーを開催しており、若手の会員に自身の得意分野についてビジネスアピールも兼ねて？ご発表頂いております。今年は、膠原病というコアな領域で岐阜市民病院という地域の基幹病院でご活躍の藤岡 圭君<sup>⑦③</sup>にレクチャーをお願いしようと（私が勝手に）心に秘めていたのですが、あいにく彼もこの日に自身の病院のイベントで発表があるとかで、今回参加が叶いませんでした。私も自院の患者さんが何人か彼のお世話になっていきます。来年は宜しくお願いいたしますね。

そんなわけで、各自で情報交換を行い、スキルアップを図ることとなりました。料理が進み、お酒が少々入ったところで、毎回恒例の会員による近況報告をお一人ずつ頂きました。会員の皆さんのお話は、同窓のよしみもありいつも新鮮です。毎回同じお話を聞くのも何故か新鮮です。そんな中、皮膚科クリニックを開業して頑張っている坂義経君<sup>⑦④</sup>が最近マスクミを賑わしている通り、梅毒の患者さんを時々

## 和歌山支部

見かけること、また彼自身のライフワークである真菌についてアカデミックなお話をしてくれました。ついつい一回引き込まれてしまい、質問なんかも出てしまい、ちよつとしたミニミニレクチャーになっていました。こんな所も先輩・後輩だけが集う支部会の楽しいところですよ。

今年は秋田会長がご多忙故、当日大阪にお帰りになるという強行スケジュールでしたので、皆で秋田会長をお見送りし、そのまま流れ解散となりました。まだ幾つかのグループに分かれ名残惜しい立ち話が周辺の電柱を背に行われていましたが、今年も無事閉会となりました。来年も7月に開催を予定しております。

毎年、同じ文章を記しておりますが、岐阜の地にあつて少々マイノリティーではありますが、こうして各診療科にまたがった会員が集まりますと、ちよつとした勢力になります。所属医局とはまた違った絆を感じる事ができます。今年参加できなかった会員の皆さん、次回初参加の皆さん、来年は是非ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。今年初参加してくださった皆さん、引き続き来年もご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。きつと良いことがあります。

出席者 秋田光彦同窓会会長・小倉茂則<sup>34</sup> 三輪 是<sup>39</sup>

野木森一博<sup>43</sup> 河合 潔・横山榮祐<sup>46</sup> 奥野文隆<sup>47</sup>

芥子川逸和<sup>50</sup> 石黒 聡<sup>54</sup> 平岡哲也<sup>56</sup> 平岡実子<sup>57</sup>

操 潤<sup>58</sup> 今村 寧・小島啓志<sup>62</sup> 熊田充起<sup>66</sup> 坂 義経<sup>71</sup>

北田善彦<sup>76</sup> 早野 賢<sup>84</sup>

小島啓志 記(62回生)



H30.7.22 ホテルグランヴィア和歌山

平成30年7月22日、和歌山支部会をホテルグランヴィア和歌山で開催いたしました。

梅雨明けの暑さ厳しい真夏日でしたが、5人の会員の出席、同窓会本部から秋田光彦同窓会会長<sup>34</sup>にお越し頂きました。

会長からは、毎年毎年めざましい発展を続ける関西医科大学の業績、財務、研究など、滝井の総合医療センターの現況、患者様や近隣の方々への憩いの場を提供するホスピタルガーデン、地域に密着して発展を続ける香里病院、リハビリを中心としたくずは病院、新たに開設された看護学部、90周年記念式典などのお話をうかがい、参加者一同、理事長・学長をはじめ全職員のご活躍にただ感心するばかりでした。

乾杯の後、恒例の食事会となりました。5人と少ない出席者でしたが、秋田会長とともに昔を思い出し、学生生活、クラブ活動、新米医者頃の思い出話に盛り上がり、時間の経つのも忘れてしまうほどでした。

今年も出席された方々に近況報告をして頂きました。(敬称略)

金川龍一<sup>44</sup> 海南市医師会会長の任務を終え、5月から和歌山県眼科医会の会長をしている。開業して28年が過ぎた。これからは旅行、畑仕事をしながら、医業も頑張る。

大谷英世<sup>④</sup> 開業して20年目である。フルマラソンに参加して16年になる。あと10年は走ろうと思う。だから仕事を10年間頑張る。

高田俊行<sup>④</sup> 平成6年に妻（内科）といっしょに開業して24年目である。最近、近所の先生方が引退されたので、ますます忙しくなってきた。大阪で薬剤師をしている娘や、医大に通っている娘に会いに行くのが楽しみである。

中村昌弘<sup>⑤</sup> 開業をして17年になる。娘が嫁に行ったのでさみしくなった。最近は酒の量も少し減ってきた。まだまだ仕事を頑張る。山口守道<sup>⑥</sup> まだ開業して3年である。医師会などからの仕事が続々と回ってくるので、仕事に追いかけていられる毎日である。仕事を楽しみながら頑張っている。

来年の支部会は7月21日（日）正午からホテルグランヴィア和歌山で開催します。毎年少ない参加者ですが、大変楽しい会です。来年は是非ご参加ください。

大谷英世 記（44回生）

## 奈良支部

平成30年度奈良支部会は、恒例のあやめ館で盛夏の最中の7月28日に、秋田光彦同窓会会長をお迎えして執り行われました。母校の現況と話題を伺いました。

看護学部と大学院が4月に開講され、関西医科大学は、医科専科大学から医療系総合大学となりました。よって、より良質の医療サービスと看護サービスの両方が、バランス良く、しかも迅速に提供できる



H30.7.28 あやめ館

ことでしょうか。さらに大学本部と学舎の枚方への新築移転をきっかけに起こった診療実績の増大と健全財政への改善傾向は、着実に続いていると伺いました。大学関係者皆様の努力と苦勞の成果とあります。母校の施設と設備が整い、教育環境が充実してきました。この環境で、未来の関西医科大学を支える人材を、手塩にかけて育成してほしいです。

今回の特別講演は、油長酒造蔵主第13代 山本嘉彦様から「日本清酒発祥の地 奈良より、次の世代へ向けて酒造り」という演題でご講演頂きました。蔵主は、平成16年関西大学工学部を卒業、阪急百貨店勤務の後、平成20年油長酒造入社、平成27年代表取締役就任されました。

日本酒生産量は昭和52年がピークで、現在の生産量はピーク時の3分の1となっております。多くの酒造元は、濾過精製技術を応用して劣化しにくい酒を製造しています。うま味が濾過され、どの酒も均一化された同じ味がします。さらに、アルコール耐性乳酸菌が濾過され

発酵が中断され、味の変化を楽しむことができなくなりました。生酒は、飲み終わるまで日々味が変化します。生酒は、舌の上で転がせて、そのとろみと立体感を楽しみます。生酒の絞られた味の楽しみます。油長酒造先代が造った「風の森」を、13代蔵主がそのクオリティを保持し向上させ、全国版にしました。インフラ整備と冷蔵技術の進歩、さらに工学部で培った科学力と、長年の数々の工夫



と取り組みが、生酒「風の森」の目標とする酒質を実現しました。当日、支部会員各位に差し上げたおみやげの「風の森」はお気に召しましたか？

出席者 秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup> 小野 魏・高宮晋一<sup>③⑤</sup> 倉 一彦<sup>③⑦</sup>  
砂川正興<sup>③⑨</sup> 石田雅俊・竹内大志・堀内忠樹<sup>④⑥</sup> 杉崎俊照<sup>④⑦</sup>  
山田真未<sup>⑤⑨</sup> 村上修一<sup>⑧⑩</sup>

杉崎俊照 記(47回生)

## 高知支部

平成30年度高知支部会は9月1日(土)高知市の城西館「孔雀の間」で開催されました。今回は、同窓会本部に無理をお願いし、軟式



H30.9.1 城西館

庭球部の大先輩である柄川武子理事<sup>③④</sup>をお迎えしました。

会の始めに、「関西医科大学への」の大学案内2018の冊子を配られました。最近の大学の様子について、柄川理事にお話しして頂きました。附属病院および枚方学舎は13階建ての大きな建物であり、緑の芝生が美しいキャンパスは広く清潔に保たれています。13階からの眺望は、奥に淀川とその河川敷もあり、ゆったりとした景

観です。学生の学習法も変わり、一人で勉強するより、数人で集中して勉強の方が効率よく勉強が捗るようです。このため、3〜4人が集まれる勉強部屋が6部屋くらい準備されています。我々が勉強した環境とは全く異なる様相です。国家試験の合格率を上げるための施設と言えます。

現在、大病院の経営状態も好調であり、今年、京阪樟葉にリハビリテーションを中心とする新しい病院ができたそうです。詳細は不明ですが、過去の病院の転売や、野球・サッカー場・テニスコートなどのグラウンドの売却を知る我々にとっては、こうした状況を見るのは同窓生として大変嬉しいことです。

柄川理事のお話の後、記念写真を撮影しました。もう一度席に戻り、ビールで乾杯して会食となりました。鯉のタタキも含めた刺身などの会席料理を堪能しました。お酒は苦手の女医の方も生ビールは進むようです。

柄川理事のご希望で出席者の自己紹介をしました。

岩崎智子氏(精神科)・玉木三和子氏(皮膚科)<sup>②⑩</sup>はお二人とも現役でご活躍中です。瀬戸 匠氏(呼吸器内科)・近森正昭氏(泌尿器科)<sup>④⑤</sup>、浜田栄幹氏(耳鼻科)<sup>④⑨</sup>、宮野伊知郎氏(公衆衛生学)<sup>⑥④</sup>、吉岡 廣(循環器内科)<sup>④②</sup>です。

今回は出席者が少なく7名であり、柄川理事を含めても8名でした。幹事の不手際と反省しています。

翌日は高知黒潮カントリークラブで柄川理事、瀬戸氏、私吉岡でゴルフをしました。黒潮コースでラウンドしました。午前中は雨の予想もありましたが、幸い降られずに気持ちよいコンディションでした。シングルの瀬戸氏はさすがに上手で、飛距離もよく出ます。小休止して昼食をとり、後半を回りましたが、昼からは気温も上昇し暑いくらいで、無事雨に降られずにラウンドできました。前回、柄川理事には

雨により前半3ホール目に雨中パットができない状態で中断したことを思い出しましたが、今回リベンジが叶いました。この後、JRで神戸にお帰りになる柄川理事を南国市後免駅でお見送りしました。

出席者 柄川武子同窓会理事③④ 岩崎智子・玉木三和子②⑩

吉岡 廣④② 瀬戸 匠・近森正昭④⑤ 浜田栄幹④⑨

宮野伊知郎⑥④

年会費納入者

近森万鎖子①⑦ 坂本サチ子・吉川田鶴恵②⑩ 酒井顯浩・和田建夫③⑧

中田恵朗④⑩ 近森文彰⑤⑦ 近藤志保(父兄)

本当にいつも年会費を有り難うございます。次回のご出席をお待ちしています。

吉岡 廣 記(42回生)

## 静岡支部

今回で18回となる支部総会は、平成30年10月21日ホテルアソシア静岡に於いて開催された。

会に先立ち、昨年叙勲を受けられた溝口明範支部長④⑩をお祝いした。精神科医として長年の功績をたたえられ、70歳での受章に至る道のりをお話しされた。

同窓会本部から柄川武子同窓会理事③④がお見えになり、大学の現状と来年度の入試制度について詳しく説明をされた。

50年近い年の差もあるなか、総勢一つのテーブルで会食しながら懐かしい話や近況について全員から報告があり、穏やかに会は進行した。



H30.10.21 ホテルアソシア静岡

今年度より始まった静岡県地域枠で入学した5名の学生が、静岡市立静岡病院で実習することが決まり、静岡支部の方々にも学生実習への支援をお願いした。

久しぶりの参加や新加入会員のおかげで参加者17名と盛会裏に終わった。

支部総会のあと、平成30年11月26日より30日の間、5名の一回生の学生が1泊2日の静岡市立静岡病院での臨床実習に参加した。静岡の土地を知り、なじめれば卒業後は静岡県内で勤務することとなる。これまでの第三内科から静岡市立静岡病院への医師出向から、大卒と静岡県地域医療との関係が一層強化される。

出席者 柄川武子同窓会理事③④ 北村佐千子②⑨ 宮地邦彦③③

村上隼夫③④ 溝口明範④⑩ 日比育夫・村上泰秀④①

土田博和④③ 豊田高彰④⑨ 木村貴彦⑤② 中川明彦⑤④

小柳津竜樹・加藤 淳⑤⑤ 星野勝一⑥⑨ 山下哲史⑦⑧

丸山修平⑧① 佐野泰樹⑧②

小柳津竜樹 記(55回生)

## 三重支部



H30.11.18 ホテルグリーンパーク津

平成26年以来開催が途絶えていましたが、今年やっと開催することが出来ました。このところ参加人数が減少傾向にあり、一人でも多くの同窓生に参加して頂くようと考え、会場は前回と同じく近鉄・JR津駅に近接してあるホテルグリーンパーク津の宴会場を利用しました。前回は過去の開催と曜日・時刻を変えて土曜の夕としましたが、参加が少なかつたため再び日曜の昼に戻し11月18日11時～

14時としました。  
勤務医療機関等をインターネットで検索した結果、同窓会本部から提供された名簿には県内在住でないと思われる同窓生が含まれていたため、その内の66名に対して支部会の案内状を送り、戻ってきた30通の内10名が出席の返事でした。もしこの記事を読まれて三重県在住または勤務で案内が届いていないという同窓生が居られたら、私に連絡をお願いします。(メール nagasaki34@hotmail.com) 返信はがきの同窓生のメッセージには「今回は所用があり参加できないが次回は出席したい」との声が多くあり、支部長としては嬉しい限りです。

三重支部会当日は11月中旬にしては暖かく、秋晴れの清々しい同窓会日和となりました。前日に残念ながら体調不良のため1名の欠席連絡があり、三重支部会の参加者は10名となりました。同窓会本部から

は前回に引き続き秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup>にご出席頂きました。最初に秋田会長から関西医科大学と同窓会の現状についてのお話をして頂いた後、参加者全員の自己紹介を卒業年度順に行いました。

松阪市で婦人科開業をされている松本郁子氏<sup>③⑥</sup>(旧姓友田)は初参加でした。他の方に乾杯の挨拶をお願いする予定でしたが、その方が欠席されたため、松本氏に突然お願いしたにも関わらず快く引き受けて頂きました。

四日市の山中胃腸科病院の院長である淵田則次氏<sup>④⑧</sup>は四日市医師会長を退かれた後も忙しい日々を送っておられるようです。

三重郡朝日町でやましたこどもクリニックを開業されている山下美代子氏<sup>⑤⑨</sup>は2年前に大阪から三重県に来て小児科開業され、今回が初参加です。

志摩市で小児科開業されている関 志麻子氏<sup>⑥⑩</sup>(旧姓池田)は同じ日の午後に行われる研究会にどうしても参加する必要があり、会の中で皆に惜しまれながら帰られました。

いなべ市で整形外科開業されている渡邊治彦氏<sup>⑦⑪</sup>は同級生の関氏と久しぶりの再会で盛り上がっていました。

伊賀市で内科開業をされている紀平久和氏<sup>⑧⑫</sup>はこの同窓会の開催にいつも協力して頂いています。

四日市羽津医療センターで消化器内科勤務の中川直樹氏<sup>⑨⑬</sup>は容姿が大学卒業時と全く変わっていません。

中川氏と同級生の私は津市で内科開業をしています。

八尾隆治氏<sup>⑩⑭</sup>と榎木一仁氏<sup>⑪⑮</sup>は伊賀市立上野総合市民病院消化器内科に関西医科大学からの寄付講座で赴任され、伊賀地域の消化器診療に多大な貢献をしています。この二人のように同窓会の名簿には載っていませんが三重で活躍している同窓生にも声を掛けていきたいと考えています。



自己紹介の後、汗を流した所属クラブのこと、同窓生同士の意外な繋がり、三重県での生活などの話で盛り上がり和気あいあいとした時間が流れ、3時間があっという間に経ってしまいました。

今回は2年後の開催を予定しています。三重支部会は毎回、堅苦しさは微塵もない楽しい会ですので、若い方も年齢差など気になさらずに参加をよろしく願います。

出席者 秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup> 松本郁子<sup>③⑥</sup> 淵田則次<sup>④⑧</sup>

山下美代子<sup>⑤①</sup> 関 志麻子・渡邊治彦<sup>⑤⑦</sup> 紀平久和<sup>⑤⑧</sup>

中川直樹・長崎 裕<sup>⑥⑩</sup> 八尾隆治<sup>⑥⑦</sup> 榎木一仁<sup>⑦⑨</sup>

長崎 裕 記(60回生)

## 大阪支部

### 泉州ブロック会

平成30年度大阪支部泉州ブロック会は、猛暑の中8月5日(日)に岸和田グランドホールで開催されました。平成16年に第1回が開催されてから、今回で15回目になります。同窓会本部からは秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup>に、大阪支部からは杉岡武彦支部長<sup>③②</sup>に出席して頂きました。資料として、本部から送って頂いた「大学案内2018」と「専門研修プログラム2019」を配布しました。

秋田会長からは、立て続けに発生した災害の被害についてと90周年記念事業について、そして、関西医大くずは病院の開院についてお話がありました。同窓生の災害被害の状況は、豪雨については範囲が広く完全には把握されていないものの、少なそうであるとのことでした。



H30.8.5 岸和田グランドホール

6月の地震では、研究室と同窓会本部に若干の被害が出たそうです。くずは病院はリハビリ中心の病院で、大学はこれからリハビリに力を入れてゆくそうです。大学の経営は順調とのことです。杉岡支部長からは、90周年記念事業の報告と、来年1月20日開催予定の大阪支部担当「同窓会新年会」の案内がありました。

井庭 理氏<sup>⑥④</sup>には今回初めて出席して頂きました。また同じく吉田秀行氏<sup>⑥④</sup>は、9月から新規開業(泉大津市にて「よしだ乳腺ホ-

ムクリニック)されることになりました。泉州地域では乳腺の専門医は少ないので、幅広い活躍が期待されます。

昨年は整形外科の近隣の同門会との共同開催で、出席者が多く集まったのですが、その反動か、今年の出席者は少なめでした。続けることにも意義があると考え、来年も開催する予定です。泉州地域の皆様、よろしく願います。また、新たに会員になられた方の情報があればご連絡をお願いいたします。

出席者 秋田光彦同窓会会長<sup>③④</sup> 杉岡武彦大阪支部支部長<sup>③②</sup>

中山堯之<sup>④⑩</sup> 四方伸明・山本起義<sup>④⑥</sup> 野村昌作<sup>④⑨</sup>

浦川信司<sup>⑤①</sup> 吉本佳子<sup>⑤③</sup> 井庭 理・吉田秀行<sup>⑥④</sup>

浦川信司 記(51回生)

## 豊能ブロック会

平成18年から吹田市内の関西医大同窓生が集まる懇談会を毎年続けていますが、今年からは豊能ブロック（豊中・池田・箕面・吹田）すべての同窓生に呼びかけ、平成30年10月20日（土）千里阪急ホテル2階サンシャインテラスにて開催しました。

昨年に続いて友田幸一関西医科大学学長<sup>④</sup>に参加して頂いて、さらに躍進している母校の状況を教えて頂きました。参加者一同、母校の

現況を知ることができ、心強く思ったところでした。また、南 克昌同窓会副会長<sup>③</sup>と杉岡武彦大阪支部支部長<sup>②</sup>から関西医科大学同窓会の活動についての報告がありました。同窓生が交流を深めることが会の大きな目的ではありますが、母校を更に発展させるための援助を続けることも大事なことでありと説明がありました。

続いて、恒例となっている自己紹介、現況報告を順次行い、各人の現況を報告してもらって、楽しい会話が続ききました。北大阪にある豊中、池田、箕面、吹田は生活圏として共通したところではあります。近隣医師会の状況は意外と知らないことも多く、初めての出会いもあれば、久しぶりの再会もあり、楽しい会話が続きました。話は尽きることなく、2次会にも多くの参加者が

あり楽しい一夜となりました。

出席者 友田幸一関西医科大学学長<sup>④</sup> 南 克昌同窓会副会長<sup>③</sup>

杉岡武彦大阪支部支部長<sup>②</sup> 渡邊幸子<sup>②</sup> 谷野桂子<sup>②</sup>

笠原 勝<sup>③</sup> 南 芙美子<sup>③</sup> 川西克幸<sup>④</sup> 坂口道倫<sup>④</sup>

横井葉子<sup>④</sup> 谷浦武仁<sup>④</sup> 木佐貫裕乃<sup>⑤</sup> 山本 透<sup>⑤</sup>

河合修三<sup>⑤</sup> 金子明弘・中島 哲<sup>⑥</sup> 北村浩之・田村和子・

前川 徹<sup>⑥</sup> 辻井健一<sup>⑥</sup> 谷野祐介・橋谷 実<sup>⑥</sup>

山下泰史・吉川 清<sup>⑦</sup>

川西克幸 記（43回生）

## 市内南部ブロック会

大阪支部市内南部ブロック会が平成30年10月27日午後6時よりヒルトンプラザ・イースト7階「大阪聘珍樓」において開催されました。市内南部ブロックとしては2回目の開催ですが、本会の前身は南 克昌氏<sup>③</sup>のお声かけにより平成20年に立ち上がった西成区同窓親睦会で、22年から住之江区、27年から住吉区も加わった合同班会となり、そして昨年度からは市内南部ブロック会へと発展し現在に至ります。

本年度は大学から総合医療センターの杉浦哲朗病院院長<sup>④</sup>、杉岡武彦大阪支部支部長<sup>②</sup>にもご出席頂き、今回が初参加の方々も含め総勢で31名と盛会となりました。

まず会の始めに開会の挨拶として、三谷武生ブロック長<sup>④</sup>から主催者を代表し本会の誕生経過を、そしてまた支部理事の立場からも、ブロック会として活動していく意義・重要性、更に各ブロック・班内での親睦の必要性についてのお話を頂きました。

次に杉岡支部長が同窓会・各支部の構成・大阪支部の活動状態を中

H30.10.20 千里阪急ホテル





H30.10.27 ヒルトンプラザ・イースト

心に説明され、大学の現況としては看護学部開部・牧野講堂完成を紹介し、今後の構想としてタワー棟建設・医療系学部新設についても触れられました。

そして杉浦病院長には『臨床検査判読のポイント』という演題でご講演頂きました。内容は心電図の原理・計測法に始まり、ST上昇・低下の機序、そしてBNP上昇を来した症例における病態の考え方についての解説、最後にホスピタルガーデンについても触れられ、是非とも一度は見学にお越しくださいとお願いしました(尚、

患者紹介の際は情報提供書の紹介先欄に関西医科大学だけでなく総合医療センターまで記載くださいとのこと)。

記念写真に参加者全員で仲良く収まり、南副会長の乾杯のご発声にてスパークリングワインを飲み干し、食事が和やかに始まりました。その後はフカヒレ・活鮑・牛舌・北京ダックを中心とした、さすがは聘珍樓といった豪華な料理の数々が並びました。美味な料理に加え、お持ち頂いたワイン、さらに紹興酒も手伝い会が賑やかとなった頃に、恒例のテーブルスピーチの始まりです。本年は『滝井の思い出』をテーマとしてスピーチをお願いしたところ、数え切れない試験を受けた旧臨床講堂に始まり、鳥忠のささみかつ定食は最高だった、うめがやのカレーうどんは外せない、でんの出前が懐かしい、ね

ぼけ堂の店前の甘い香り、容態が安定するまで1週間を超える泊まり込み、回診で階段を走って上る教授を追いかけた、夜中の連絡通路でのスチーム音が怖かった、インターン制度があった当時の話等、はたまた「関西医科大学の可否判定には全く問題なく心配ない」まで飛び出しました。3時間を超えようかという宴も、締めとして西成区医師会長の山本時彦氏<sup>④</sup>にご挨拶頂き、進行役の『また来年もお会いしましょう』との一声でお開きとなりました。

本年度はこれまでで最多となる31名と多数の方々が集まって頂き、今は総合医療センター・ホスピタルガーデンへと生まれ変わった懐かしい滝井の雰囲気を満たされた会場で病院長をはじめ諸先輩方と楽しい時間を共有できたことに感謝いたします。次年度は再び幹事を住之江区の西川睦彦班長<sup>⑤</sup>にお願ひし、平野区の方々にも是非出席して頂ける様に企画してもらいますので、更なるご参加をお待ちしております。

最後になりますが、大阪支部より頂いた開催補助費によりブロック会が華やかに且つ不足なく行えたことに、参加者を代表してお礼申し上げます。

出席者 杉浦哲朗関西医科大学総合医療センター病院長<sup>④</sup>

南 克昌同窓会副会長<sup>⑧</sup> 杉岡武彦大阪支部支部長<sup>⑩</sup>

大内安佐子・南美美子<sup>⑩</sup> 田中一穂<sup>⑩</sup> 友田隆子・

森本清一<sup>⑩</sup> 佐々本ひとみ・田中典子・中嶋基磨・

三谷武生<sup>⑩</sup> 山本時彦・山本真理子<sup>⑩</sup> 足立京子・

榊 徳子・隅本 勉<sup>⑩</sup> 西川睦彦<sup>⑩</sup> 大澤昭朗<sup>⑩</sup>

権藤 純・橋本洋子<sup>⑩</sup> 足立和己<sup>⑩</sup> 前 暢子<sup>⑩</sup>

川崎 寛<sup>⑩</sup> 宇佐美健治・玉井 徹<sup>⑩</sup> 中野雅貴<sup>⑩</sup>

仁木 稔・三間由美子<sup>⑩</sup> 高畑 暁<sup>⑩</sup> 加納真孝<sup>⑩</sup>

玉井 徹 記(60回生)



## 堺ブロック会

平成30年11月17日ホテルアゴーラリージェンシー堺にて、堺市内で開業、勤務、在住の同窓生の集まりを開きました。今回は同窓会名簿から76人の同窓生に案内し、48名の方から返信を頂き、16名の参加がありました。

まず、学術講演として、泉谷陽子氏<sup>④⑤</sup>司会のもと、45回生の小田

真氏から「堺市地域包括ケアの中の医療」についてのご講演がありました。

H30.11.17 ホテルアゴーラリージェンシー堺



した。地域包括ケアシステムは、私たちが住み慣れたわが家で人生の最期まで自分らしく暮らすため、みんなまで生活を支えていこうという仕組みで、それは、行政、医療・介護関係者、市民の3者が協力して作り上げるものとのことで、この3者がそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携して取り組みを進めることが重要とのことでした。小田氏は、堺市医師会理事としてこのテーマに取り組んでおられ、多職種連携モデルの構築など、色々な活動を精力的にされていることを教えて頂き、大変勉強になりました。

引き続き、松山文夫氏<sup>②⑧</sup>のご挨拶、乾杯のご発声のあと懇談会が始まりました。ご参加頂きました方々からの近況報告、そして今回は泉谷陽子、

中野佳世・八木圭子<sup>④⑧</sup>、泉谷敦子<sup>⑤①</sup>、藤田聖子<sup>⑥⑦</sup>各氏による、感動的な音楽プロジェクトがありまして、大変有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、中野厚夫堺ブロック長<sup>③⑨</sup>の閉会のご挨拶によりお開きになりました。

幹事の私が言うのもおこがましいのですが、参加して頂いた方々のお陰で、堺ブロック会は年々楽しくなってきました。来年も是非開催したいと思っております。堺市の同窓生の方で、連絡を送れない方もおられると思います。もし参加してもよいと思われる方がおられましたら、メールアドレス [katsumi@mori-jibika.jp](mailto:katsumi@mori-jibika.jp) (森 克己)まで、ご連絡頂けたらと存じます。

出席者 高橋京子<sup>①⑨</sup> 飯田瑛子・民野和子<sup>②⑤</sup> 松山文夫<sup>②⑧</sup>

中野厚夫<sup>③⑨</sup> 泉谷陽子・小田 真・北庄司浩三・西川正治<sup>④⑤</sup>

中野佳世・八木圭子<sup>④⑧</sup> 泉谷敦子<sup>⑤①</sup> 米田元胤・森 克己<sup>⑤⑨</sup>

遠藤さゆり・藤田聖子<sup>⑥⑦</sup>

森 克己 記 (59回生)

## 中河内ブロック会

第2回関西医科大学同窓会大阪支部中河内ブロック会(布施・枚岡・河内・八尾市・柏原市)が、平成30年11月17日(土)午後6時から午後8時30分までシェラトン都ホテル大阪(上六)四川(3F)にて開催されました。

中河内ブロック長である松山浩吉<sup>④⑨</sup>の司会で始まり、まず笹 英彦枚岡班長<sup>④⑥</sup>が、昨年に引き続き楽しいブロック会にしたいとの開会の挨拶がありました。



H30.11.17 シェラトン都ホテル大阪

来賓の友田幸一関西医科大学学長<sup>④</sup>よりお言葉を頂戴し、まず7月1日にリーガロイヤルホテルにて開催された関西医科大学創立90周年記念式典・記念祝賀会への多数のご参加に對してお礼を述べられた。さらに4月の4年制看護学部開設、5月の総合医療センターのグラ

ドオープン、牧野武道館、弓道場など計画していた事業活動が完遂し、3年後には国際化のために留学生の国際交流センター、また患者さんのご家族のためのホスピタルイン、これは100mのタワーであり、枚方で一番高い建物となる予定とのことでした。また、牧野校舎を6階建てに建て直し、高齢化社会に向けてリハビリテーション学部を新設し、4年制1学年100名程度の理学療法士・作業療法士を育成しようとして計画しているとのこと。現在大学は、毎年160億円の赤字を計上し、約150億円の貯蓄が来ていますが、あと数年後には300億円の蓄えまで頑張り、少々のことが起こっても関西医科大学が持ちこたえるようにしたく、90周年を機にこれからの100周年を目指してさらに邁進したいと述べられました。大学の経営状態はよく、

大学の収入の70%は病院の収入でありますが、何か起こった時にはやはり同窓生の助けが必要となりますので、今後ともよろしくお願いたしますとのお言葉で挨拶を結ばれました。

引き続き来賓の秋田光彦同窓会会長<sup>③</sup>より、大原一枝名誉教授<sup>④</sup>がお亡くなりになり、大学にとっては非常に大きな損失ですが、ぜひレリーフ像を牧野の武道館でご覧頂ければと述べられ、また、来

年は45年ぶりに関西医大が単独で西医体の主管校になりますので、皆様ぜひクラブの後輩たちのためにもご支援の程よろしくお願いいたしますと挨拶されました。

続いて同じく来賓の杉岡武彦大阪支部支部長<sup>③</sup>からは、大学は創立90周年ですが、同窓会は昭和8年に大阪女子高等医学専門学校の第1回卒業生によって発足し、当時は校友会といわれ学長が会長を兼ね、同窓会は大学の発展のために活動していましたが、昭和36年に同窓会機構が大学より独立し、初めて卒業生の川那部喜美子先生が同窓会会長に就任されて以来現在に至るまで、主として同窓会会員の親睦のために活動し、今年85周年を迎えますとのご挨拶を頂きました。

その後ブロック会の会議に入り、議案として(1)活動報告、(2)会計報告、(3)中河内ブロック会の発展促進、(4)次回は平成31年11月にシェラトン都ホテル大阪「四川」午後6時、以上で会議を終了いたしました。続いて、宴席の部では、南 克昌同窓会副会長<sup>③</sup>より会員相互の親睦が一番大切ですとのお言葉を頂き開宴となりました。

その後参加者全員の自己紹介となり、久しぶりの同窓生と楽しく宴も盛り上がり、話も尽きないなか、四方伸明加多乃副会長・大阪支部理事<sup>④</sup>の閉会の辞で閉会となりました。

出席者 友田幸一関西医科大学学長<sup>④</sup> 秋田光彦同窓会会長<sup>③</sup>

南 克昌同窓会副会長<sup>③</sup> 杉岡武彦大阪支部支部長<sup>③</sup>

米田桂子<sup>③</sup> 塚本宗之<sup>③</sup> 樋口 拓<sup>④</sup> 笹 英彦・

四方伸明<sup>④</sup> 喜馬通博・東野博彦・三笠藤吉郎・山本幸良<sup>④</sup>

松山浩吉<sup>④</sup> 駒田尚直<sup>⑤</sup> 小路徹二・高屋淳二・山中英治<sup>⑤</sup>

貴島弘樹<sup>⑤</sup> 貴島和久<sup>⑤</sup> 堀木 聡<sup>⑤</sup> 永田基樹<sup>⑤</sup>

吉永和仁<sup>⑥</sup> 河村晃弘<sup>⑥</sup> 地崎竜介<sup>⑥</sup>

松山浩吉 記(49回生)

## 平成30年同窓会大阪支部ブロック長・班長会

平成30年11月10日（土）、帝国ホテル大阪において、25名の参加をもってブロック長・班長会議が開催されました。

藤井弘史理事⑤⑨の司会進行で開会となり、まず杉岡武彦大阪支部支部長③②の挨拶では、支部の現況の報告、ついで大学の創立90周年記念式典および事業についての報告がありました。また年始の1月20日、

同窓会新年会は大阪支部の担当になるので参加協力をお願いしたいとの話でした。

次に四方伸明加多乃会副会長④⑥より、同窓会寄付で建て直された牧野講堂についてのお話を中心に大学関連のお話を頂きました。その後、出席者の自己紹介および各ブロック、各班の報告などを順次行い、会議を終了いたしました。

H30.11.10 帝国ホテル大阪  
講演の部に移り進行を三谷武生④⑧に交代し、まず今年の講師をご略歴も含めご紹介いたしました。講師は関西医科大学総合医療センター杉浦哲朗病院長④④で、高知大学医学部医学部長から20年ぶりに本学に戻られ現職に就かれております。30年の支部会報紙面でもご挨拶頂いております。この日の演題は“日本の医学教育”をテーマにお話し頂きました。将来的には医師国家試験を廃止していく方向性も示され、今後の医学教育をいかに充実していくかという大変興味深い内容をお話し頂きました。さらに、

総合医療センターの現況についてもお話し頂きました。

そして中山堯之理事④⑩の進行での懇親会です。妹尾次郎副支部長③⑦の開会の挨拶、ついで山谷陽一郎監事③⑩の乾杯の発声で始まりとなりました。杯が進むに従い各々饒舌にもなり、各ブロック、各班の情報交換、意見交換はもちろん昔話にも花が咲き、宴もたけなわ、谷野桂子副支部長③②の閉会の挨拶で名残惜しくも閉会となりました。

今回は新元号元年11月16日（土）の開催予定となりますが、これまで以上に多くのブロック長、班長の方々に気楽に多数ご参加頂ければと願っております。ブロック会、班会の開催ノウハウなども含め、いろいろな情報を収集してもらえらるのではと思っています。

最後になりますが、ブロック長、班長の交代などあまり周知されていない場合もあるようですので、この場をお借りし、あらためてブロック会、班会に対する開催助成としての補助金支給についてお伝えさせて頂きたいと思えます。平成17年に、ブロック会された場合に、各々に年1回、開催助成の補助金を支給することが決まっております。10名以上20名未満参加の開催には3万円、20名以上の開催には5万円が支給されますので、是非ご活用頂ければと思います。

出席者 杉浦哲朗関西医科大学総合医療センター病院長④④

四方伸明加多乃会副会長④⑥ 杉岡武彦大阪支部支部長③②

山谷陽一郎③⑩ 米田桂子③① 谷野桂子③② 妹尾次郎③⑦

中山堯之④⑩ 井口和彦④① 立岩二郎④①(枚方)

川西克幸④③(吹田) 木野 稔・守上賢策④⑤ 引間正彦④⑥

三谷武生④⑧(市内南部) 松山浩吉④⑨(中河内)

菅尾光子④⑨(南) 浦川信司⑤①(泉州) 吉本佳子⑤③(泉大津)

井上 剛⑤⑤(旭) 前田成美⑤⑧(門真) 吉村美樹⑤⑧(鶴見)

藤井弘史⑤⑨ 森 克己⑤⑨(堺) 玉井 徹⑥⑩(住ノ江)

三谷武生 記(48回生)



# クラス便り

## サンキュー会 (32回生)



H30.10.13 ホテル日航奈良

今年の39会は平成30年10月13日、14日、奈良で開催しました。私たち昭和39年卒の卒業生は40名でしたが、連絡の取れる方が20名余りとなり、今回の参加者は10名でした。会員10名に東氏の奥様とお嬢様を加わってくださいと、12名がJR奈良駅隣接のホテル日航奈良に集まりました。

6時半から会席形式の中華料理を前に、同級生の気安さであれこれ話が弾みました。

参加者10名のうち、鷺岡、杉岡、谷野、辻本、東各氏、及び宮代ご夫妻は、勤務時間の多い少ないはあれ、皆現役で働いています。一番年長の鹿児島の東氏にいたっては、自宅でフルタイムの他、校医やいくつもの施設の嘱託医などをこなし、おまけに興味のゴルフとなれば、遠路もいとわご参加とか。ほとほと感心いたしました。

話したりない分は、二次会用のカラオケルームでワイワイと。途中から本当にカラオケの時間になって盛り上がりました。

翌日は小型バスで飛鳥へ。見るのは大きな石造物2、3ヶや地面に敷かれた方形の石など。ガイドさんいわく、実際には無いものを想像力で補うところにロマンがあるのですと。なるほど、うまいこと言うなあ！ 蘇我馬子の邸宅がああたりにと言われてみれば、かなたの森の前に、壮麗な館が浮かんでいるような気がしたのが不思議でした。昼は「オーベルジュ・ド・ぷれざんす桜井」で結構なフレンチのコースをいただきました。レストランで時間を取ってしまったので、史跡めぐりは端折りに端折って、4時奈良到着、解散となりました。

来年はまた10月、天橋立、谷野さんのお世話です。同級生の皆様、ぜひがんばってご参加くださいね。

出席者 鷺岡、杉岡、田口、竹中、谷野、辻本、東、三宅、宮代 明、  
宮代汎子

(田口扶紀 記)

## 34 回 生

平成30年の34回生クラス会は、宮崎市のシェラトン・グランデ・オーシャンホテルで平成30年9月16日に開催いたしました。隔年ごとに、近畿地方以外で行うという規約があつて、今年は当地で開催の運びとなった次第です。

例年この週間は台風襲来や豪雨に見舞われ、各地でイベントが中止になっていましたが、今年には好天にめぐまれ、秋日和よりむしろ残暑厳しい行楽日和で、懸念の一難が去って胸をなでおろしたクラス会当日で、前年、大見栄を切って引き受けた幹事の面目がたちました。又



H30.9.16 シェラトン・グランデ・オーシャンホテル

九州にはアクセスの悪いクラスメイトもありましたが、それも厭わず参加して頂きました、感謝の念で一杯です。5名ほどは前日の15日より宮崎入りしていただき、中には到着後直行でゴルフラウンドの御仁もあって、そのパワーに驚嘆しました。その夜は前夜祭と称して、近場で会食を一同で行いましたが、私幹事の家族も陪席し、諸氏のご高説を拝聴し、また実りある会だったと自負しております。

又クラス会当日の昼間は、宮崎では名門と称されるフェニックスカントリークラブをラウンドしましたが、同伴メンバーのベストグロスは某君の91で、決して難易度は低くないコースでしたが、その一球入魂の精神に脱帽しました。

夜は7時より、ホテル内の「藍海」にて、同窓会員14名、その同伴者5名、総勢19名にて、一番の遠来者の乾杯の発声後、中華料理に舌鼓をうちました。その席上で、めいめい近況報告を行いました。皆まだ現役での活躍中で誇りに思いました。山下君は母校の発展ぶりと未来構想について熱く語ってくれて、拍手喝采し、その情熱に感服しました。二次会も同ホテルのカラオケボックスで行い、現代のJポップから、1960年代の演歌まで、美声あり、嗚声あり諸氏の一面を垣間見て散会となりました。翌日も、オプシヨンの観光組、散策組、直帰組とそれぞれに分かれリフレッシュし、来年の神戸での再会を期し帰路に着きました。今回は南九州の宮崎という地方で、当地は初めての訪問の同級生



H30.7.7 セントレジスホテル

の参加もありましたが、盛会裏に終えることができ、諸君の協力のお蔭と感謝の念で一杯です。この同窓生の友情が永遠に続くことを祈念しております。

出席者 明石、伊室、梅田、大月、小倉、木村、粉川、佐伯、原田、丸尾、水谷、村上、安田、山下、同伴者5名

(原田一道 記)

## 51 回 生

51回生同窓会を、平成の元号最後となる30年7月7日(土)七夕の日に大阪のセントレジスホテルで行いました。我々の同窓会は4年に1回サッカーのワールドカップ開催年になることになっており、幹事は診療科ごとに持ち回りで、今回は眼科でした。

今年6月に大阪北部地震が起き、7月3日から降り出した大雨で、西日本に甚大な被害が出て、7日当日は欠席者が多数出るのではと心配していました。事前の出席者数は59名でしたが、当日の交通機関の運休などで8名(奥村紀子さん、片岡優子さん、下条美可さん、辻 正純君、蓮井正樹君、前田俊章君、前田典子さん、山上

和壽君)が欠席でした。不幸中の幸いで、被災された方は誰もいませんでした。

定刻の6時から高井君の司会で同窓会が始まりました。最初にこの4年間に物故会員となった立川 薫さん、中山尚典君、柳父睦政君のご冥福を祈り、全員で黙祷をささげました。そのあと、今も昔と変わらないクラスアドバイザーの徳永力雄先生に乾杯の挨拶をしていただき、宴会が始まりました。

ほとんどが還暦を迎え、年齢的には初老に入りますが、話し出すと学生時代に戻って会話が弾みます。話題は日々の診療のこと、子供のこと、趣味のことなど、いろいろです。診療に関しては、最近はいンターネットのクチコミを見て受診してくる患者さんが増えているようで、PRも看板よりもホームページを充実させたほうがいいという意見もありました。子供の患者さんは検査させてくれないことについて、検査ができればポケットからおもちゃを出してプレゼントすると、次から検査しやすくなるとのアドバイスもありました。

食事はフレンチのフルコースで、アルコールは飲み放題。美味しい料理でお酒も進みます。皆さんの酔いが回る前に、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の岩井 大君と整形外科の齋藤貴徳君が本学の教授に就任したことを報告しました。二人とも多忙なため、今回は残念ながら欠席でした。

開業して大学から離れた方も多くなっているのです、関西医大枚方と滝井の現況を高屋君と小路君が報告しました。滝井は昔とは別次元の風景に変わっています。そのあと、浦上君が天満橋健診センターの現況を、健診のPRを交えながら報告をしました。医者といえども還暦を過ぎるといろいろが病気が出てきます。早期診断・早期治療が大事と話していました。

宴会も終盤になり、次回の幹事は産婦人科が担当することをお知ら

せて、一次会は終了です。二次会は1階のル・ドールへ。皆さん話し足りないのかお酒も話も進みます。瞬く間に予定の時間も過ぎてお開きとなり4年後の再会を楽しみに、今回の同窓会は終わりました。

出席者 徳永力雄名誉教授、足立、岩田、爲政、浦上、浦川、大嶋、太田、岡本、緒方 肇、緒方奈保子、神谷敬雄、木佐貫、木下、久野、久保、黒川、鴻野、近藤、榊、佐藤、小路、鈴木、隅本、高井勝史、高井惣一郎、高田彰彦、高田充子、高平、高屋、田上、田中、谷澤、津川、寺口、出口、中尾、中村真紀子、中村昌弘、二宮、長谷川、羽田、濱口、保津、松前、水上、水野、光吉、南川、村上、吉田寛子

(水上寧彦 記)

## 54 回 生



H30.11.11 ウェスティンホテル大阪

平成30年11月11日正午からウェスティンホテル大阪、日本料理「はなの」で2回目の54回生女子会を行いました。

この女子会は消化器肝臓内科で同期の博子と同門会に参加する際に待ち合わせていた時に、彼女が言った「女子みんな一度集まりたいね」という一言から始まりました。卒後32年経ちますが、全員



の女子会は初めてです。早速、京都で耳鼻科を開業している眞理ちゃんに話をしてみると、「それは是非に」と話が進み、神戸で眼科開業の亮子ちゃん、塚口で小児科開業の千尋ちゃんからそれぞれの親しい同期生に連絡を取ってもらいました。平成29年11月10日、時間が合い、来られる人10人で集まることになりました。参加者は私あかべー、眞理ちゃん、亮子ちゃん、しーちゃん、博子、あーちゃん、千尋ちゃん、クロミ、由美ちゃん、ひーさんの10人でした。

気の置けない同級生の面々と、本音トークで盛り上がり、大爆笑の連続で楽しい時があつという間に過ぎ、1年後の再会を約束しお開きとしました。今年は当初、女子28人中17人が参加予定でしたが、仕事、体調等で残念ながら4人参加出来ず、私あかべー、眞理ちゃん、亮子ちゃん、しーちゃん、博子、あーちゃん、千尋ちゃん、クロミ、ひーさん、もつち、由紀ちゃん、せつちゃん、トミーの13人での女子会となりました。昨年参加出来なかった4人がプラスとなり、今年は少し落ち着いた雰囲気の中、楽しい時間は瞬く間に過ぎてしまい、残れる人で近くのカフェでお茶をして、また来年も元気で会うことを誓い別れました。

同年代の女医どうして診療や開業、またプライベートなことなどを打ち解けて話ができる機会というのとはなかなか難しいのですが、幸いこのような集いを持つことができ、今後も大事に続けていければと思っています。

出席者 明石、赤松亮子(小川)、伊藤眞理(井村)、糸氏(富澤)、  
上川(黒川)、神部慈子(斉藤)、河野(市吉)、小西(松島)、  
宗田(稲田)、山本千尋(山城)、吉岡(大津)、鷺尾、  
渡邊尚代(中村)

(明石夕香 記)

## 第7回『オール関西医大ゴルフ会』のご案内

オール関西医大ゴルフ会実行委員会

昨年に引き続き関西医科大学を挙げてのゴルフ会が左記要綱のもと開催されます。今まで参加頂いた皆様にはご案内をさせて頂きますが、初めて参加を希望される方は、同窓会事務局までご連絡ください。関西医大に関わられたことのある方々なら、どなたでも参加して頂けます。同門会、クラス会、医局、病院間等でお誘いあわせの上、お申し込み下さい。



### 第7回『オール関西医大ゴルフ会』

日時…2019年10月22日(祝・即位礼正殿の儀)

場所…田辺カントリー倶楽部(京田辺市)

参加資格…関西医大同窓会会員

附属病院・学部、関連病院等、関西医大に

関わられたことのある医師・職員すべて

〈ご案内〉既参加(登録済み)者には8月末までに、往復葉書にてご案内しております。未参加で参加をご希望の方は、事務局までお申し込み下さい。競技の詳細は後日、参加を標榜された方のみご連絡させて頂きます。ご不明な点がございましたら、事務局迄お問い合わせ下さい。

お問い合わせ…関西医大同窓会事務局

TEL 072-804-2171

\*20組を用意しておりますが、定員になり次第締め切ります。

# 会務報告

## 理事会報告（平成30年7月～12月）

（敬称略）

### 平成30年7月持ち回り理事会

平成30年7月10日 会長・副会長・理事・監事 26名に資料発送

#### 報告

1. 庶務 物故者 8名
2. 会計 (1) H30・5月度一般会計  
(2) 平成30年度第1回同窓会費納入促進キャンペーン  
(3) 会議室 使用1件 備品使用1件
3. 関西医科大学創立90周年記念式典  
日時・平成30年7月1日（日）  
場所・リーガロイヤルホテル大阪
- 議事  
1. 大学理事と同窓会・加多乃会理事との懇談会  
2. 新卒業生の終身会費徴集について  
3. 第28回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」の件  
4. 第29回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」の件  
5. その他 (1) 大阪北部地震（H30・6・18）お見舞い状送付の件  
(2) H30・11月理事会開催日の件  
(3) 満州国留学生 傳秀華氏に、大学より在籍証明書発行  
(4) 職員賞与・昇給の件

### 平成30年9月定例理事会

日時 平成30年9月1日（土）午後3時5分

場所 枚方学舎13階 同窓会・加多乃会会議室

出席者 秋田会長 水野 南 宮崎各副会長 大原 杉岡 西嶋

立岩 鶴田 北尻 四方 鈴鹿 廣原 請田 大内各理事

谷野 田中両監事 17名 委任状9通

会議開催前に大学祭援助金100万円を実行委員長 小林崇記君、渉外部長 友安勲充君に贈呈。

#### 報告

1. 庶務 物故者 5名
2. 会計 H30・6、7月度一般会計
3. 渉外 支部会開催 6件
4. 第28回大学理事と同窓会・加多乃会理事との懇談会
5. 学校法人関西医科大学理事会
6. 西日本豪雨お見舞い状送付（同窓会・加多乃会連名）  
H30・7・11付 広島・岡山・山口・愛媛・高知・大阪支部ブロック長 計328名
7. おとづれ編集委員会
- 議事  
1. 新入会員歓迎行事準備の件  
2. 第28回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」の件  
3. 第29回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」の件  
4. 平成31年新年会の件  
5. その他 11月定例理事会開催予定日の件

平成30年10月定例理事会

日時 平成30年10月6日(土) 午後2時35分

場所 枚方学舎13階 同窓会・加多乃会会議室

出席者 秋田会長 水野 南両副会長 大原 杉岡 妹尾 西嶋

立岩 鶴田 北尻 四方 木村 廣原 大内各理事

谷野 田中両監事16名 委任状10通

報告

1. 庶務 物故者 6名

2. 会計 H30・8月度一般会計

3. 渉外 支部会開催 1件

4. 第28回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」

5. 「おとづれ」149号

6. 創立90周年記念事業企画作業部会(実行委員会)

7. 学校法人関西医科大学理事会

8. 台風21号・北海道胆振東部地震お見舞い状送付

(同窓会・加多乃会連名) H30・9・11発送

(1)台風21号 4、245名

(2)北海道胆振東部地震 12名

議事

1. 平成31年 新年会準備の件

2. 役員選挙の件

3. 関西医科大学「櫻根啓子賞」の件

4. 「おとづれ」150号の件

5. 同窓会費納入キャンペーン準備の件

6. 全国規模学術総会主催への援助の件

7. その他

(1)三井住友トラスト不動産株式会社(業務提携契約)より

紹介手数料

(2)平成30年11月理事会は「持ち回り理事会」とする

平成30年11月持ち回り理事会

平成30年11月6日 会長・副会長・理事・監事 26名に資料発送

報告

1. 庶務 物故者 10名

2. 会計 H30・9月度一般会計

3. 渉外 支部会開催 1件

議事

1. 平成31年 新年会準備の件

2. 同窓会費納入キャンペーンの件

3. 役員選挙 理事・監事選挙

2019・2020年度 選挙管理委員5名

畑埜武彦氏<sup>36</sup> 是枝ちづ氏<sup>45</sup> 塚口裕康氏<sup>56</sup> 吉田勝紀氏<sup>66</sup>

覚道奈津子氏<sup>70</sup>

4. その他 平成31年1月理事会開催予定日の件

平成30年12月定例理事会

日時 平成30年12月1日(土) 午後2時30分

場所 枚方学舎13階 同窓会・加多乃会会議室

出席者 秋田会長 水野 南両副会長 大原 杉岡 柄川 妹尾

西嶋 立岩 四方 鈴鹿 廣原 請田 大内 杉山各理事

谷野 田中両監事(17名) 委任状9通

報告

1. 庶務 物故者 6名



2. 会計 (1) H30・9、10月度一般会計  
(2) 国試対策協議会より平成30年度協力金依頼  
(3) A L S O (Advanced Life Support in Obstetrics)  
プロバイダーコース支援金依頼
3. 平成30年度第2回同窓会費納入促進キャンペーン  
(5) 会議室使用 2件 備品使用 2件
3. 渉外 (1) 支部会開催 2件
4. 新入会員(87回生)の件
5. 第29回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」の件
6. 第6回 オール関西医大ゴルフ会
7. 学校法人関西医科大学理事会・評議員会
- 議事
1. 平成31年 新年会準備の件
2. 新入会員(87回生)終身会費依頼の件
3. 平成31年度 各賞審査員の件
4. 関西医科大学「櫻根啓子賞」の件
5. 学会開催支援金交付規程の件
6. 「おとづれ」150号の件
7. 「大原一枝先生を偲ぶ会」の件
8. その他 (1) 平成31年1月理事会開催予定日の件  
(2) 職員賞与の件

## 同窓会会員総合補償制度のご案内

医療業務に従事されている皆様の危険を総合的に補償します

勤務医師賠償責任保険

所得補償保険

※中途加入受付中! 資料のご請求はフリーダイヤルで  
※生保による相続対策や資産形成のご相談は随時受付中

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社：東京海上日動あんしん生命保険株式会社

担当代理店：株式会社ホケンプラザOSAKA

お問い合わせ、ご相談は

大阪府堺市北区新金岡町2-4-1-102

フリーダイヤル 0120-003-532

# 学内ニュース

## 学報ならびに広報より

### 名誉教授訃報

大原一枝名誉教授 H30・11・12逝去 105歳

### 教授就任

外科学講座（肝臓外科担当） 海堀昌樹診療教授

外科学講座（胆膵外科担当） 里井壯平診療教授

外科学講座（乳腺外科（総合医療センター）担当） 山本大悟診療教授

H30・9・1付

整形外科学 堀井恵美子理事長特命教授

リハビリテーション科（総合医療センター）担当 菅 俊光診療教授

### 名誉教授称号授与

第104号 伊藤誠二 前医学化学講座教授

第105号 松田博子 前生理学第一講座教授

第106号 藺田精昭 前衛生学講座教授

H30・9・1付

第107号 藤井 茂 前化学講座教授

### 理事の業務担当決定

本学法人役員改選に伴い、学内常勤理事の業務担当が決定。

山下敏夫 理事長・経営、財務

友田幸一 学 長・教学、大学管理

澤田 敏 常務理事・理事長補佐、附属病院長

神崎秀陽 常務理事・総務、人事、香里病院長

杉浦哲朗 理 事・総合医療センター病院長、

天満橋綜合クリニック

今村洋二 理 事・くずは病院長

木下利彦 理 事・建設、管財

松田公志 理 事・広報、用度

金子一成 理 事・危機管理（医療安全を含む）、安全衛生、

キャリア形成

木梨達雄 理 事・情報、知財

岡崎和一 理 事・看護・薬剤、医療

### 山中伸弥客員教授講義

日 時：平成30年6月26日（火）午後3時40分

場 所：枚方学舎医学部棟加多乃講堂

参加者：医学部1学年学生127名、看護学部1学年学生100名、

友田幸一学長他教職員約35名

テーマ：「iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み」

### 平成31年度初期臨床研修医採用試験実施

実施日：平成30年7月27日（金）、8月3日（金）筆記・面接試験

受験者数：142名（男子75名、女子67名）

（本学出身者84名、他大学出身者58名）

平成31年度専攻医（後期研修医）研修説明会（第1回）

専攻医（後期研修医）獲得に向け、第1回研修説明会を開催。

日時…平成30年6月2日（土）午後3時

場所…枚方学舎医学部棟3階「学生食堂」

平成31年度専攻医（後期研修医）研修説明会（第2回）

日時…平成30年9月1日（土）午後3時

場所…枚方学舎医学部棟3階「学生食堂」

レジナビフェア2018大阪（専門研修プログラム）出展

専攻医（後期研修医）獲得に向け、専門研修プログラム説明会に出展。

日時…平成30年6月3日（日）正午～

場所…ナレッジキャピタル「コングレコンベンションセンター」

医学生向け臨床研修病院説明会

「レジナビフェア2018大阪（初期研修）」出展

日時…平成30年7月1日（日）午前10時

場所…インテックス大阪1・2号館

平成31年度採用初期臨床研修医マッチング結果公表

平成30年10月18日（木）に医師臨床研修マッチング協議会から

2018年度の結果が公表され、本学の各プログラムは計52名のフルマッチとなった。

附属病院プログラム41名（定員41名）

附属病院小児科重点プログラム2名（定員2名）

附属病院産婦人科重点プログラム2名（定員2名）

総合医療センタープログラム7名（定員7名）

2018年度医学部オープンキャンパス開催

〈第1回〉

日時…平成30年8月4日（土）9時30分

場所…枚方学舎医学部棟

参加者…高校生他450名

〈第2回〉

日時…平成30年8月19日（日）10時30分

場所…枚方学舎医学部棟

参加者…高校生他270名

学長賞授与式

日時…平成30年8月30日（月）正午

場所…枚方学舎医学部棟4階中会議室

受賞者…天野晶望（医学部4学年、水泳部）、第70回西医体水泳女子

100m背泳ぎ優勝）

競技スキー部女子チーム（八田日菜子・大澤加奈子〔医学

部4学年〕、鈴木唯加〔医学部3学年〕、平林 碧〔医学

部2学年〕西医体冬季大会女子総合2位）

濱田 諒（医学部5学年、写真部、ひらかた魅力発信コン

テスト2017・2位入選）

バーモント大学関係者来学・学長面会

本学の国際交流協定締結機関であるバーモント大学（アメリカ）から、木田正俊教授、Cheung Wong准教授ら関係者5名が来学し、友田幸一学長を表敬訪問。

日時…平成30年9月10日（月）午後2時30分

場所…枚方学舎医学部棟13階会議室



本学の教育に関する学生との懇談会（教学懇談会）

日 時…平成30年10月22日（月）午後6時

場 所…枚方学舎医学部棟4階中会議室

附属病院が大阪府難病診療連携拠点病院に指定

大阪府において公募された「大阪府難病診療連携拠点病院」に、平成30年11月1日付で附属病院が指定された。

〈大阪府難病診療連携拠点病院の主な役割〉

- (1) 難病の診断を正しく行う医療の提供
- (2) 遺伝学的検査及び遺伝カウンセリングの実施、または適宜、他院への紹介等
- (3) 府民に対する情報提供

関西医科大学霜月祭2018

日 時…平成30年11月3日（土）、4日（日）両日午前10時

場 所…枚方学舎医学部棟中庭、1階及び2階各所

テーマ…「8」医フイニティ〜

総合医療センター介護福祉部門事業計画

2019年1月に総合医療センターに、「関医訪問看護ステーション・滝井」及び「関医ケアプランセンター・滝井（居宅介護支援事業所）」を開設することとなった。

学長、国際交流センター長、西山教授東南アジア歴訪、表敬訪問

日 時…平成30年10月24日（水）～11月1日（木）

訪問者…友田幸一学長、国際交流センター鈴鹿有子センター長、

西山利正教授（衛生・公衆衛生学講座）

訪問地…クアラルンプール（マレーシア）、ハノイ、ホーチミン

（ベトナム）、ヴィエンチャイ（ラオス）、バンコク

（タイ）

内容…新たな留学生の受け入れや国外臨床実習先の模索及び現協定先の表敬訪問

第37回関西医大白菊会総会開催

白菊会会員他、友田幸一学長、野村昌作副学長、医学部教務部長はじめ、解剖学・病理学・法医学領域の各講座関係教員が出席して開催された。

日 時…平成30年6月16日（土）午後1時

場 所…枚方学舎医学部棟加多乃講堂

参加者…白菊会会員174名

実験動物慰霊祭

日 時…平成30年10月23日（火）午後1時

場 所…枚方学舎医学部棟加多乃講堂

参加者…友田幸一学長、実験動物飼育共同施設平野伸二施設長、  
教職員学生他88名

平成30年度慈仁会全国懇談会

日 時…平成30年10月21日（日）午前11時

場 所…枚方学舎加多乃講堂他

参加者…教職員、保護者他340名

附属病院市民公開講座

日時…平成30年9月15日(土) 午後2時

場所…附属病院13階講堂

テーマ…もつと知ってほしい！心不全のこと ～原因、予防、治療法について～

参加者…市民ら103名

内容…「『心不全』ってなに？ 心不全の原因と個別管理」

附属病院循環器内科 諏訪恵信 助教

「手術で治る心不全」

附属病院ハートセンター 川副浩平 センター長

「心不全外来ってどんなところ？」

附属病院看護部 大北亜樹 慢性心不全看護認定看護師

「薬の飲み忘れて困っていませんか？ ～心不全治療薬と上手に付き合うコツ～」

附属病院薬剤部 田中雅幸 薬物療法指導薬剤師

「心不全と食事 ～セルフケアと食べることの大切さ～」

附属病院栄養管理部 吉内佐和子 主任

第21回総合医療センター市民健康講座

日時…平成30年10月6日(土) 午後2時

場所…守口市文化センターエナジーホール

参加者…守口市市民他約120名

テーマ…こんな症状困ってませんか？ ～手のふるえ、頻尿、背中  
の痛み～

内容…「老化と間違えない！パーキンソン病による運動障害」

総合医療センター神経内科 近藤誉之 教授

「おしっこの回数が多くて(頻尿)困ったら治療について」

総合医療センター腎泌尿器外科 駒井資弘 講師

「せほねの病気～こんな症状に注意～」

総合医療センター整形外科 安藤宗治 教授

香里病院市民公開講座

日時…平成30年10月6日(土) 午後2時30分

場所…アルカスホール(寝屋川市立地域交流センター)

参加者…寝屋川市民他約130名

テーマ…口腔ケアで健康寿命をのばそう

内容…「知っておきたい！がんの治療と口腔ケア」

香里病院外科 吉田 良 部長

「周術期における口腔ケアの重要性」

よしとみ歯科 吉富啓一 院長

関西医科大学整形外科市民公開講座

日時…平成30年10月21日(日) 午前11時

場所…附属病院13階講堂

参加者…枚方市民他45名

内容…第一部 講演

『どうして上肢(片、肘、手)が痛くなるの？痛みやしび  
れの原因を理解しよう』

整形外科科学講座 浜 佳孝 講師

『五十肩とばね指のお家でできる運動療法』

南川整形外科 大平健二 作業療法士

第二部 実技コーナー

## がん緩和医療支持療法セミナー

日時…平成30年11月9日(金) 午後6時

場所…枚方学舎医学部棟1階第1講義室

参加者…緩和医療に興味を持つ専門医・研修医・看護師・薬剤師・

大学院生他約60名

主催…関西医科大学附属病院がんセンター・大学連携個別化がん

医療実践者養成プラン

内容…「骨腫瘍キヤンサーボードの目指すもの」

放射線科学講座 中村聡明 准教授(附属病院がんセン

ター副センター長)

「転移性骨腫瘍に対する外科治療」

整形外科科学講座 朴 正旭 助教

「転移性骨腫瘍に対する放射線治療」

放射線科学講座 角田貴代美 助教

## ひらかた市民大学

日時…平成30年11月18日(日) 午前10時

場所…枚方学舎医学部棟1階オーブンラウンジ

参加者…枚方市民他55名

内容…「医療と介護の連携を目指して～住み慣れた地域での療養

生活を多くの職種が連携して支援します～」

高山康夫 理事長特命教授・介護福祉担当

「新しいリハビリ機器紹介」

リハビリテーション医学講座 長谷公隆 教授

## 学位授与

博士(医学)の学位が次のとおり授与された。

松井 芙美(73回生) 平成30年9月25日

「Induction of PIR-A/B<sup>+</sup> DCs in the in vitro inflammatory condition and their immunoregulatory function」

西村久美子(75回生) 平成30年9月25日

「Type 3 iodothyronine deiodinase is expressed in human induced pluripotent stem cell derived cardiomyocytes」

尾本政太郎(60回生) 平成30年9月25日

「Anti-atherosclerotic effects of sitagliptin in patients with type 2 diabetes mellitus」

杉 素彦(60回生) 平成30年9月25日

「The narrow vesicourethral angle measured on postoperative cystography can predict urinary incontinence after robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy」



## 研究助成各賞のご案内

### 研究助成「加多乃賞」

この研究助成は、同窓会が後進の研究者に対してさしのべる援助の一つとして、同窓会創立50周年を記念して創設されたものです。

賞金 6件以内 各50万円

### 「佐々木千枝子（ささき ちえこ）賞」

本賞は本学1回生の佐々木千枝子氏が学術振興に役立てたいとご寄付くださった基金による賞です。

賞金 1件 100万円

### 「森本園子（もりもと そのこ）賞」

本賞は、本学12回生の森本園子氏が学術振興のため、または医療をもって社会に貢献している個人または団体に役立てたいとご寄付くださった基金による賞です。

森本賞	賞金	1件	100万円
医療功労賞	賞金	1件	100万円

### 「北西壽子（きたにし としこ）賞」

本賞は本学15回生の北西壽子氏が学術研究振興のため、寄贈された基金による賞です。

賞金 2件以内 各100万円

### 「櫻根啓子（さくらね ひろこ）賞」

本賞は本学16回生の櫻根啓子氏が関西医科大学に寄贈された寄付金の一部を同窓会が委託され、関西医科大学の医学研究振興のため、優れた研究および重要な教育・研修を助成することを目的とする賞です。

優秀研究論文	賞金	1件	100万円
--------	----	----	-------

\*科学研究費補助金を申請したものに限り

国外学会発表 大学院生	賞金	3件以内	各25万円
-------------	----	------	-------

### 「藤原登美子（ふじわら とみこ）賞」

本賞は本学7回生の藤原登美子氏が学術振興のため、海外留学または海外出張に役立てたいと寄贈された基金による賞です。

海外留学助成	賞金	2件以内	各50万円
海外出張助成	賞金	4件以内	各25万円
国外臨床実習 医学部学生	賞金	原則として10件	各15万円

### 「塩崎安子（しおざき やすこ）賞」

本賞は本学19回生の塩崎安子氏が医学・看護学の教育・研究に従事している個人または団体を対象としてその業績に役立てたいと寄贈された基金による賞です。

賞金 2件以内 各50万円

### 「和田喜代子（わだ きよこ）賞」

本賞は本学14回生の和田喜代子氏が医学・医療・福祉振興のために役立てたいと寄贈された基金による賞です。

和田喜代子賞	賞金	1件	100万円
和田喜代子優秀業績賞	賞金	1件	100万円
和田喜代子奨励賞賞金	賞金	2件以内	各100万円

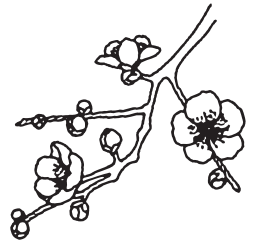
### 「丹家雛子（たんけ ひなこ）賞」

本賞は本学10回生の丹家雛子氏が医学・医療・福祉振興のために役立たせたいと寄贈された基金による賞です。

丹家雛子賞	賞金	2件以内	各100万円
丹家雛子医療奨励賞	賞金	2件以内	各50万円
丹家雛子交付奨学金(5学年を対象)	賞金	2件以内	各50万円

# 俳壇

(第37回)



「新米」 谷口公子(18回生 鳥取)

炊き上る新米のその光りかな  
あの暑さ嘘の様なり秋じめり  
閉店の茶店や紅葉散り急ぐ

「師の君」 南 路子(27回生 大阪)

師の君の柩に置きし冬の花  
山茶花や水打つ夜の石畳  
マントの背すつくと直き老女ゆく

「平成時代」 青木紀女(28回生 愛知)

穏やかな時代を過ごし平和かな  
善菌で悪玉減らし健康に  
平成や終わりに近づく寂しさよ

「台風」 岡本純胡(28回生 兵庫)

野分去り空路かくまで澄み渡り  
台風が行方気にしつ夜明待つ  
台風の中のみにて診療す

「冬の旅」 谷野桂子(32回生 大阪)

一人旅車窓かなたの冬霞  
短日や箕面遠しと思ふとき  
顔見世や新人も居て京の暮

「神戸っ子」 柄川武子(34回生 兵庫)

遠花火平成の世を惜しみつつ  
海山の秋待ちかねし神戸っ子  
冬麗や檻百態のフラミンゴ

「秋桜」 篠田裕司(37回生 大阪)

茅葺きに三世代住み秋桜  
スーパーパーンティア爽やかに次の場へ  
口切りや挽き臼重し香り立つ

「夏の朝」 調 早苗(41回生 京都)

町家より白檀の香夏の朝  
在りし日の犬の首輪や梅雨に入る  
片陰を探し歩むは旅の人

「復活」 鶴田一郎（44回生 兵庫）  
夏休み分身欲しき誘ひあり  
寝返の腰の痛みし余寒かな  
復活の兆し冬至の太陽に

「俳句は詩」

俳句は読むも作るも両方心の豊かさを増します。例えば、災害日本列島とも言える2018年の自然の猛威。しかし、草木に花を咲かせる優しさを持ち合わせるのも自然なのです。

そういった自然に目を背けることなく、適切な言葉を並べ、季題と文字数17文字の中に詠み込む努力を続けていただきたいものです。

励ましの俳句もよし、喜怒哀楽を俳句にしてみましよう。一生一句世に残る俳句を目指して下さい。

柄川武子 記

投句用紙 お題「 」 氏名

回生（俳号）


締切 6月15日・12月15日 厳守  
ご投句をお待ちします

投句先 〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 関西医科大学13F  
関西医科大学同窓会「おとづれ」係 俳壇担当 柄川武子宛（34回生）  
FAX 072-804-2177



# 訃報並びに偲び草

大原 一枝 (4回生) 平成30年11月12日 逝去  
 松尾 博子 (7回生) 平成30年8月8日 逝去  
 山本喜美子 (9回生) 平成31年1月17日 逝去  
 宇都宮澄江 (10回生) 平成25年6月30日 逝去  
 中江 良子 (10回生) 平成30年11月16日 逝去  
 芦原 房子 (11回生) 平成30年6月22日 逝去  
 車 富士子 (12回生) 平成30年10月6日 逝去  
 西岡佐紀子 (13回生) 平成30年10月19日 逝去  
 長谷川洋子 (13回生) 平成26年12月7日 逝去  
 竹岡富美子 (14回生) 平成30年10月17日 逝去  
 井上 康子 (15回生) 平成30年12月5日 逝去  
 新海 美幸 (16回生) 平成30年1月21日 逝去  
 玉本 信子 (16回生) 平成30年12月21日 逝去  
 畑 節子 (16回生) 平成31年1月22日 逝去  
 櫻本 富恵 (17回生) 平成30年9月9日 逝去  
 西村寿美子 (17回生) 平成30年7月18日 逝去  
 吉松 昌子 (17回生) 平成30年12月11日 逝去  
 稲山 愛子 (18回生) 平成30年6月17日 逝去  
 椎名 嘉子 (18回生) 平成29年9月19日 逝去  
 清水 和子 (18回生) 平成30年10月4日 逝去  
 中川満喜子 (18回生) 平成30年12月8日 逝去  
 平岡 艶子 (18回生) 平成30年7月3日 逝去

(敬称略)

廣岡 文子 (18回生) 平成30年7月29日 逝去  
 秋元 末枝 (19回生) 平成27年6月1日 逝去  
 田近 京子 (19回生) 平成30年10月4日 逝去  
 松田 繁子 (19回生) 平成30年11月13日 逝去  
 野崎 光子 (20回生) 平成30年9月19日 逝去  
 小谷 雅子 (21回生) 平成30年9月11日 逝去  
 中西ちゑ子 (22回生) 平成30年7月15日 逝去  
 松浦 礼子 (22回生) 平成30年1月17日 逝去  
 大島富美子 (23回生) 平成30年12月1日 逝去  
 垣田 光 (23回生) 平成29年11月26日 逝去  
 丸井 亮子 (23回生) 平成31年1月11日 逝去  
 川島美智子 (26回生) 平成30年11月18日 逝去  
 山田 武夫 (27回生) 平成30年7月18日 逝去  
 藤本 房子 (30回生) 平成30年7月28日 逝去  
 馬場 貞夫 (33回生) 平成31年1月18日 逝去  
 蘆田 正毅 (34回生) 平成30年10月9日 逝去  
 澤村 隆也 (36回生) 平成30年3月 逝去  
 寺西 征夫 (40回生) 平成30年9月7日 逝去  
 今村 一陽 (43回生) 平成30年7月15日 逝去  
 相良 宝作 (44回生) 平成30年7月4日 逝去  
 大西 修作 (49回生) 平成30年12月20日 逝去  
 田原 英樹 (55回生) 平成30年12月2日 逝去  
 中井 宏治 (62回生) 平成30年7月6日 逝去

謹んでお悔やみ申し上げます

関西医科大学 名誉教授

関西医科大学同窓会 名誉会長

# 大原一枝先生御遺影



## ご略歴

- 大正3年3月3日 兵庫県姫路市で出生
- 昭和11年3月26日 大阪女子高等医学専門学校卒業
- 昭和11年 同校皮膚科泌尿器科教室へ入局
- 昭和17年5月25日 京都帝国大学医学部附属病院医員、皮膚病学黴毒学教室へ入局
- 昭和17年11月24日 大阪女子高等医学専門学校講師
- 昭和19年6月1日 同校助教授
- 昭和20年3月 医学博士（京都帝国大学）
- 昭和33年9月17日 関西医科大学教授
- 昭和37年 日本医学会総会分科会日本医真菌学会会頭
- 昭和37年 日本皮膚科学会「皆見賞」受賞
- 昭和46年7月31日 関西医科大学退職
- 昭和46年 大阪御堂筋に皮膚科医院開業
- 昭和46年8月10日 関西医科大学名誉教授
- 昭和46年11月13日 「大原賞」基金設置
- 昭和50年 関西医科大学同窓会会長
- 平成元年 関西医科大学同窓会名誉会長
- 平成12年 「吉岡弥生賞」受賞
- 平成14年 「国際先駆者賞」受賞
- 平成14年6月 「日本女性科学者の会功労賞」受賞
- 平成30年11月12日 逝去 享年105歳
- (戒名 薬王院萬松一枝大姉)



昭和12年 京大皮膚科時代



昭和11年 牧野寄宿舎前(左端)



昭和6年 満17歳



昭和34年



昭和33年 新聞記事



昭和31年 ペン女子医大学長と共に



昭和36年



昭和31年 エルランゲン大学にて



昭和37年 卒業生と



昭和34年



昭和53年 東芝ビル4F診療所で



昭和38年 製薬会社取材



昭和37年 関西医大にて





平成元年 同窓会会長退任記念会



昭和49年 財団法人加多乃会発会式  
於新阪急ホテル財団法人加多乃会発会式昭和49年6月29日



平成14年 「国際先駆者賞」受賞お祝いの会



平成11年 「集塵抄」発行祝賀会



平成元年



昭和53年



平成28年 102歳お誕生会



平成26年 故福嶋信子教授50回忌の墓参



平成15年 日本ハンセン病学会



平成30年7月 関西医科大学創立90周年祝賀会

# 大原一枝先生を偲ぶ

関西医科大学 理事長 山下 敏夫 (34回生)

関西医科大学名誉教授 故大原一枝先生を偲び、謹んで哀悼の言葉を述べさせていただきます。

大原先生は関西医科大学にとり特別な方であり、誇りであり、歴史そのものと言っても過言ではありません。

大原先生は昭和11年3月に大阪女子高等医学専門学校を卒業された本学の第4回生です。百歳を越えられてからも亡くなられる直前まで毎年の入学式、卒業式には来賓として出席され、また昨年7月の本学90周年記念行事にも出席していただき、参加者一同大変感激いたしました。このように母校にかける先生の熱い思いには常々頭が下がる思いを持っておりました。

先生はご卒業後、京都帝国大学皮膚病学黴毒学教室に入局され、研究と臨床の両面を研鑽されました。昭和17年に本学に講師として帰校され、昭和20年に京都大学から医学博士の学位を授与されました。その後大学は大阪女子医科大学、関西医科大学と校名が変わりましたが、本学にずっと在籍され、助教を経て昭和33年に皮膚泌尿器科学講座の3代目の主任教授に就任されました。その2年後に泌尿器科学講座が独立し、皮膚科学講座主任教授として昭和46年までお務めされました。先生は本学の出身者で講座主任教授になられた初めての方で、当時同窓生は荣誉なことで大変喜ばれたと聞いています。

大原先生の皮膚科学におけるご業績は顕著であり、日本皮膚科学会皆見賞、世界の皮膚科分野で特に国際的な貢献をされた女医に5年に一度贈られるという名誉な国際先駆者賞などを受賞されていることか

らもその偉大さが窺えます。さらに皮膚科学を超越して、日本女医会による吉岡弥生賞や日本女性科学者の会功労賞も受賞され、日本の女医のトップリーダーでもありました。

一方、先生の本学校法人へのご貢献も他に例を見ない大きなものがありました。評議員を昭和34年から平成20年まで実に49年間、本学の歴史の半分以上に亘りお務めいただき、さらにその内の昭和45年から平成2年までの20年間を理事として本学の運営・経営にも寄与していただきました。理事長として改めて感謝の念を深く表したいと思えます。さらに昭和50年から平成元年まで同窓会会長をされたことは皆様ご存知のとおりです。

私事となりますが、私の父は本学の初代の耳鼻咽喉科学講座教授であり、大原先生は父の講義を受けられたそうです。それだけではなく、父は耳鼻科医でありながら真菌症が主要研究テーマの1つであり、これが大原先生のご専門と重なり、ずっと親交があったようです。そのため私は、若い頃から大原先生には特別なご指導とご交誼をいただき、先生に対し大変尊敬と親しみを感じてまいりました。お会いするたびに先生は私の手を取り、必ず一言言葉をかけていただきました。その時の先生の柔らかい手の感触が忘れられません。

まさに巨星落つの感じでした。先生の本学への長年のご貢献に心から感謝し、先生が安らかに眠られることをお祈り申し上げます。



# 大原一枝先生を偲ぶ

関西医科大学 学長 友田 幸一（45回生）

105歳での天寿を全うされた大原一枝先生を偲び、謹んで哀悼の意を捧げ、お別れの言葉を述べさせていただきます。

先生は、昭和11年に大阪女子高等医学専門学校の4回生として卒業され、同校皮膚泌尿器科教室に入局されました。その後、京都帝国大学皮膚病学黴毒学教室へ入局され、6年後の昭和17年に大阪女子高等医学専門学校講師、昭和19年に同校助教、昭和33年に前任の速水伸三教授の後任として関西医科大学皮膚泌尿器科教室第3代教授に就任。昭和34年から泌尿器科教室が分離独立することで、昭和35年に現皮膚科学講座教授となっています。

先生は、たまたま稀有なカンジダ性肉芽種やムコール症に遭遇されたことを契機に、非病原性真菌の気まぐれ感染、さらには空中真菌の研究へと真菌学的な分野を開かれ、ムコール症の研究で昭和37年に日本皮膚科学会「皆見賞」を受賞されました。これは研究内容の質の高さに加え、当時の研究設備の貧弱な環境下での努力の成果を讃えたものであったようです。その後、昭和38年には日本医学会総会 分科会日本医学真菌学会の会頭を務められるなど当時49歳のお歳で、臨床・研究・学会活動に全力を注がれていた時代でした。先生は十三年間の教授職を全うされ昭和46年に退職、皮膚科医院を開業されました。

ご開業後も地域医療、女性医師の会などでも活躍され、平成13年に当時87歳のお歳で日本女医会の吉岡弥生賞を受賞されました。医学に貢献された受賞者は、本学では野呂先生、鮫島先生、藪内先生に次いで4人目になります。その翌年、平成14年には米国女性皮膚科医協会

から、皮膚科分野で国際的に貢献された女医に贈られる榮譽ある賞「国際先駆者賞」第1回目の受賞者となられ、その銀製の賞杯は大学の歴史資料館に陳列させていただきます。

一方、先生は同窓会にも多大な業績を残されました。同窓会創立25年を経た昭和33年頃から、大原先生が本学初の母校正教授に就任されたことを受けて、学校法人役員のお一人に就任されました。そして昭和36年に一回生の川那部喜美子先生が初代同窓会会長に就任され、昭和49年には財団法人「加多乃会」が発足しました。昭和50年に役員改選、続いて4回生の大原一枝先生が第2代同窓会会長に就任され、昭和51年には同窓会館が建設されました。先生は、同窓会費の終身会費の導入や支部長会議、昭和58年には、同窓会創立50周年記念事業を機に後進への研究助成、会員遺児の教育助成の他、「関西医科大学同窓会五十年史」の発刊で、これは関西医科大学の歴史上永遠に残る金字塔となりました。

もう一つの偉業として「大原賞」の制定を語らずして終われません。これは、昭和46年に関西医科大学教授をご退任の際に同窓会に多額の基金を委託され、翌昭和47年から毎年卒業時に最優秀卒業生に贈呈されてきました。第1回受賞者弓削マリ子さん（40回生）に始まり、今年の中井智也君（87回生）まで48年間続いています。第32回までの受賞者の感謝の言葉集が「枝の雪―大原一枝先生に感謝をこめて」として平成24年に同窓会から発刊されています。

このように先生は、同窓会・大学の歴史とともに歩んでこられ、まさに建学の精神「慈仁心鏡」を自ら実践されてこられた方と思い





ます。先生の偉大な功績を讃え、畏敬の念をもって先生の胸像ならびにレリーフ像を造形し、新牧野講堂に掲額させていただきました。

今後、私どもは先生のご遺志を継承し、関西医科大学の更なる発展のために日々邁進してまいります。有り難うございました。ここに先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## 大原一枝先生を偲んで

関西医科大学 皮膚科学講座教授 岡本祐之

大原一枝先生のご逝去に対して心からご冥福をお祈り申し上げます。

大原先生は昭和33年に第三代皮膚科学講座教授に就任され、私が高校を卒業した昭和46年に退職されました。

先生との関わりは、先生が当時の大阪女子高等医学専門学校を卒業後に入局された京都大学皮膚科の同門会でご挨拶することや、私ども皮膚科同門会の芳交会や大学行事でお会いした際にお話しすることしかなかったのですが、そのたびに先生のやさしいお人柄に触れてきました。今でも先生の上品な笑顔が思い浮かびます。芳交会には2003年度の卒寿のお祝いのお会にご出席していただき、翌年の芳交会30周年記念の会にもお越しいただきましたが、それ以降ご出席されず寂しい思いをしておりました。

先生が皮膚科医になられ、教授職を務め、ご活躍されていた頃のこととは直接には存じあげませんが、87歳の時に書かれた先生の名著であります自叙伝を拝読いたしますと、いかに苦しい環境の中で、皮膚科

医として、指導者として、そして女医としてご活躍されたかを理解することができません。今は女性皮膚科医が増え、女性の皮膚科学会理事・大学教授・病院部長も珍しくはありません。皆さまそれぞれ女性ならではの苦労をされて要職につかれています。しかし、第二代皮膚科教授山本俊平先生の「くさ（皮膚病）医者にならぬか」との勧誘で皮膚科に入局され、京都大学皮膚科でほぼ無給の中で研究・臨床活動に邁進された7年間。後に本学講師として戻ってこられ、数少ない医局員とともに教授職をスタートされて、数多くのすばらしい業績を残された大原先生のご苦労は計り知れないものと思われまます。経験された一人のムコール症の患者さんで真菌学の一連の研究をされて、日本皮膚科学会で最も権威のある皆見賞を受賞されました。また、一人の患者さんで苦労されて行われたアレルギー生体検査が、その後、社会的に注目された顔面黒皮症と化粧品との関連性の解決に貢献されたことは、我々臨床医にとって多くの患者さんに還元できるような悦ばしい業績であります。そして、国内での女性指導医としてのご活躍がInternational Pioneer Award for Distinguished Women in Dermatology 受賞という形で認められたことは、女性皮膚科医にとって励みになるとともに、高い目標になるものとして尊敬の念に耐えません。これからの女性皮膚科医に、先生の志、思いが受け継がれていくものと信じています。

本学卒業の先生方の中でもとりわけ大切な先生であることはもちろんですが、私ども皮膚科学講座の宝であり、誇らしい存在であります。先生の歩んでこられた道に心から敬意を表します。皮膚科学講座の礎を築いていただいた先生に哀悼の意を表したいと存じます。

# 大原一枝先生を偲ぶ

関西医科大学同窓会 会長 秋 田 光 彦 (34 回生)

大原一枝関西医科大学名誉教授のご逝去を悼み、謹んで哀悼の言葉を述べさせていただきます。

大原先生は昭和11年3月26日、大阪女子高等医学専門学校を卒業され、同年5月25日に京都帝国大学医学部附属病院皮膚病学微生物学教室へ入局し、研究、臨床に没頭されました。昭和20年、京都大学で医学博士の学位を取得されました。

昭和17年に母校、大阪女子高等医学専門学校講師、昭和19年に助教、昭和33年に関西医科大学教授に就任されました。同窓生で初めての講座主任教授誕生です。大変称賛され、同窓生のはげみとなりました。その後、昭和46年に関西医科大学を退職されるまで、皮膚科学教室の研究、教育、診療に一生懸命努力され、皮膚科学教室を発展させました。日本及び世界から色々な賞を受賞されています。その一部をご紹介しますいただきます。昭和37年皮膚科学会より「皆見賞」、平成12年「吉岡弥生賞」、平成14年「国際先駆者賞」「日本女性科学者の会功労賞」等を受賞され、内外にその名を轟かせました。

関西医科大学は、発展、脱皮することに再三ピンチが訪れています。その度に愛校の旗印を高く掲げ同窓生、川那部喜美子先生と大原一枝先生は先頭を切って応援をされました。昭和12年、清野会館と大講堂建設に1万2千円。昭和15年、滝井会館建設1万円、昭和22年に日本医療団から香里病院を買収する際に、買収費195万円の内、実に171万円を(医科大学昇格)、昭和26年には新制医科大学の許可の条件で臨床研究室が必要となり、242万円を同窓生が浄財を集めて

建築し母校に贈呈(総工費281万円)。昭和33年、母校の運命をかけた附属病院の本館の建築資金導入のため、募金行脚などの活動で1億2千万円の協力預金を達成し、学校当局に建築の方向に踏み切ってもらった原動力をつくられました。これは、学位審査権と大学院設置の条件を満たただけでなく、当時病院を建設していなければ今日の関西医科大学はないと言っても過言ではないと思います。

また学校法人関西医科大学評議員に49年間、理事に20年間就任されており、大学発展のため大きな力を発揮されました。

そして、同窓会ならびに加多乃会における貢献は素晴らしく、同窓生の手で運営できる新機構になった昭和36年に同窓会副会長、昭和50年には同窓会会長に就任され、同窓会の基礎を築きあげられました。すなわち支部長会議の新設、終身会費制の導入、そして昭和58年には同窓会創立50周年記念事業・記念式典・祝賀会を10月8日、9日と2日間にわたり開催され、素晴らしく大きな反響があり、関西医科大学同窓会の名を上げました。さらに、後輩に対し研究助成事業を開始、「同窓会五十年史」の刊行、事務の機械化、関西医科大学60周年記念事業募金の推進、多くの改革や新事業、施策を次々とされました。

また、財団法人加多乃会の設立に対しても<sup>故</sup>川那部喜美子先生と一緒に活動され、同窓会自身の経済的基盤を固めるために積極的な募金活動で同窓会特別基金を充足し、加多乃会館の建設にも頑張られました。地上4階建の会館が出来、色々な行事に使われていましたが、大学事務の移転に伴い会館も閉鎖せざるをえなくなり、平成28年5月に残念ながら売却となりました。加多乃会館で最後の同窓会・加多乃会定例理事会(平成28年4月)に車椅子で出席されました。先生は万感胸にせまる思いだったかとお見受けいたしました。

ここに私どもと幽明境を異にされたことはまことに痛恨の極みであり、大学にとっても我々同窓会にとっても生き字引を失い戸惑ってお

ります。先生、長い間色々ご指導有り難うございました。先生が育てられた同窓会のさらなる発展のために、ご意志を継いで努力してゆく所存です。

巨星おちて尚、お志はあかあかと輝き続けることでしよう。

先生が安らかに眠られることをお祈り申し上げます。

## 大原一枝先生を偲んで

一般財団法人加多乃会 会長 水野孝子（29回生）

関西医科大学卒業生は現在8255人（1～86回）、内女性は4184名です。

大原一枝先生はこの卒業生の中で屈指に入る優秀な先生で、女性卒業生の中でも先生に継ぐ方は数少ないのではないかと思います。先生は関西医科大学創立後、初めての女性教授としてご就任されました。

大原先生は4回生、私は29回生で、先生には大学での講義やポリクリ等で教わった記憶はなく、教授ご就任後も接する機会は少なく、私と同窓会理事として就任以来、先生にお近付きになりました。私の恩師鮫島美子先生（関西医科大学名誉教授）と、大原先生の同級生で無二のご友人の<sup>故</sup>福嶋信子先生（関西医科大学元教授）とは三羽鳥でいらっしゃいましたが、福嶋先生が若くして逝去され、以降先生は鮫島先生にはご姉妹のように鮫島さん、鮫島さんと声をかけておられました。私が若い頃は、大原先生のことは鮫島先生や<sup>故</sup>塩崎安子先生を通じてしか存じ上げませんでした。同窓会に係わるようになって改め

て大原先生の偉大さを知りましたし此度先生に関連した資料を読んだり話を聞いたりして、その思いは一層強くなりました。

「天は二物を与えず」と言われますが、先生の頭脳、容姿、人柄、お育ちになった環境、何をとっても全て揃っていらっしゃる非のうちどころのない才媛です。先生の学生時代、卒業後京都大学での研究、関西医科大学教授時代、開業そして引退までの半生を、折々の誌に投稿された文章をまとめられ、平成10年に上梓されました「集塵抄」を拝読し、先生の覇気と勇氣に感動しました。その後先生が満87歳の誕生日のころ、「皮膚病診療」6月号に掲載された『あれこれ追いかけて結局散漫のわが学問人生』に、先生が現役のころから引退後までを先生らしく執筆され、終わりに

雨降りぬ 天気になりぬ それだけの

わが明け暮れの独り言かも 清水比庵 作

でしめくくられた心境に、いかにも洒落な先生を実感しました。

医学研究者としての業績は立派で各方面からの受賞も多く、皮膚科領域の皆見賞、世界の皮膚科分野で特に国際的な貢献をされた女医に5年に一度贈られる第1回国際先駆者賞（米国女性皮膚科医協会）、その他吉岡弥生賞、日本女性科学者の会功労賞等を数々と受賞されており。

次に同窓会との関与につきましては、関西医科大学同窓会会長として14年間（昭和50年～平成元年）尽力されました。その間、同窓会創立50周年記念の式典を会長として同窓会半世紀の節目を見事に締め括られました。

一方、大学退任時に後輩のために基金を作り毎年卒業式時に最優秀卒業生に「大原賞」を贈呈され同窓生として後輩の為に尽力されました。そして現役引退後104歳になった晩年まで同門の有志が集まった誕生会（誕生日は3月3日）をされていました。このように、若い



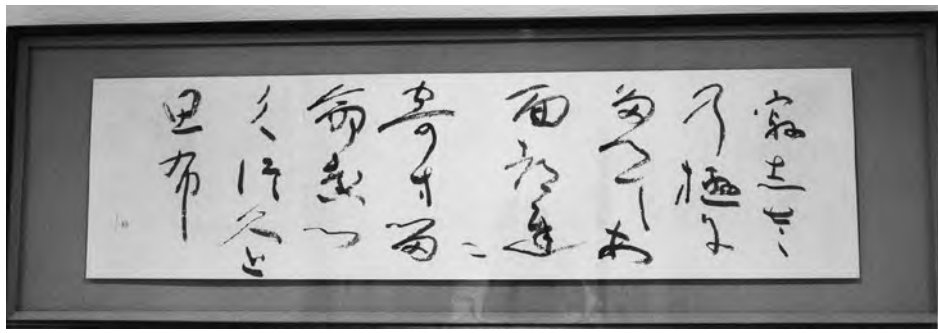
時は後輩のために尽力され、老いては皆に慕われ続けておられました。次に女医として、特筆すべきは昭和31年9月（毎日新聞、朝日新聞にも掲載）に開かれた国際女医会理事會に、日本から戦後はじめて日本代表として出席され、70日間一人でドイツ、アメリカ等を廻り女医医学状況の情報を収集する傍ら、有名な皮膚科教室をまわり主任教授ほか色々な方々と会われ、ご自身の研究領域である皮膚科の情報交換などされております。

そしてその後、関西医科大学図書館長の頃にもお一人で世界一周の見学旅をされ、多方面にわたって見聞を広められています。男女格差の厳しい時代に、常人では歩めない人生を先生の天性と能力で生涯を送ってこられました。最期はご親戚の西村公夫様、大原 孝先生、同窓会事務の花井榮子様

優しく見守っていただけ、本当にお幸せでした。先生の美しい永遠の微笑みは皆の心に深く残っています。

今は、菩提寺である京都・一休寺でご両親と三人で楽しく語られている事でしょう。ご冥福をお祈りします。

先生がお書きになり同窓会館に掲額しています直筆の書



## 心からご冥福をお祈りいたします

緒 方 文 江（16回生）

大原先生のご逝去、心からご冥福をお祈りします。

先生の笑顔と、優しくして頂いたお心遣いを想い出し、悲しさと淋しさが胸一杯に広がります。

『世界最初の女性医師』の翻訳の著書、また『集塵抄』、度々頂いたお手紙等を読みながら、唯々多くの示唆を心に繰り返し吹きながら、合掌しています。国際女医会でもご活躍頂きました。

美しく、かぐわしく、聡明な先生。あまりにも立派な先生でした。でも皆様方のご厚情を得て、105歳の年を重ねてこられたと思います。今は可愛がっておられた「スージー」という犬の頭を撫でながら、ほほ笑んでおられるでしょう。

私も先生の教え、生き方を心に留めて、残りの人生を過ごそうと思っております。関西医大の大きな存在だった先生、これからも関西医大の上に思いを寄せて、天国から見守ってられますでしょう。

九州の隅からご冥福を祈らせて頂きます。

合掌

さびしさの きわみにたえて あめつちに

よするいのちを つくづくとおもふ

伊藤左千夫作

## お悔やみの言葉

内 藤 博 江 (22回生)

関西医科大学名誉教授 大原一枝先生の突然のご逝去の報に、私たち同窓生は大きなショックを受け、深い悲しみに打ちのめされております。

105歳という天寿を全うされたとは言え、もっともつと長生きして頂きたかったのに、誠に無念でなりません。

大原一枝先生におかれましては、母校関西医科大学及び同窓会に対して強い愛情を持って、多大なる貢献をしてくださいました。そのことに対して、私たちは深い感謝を捧げております。中でも、同窓会誌「おとづれ」の編集・発行に長年にわたり実に絶大なるご尽力を頂きましたことを、私たちはいつまでも忘れることはできません。

大原一枝先生の、ご生前の業績をたたえ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。誠にありがとうございます。 合掌

## 晩年の師を偲んで

南 路 子 (27回生)

100歳を過ぎて、体調を崩されてもすぐ立ち直っていらした先生が、「いよいよご臨終です」と同窓会事務の花井さんから連絡頂いて、

香里病院へ駆けつけたが、先生は既に死に化粧をして頂いておられた。肉体の苦痛から解き放たれた先生は、静かで美しかった。

遺影によりお写真があるのですが、と花井さんが見せてくださった。お誕生日に事務の方たちが歳の数のスイートピーを花束にして贈られていたが、そのスイートピーの前に静かに微笑んでおられる、美しくも言われぬ品のある写真で、一度で決まった。

教授ご退任後、御堂筋に面した東芝ビルで数年ご開業の後、ご自宅の長屋門のある光善寺の家に住まわれ、いつも母校のことを見守り続けておられた。

年に一度、数人の門下生が大原先生を囲む会でご馳走を楽しんだのが1999年まで。義弟の永井さんと同居しておられた先生80代後半は枚方同志であったのでよく伺った。

長屋門を潜ると、無類の犬好きの先生の愛犬ミニダックスフントのスージーが飛んでくる。続いて日系ブラジル人のナミさんがここにこ現れ、絵や書のお好きな先生の応接間やリビングでお菓子やお食事を頂戴しながら、よもやま話をする楽しい一刻をもった。先生のお膝や足下にスージーが常にまといつく。

私の友人、倉内暎雄医師が用意万端調べて四輪駆動の車に先生と私を乗せ、有名なただ桜、藤、寺等を案内してくださり、義弟の永井さんのご希望で出来たての明石海峡大橋を渡ったことも懐かしい。

お手伝いのナミさんが家庭の都合でブラジルに帰ったときは、思案の末、スージー共々加多乃会館の隣の「ナービス平代」、次いでスージーのためにお部屋の改装をしてご自宅へ帰られたが、老衰に勝てずスージーが亡くなってしまったので、終の住宅となった「サンセール香里園」に入居された。

自分の都合でサンセールへ余り伺えなくなった私は、いつも先生のことを心にかけていたが、花井さんが心も手も行き届いた面倒見をし

てくださったので、心から感謝している。

関西医大一筋に生きてこられた先生、ご墓所である一休寺の自然の中でゆっくりお休みください。

## 大原一枝先生を偲んで

大原 孝（32回生）

本学の元皮膚科学講座教授 大原一枝名誉教授④は、平成30年11月12日、関西医大香里病院で呼吸不全により逝去された。従兄弟の一人として思い出を綴り、先生への哀悼の言葉とさせていただきます。

先生は本学卒業後、皮膚科泌尿器科教室へ入局され、京都大学皮膚病学微生物学教室で真菌の研究のご指導を受けておられた。私が関西医科大学専門部へ入学後の昭和35年夏、皮膚科学教室医員と数名の学生とが先生の研究発表のための実験を手伝う事となった。夏休み中実験室となった滝井旧館本館1階の部屋で、実験用の20〜30匹いたと思うラット飼育を行った。最初に受けた注意は「Rattenn Viruskrankheit（ラット感染症）の予防について」であった。毎朝飼育ラットの体重測定、餌と飲料水補給・飼育ゲージ清掃等を行った。皮膚科学教室千葉圭子先生⑩によるラットへの真菌投与の見学と、夏休み終り頃に屠殺解剖迄見学させて頂いた。此の時の研究成果が皮膚科学会の学会賞受賞となった。後に「ムコール及びムコール症の研究」大原一枝、千葉圭子の論文の別刷を頂いた。

昭和46年7月のある日、私が泌尿器科外来診察終了時に突然先生が

診察衣姿で来られ、「孝さん、頑張つてね」とパーカーの万年筆・ボールペン・シャープペンシルの3点セットを下さった。その後、間もなく大学を退職され、此の3点セットは今も使用させて頂いている。

先生が大学退職後に開業されたクリニックを尋ねた時には、本町駅地下街での食事や、同窓会例会後、京阪電車と一緒に帰る際には、戦前戦中戦後の本学病院の諸々のお話をお聞きした。印象に残っているのは、「先生が医師になりたての頃の門真付近は湿地帯で、病院から患者宅へ往診する時は、駄付近から迎える手漕ぎの船で目的地まで行く必要があった事」、戦争中「空襲警報の際に内科の鮫島美子現名誉教授⑬が滝井病院の屋上で防空頭巾姿で状況報告をされた事」、戦後は「疥癬が流行し、病院廊下に桶を設置して硫黄を入れた風呂で治療した事」、「病院から医師職員用に配給された米を研ぐと、米が水面に浮いてくる不良米が用いられた事が問題となった時、先生が職員代表として時の病院長内科学教授 前田東作先生に現状を訴え、改善を求められた事」、「戦後学校病院経営が難しく、十分な給与が得られず教職医師のクリニック併業が認められた時期があった事」、「同窓会会長を学長が兼任されていたのを、卒業生の強い思いが学校法人から同窓会を独立させ同窓卒業生が会長となった事」、「同窓会を社団法人化する際、文部省迄出向いて交渉したが、法制度改正で社団法人移行が行き詰った。この時の理事長 荻生規矩夫先生が財団法人への移行案をご示唆下さり、財団法人 加多乃会が設立出来た事」など千夜一夜の話を感じさせる。荻生規矩夫先生ご逝去の際には、先生と東京のご自宅へ弔問に同行させて頂いた。その時の新幹線車中で先生がクリニックを閉じると話され、間もなく静かな生活に移られた。

先生のお父上 大原武夫氏は戦前毎日新聞社で欧米主要都市の海外特派員として活躍されていたが、退職後はリーダーズ・ダイジェストの翻訳やエッセイや哲学書の翻訳もされていた。お父上が新たな翻訳



中に病魔により鬼籍に入られた為、クリニックを閉じられた先生は、お父上の志を受けて残る部分を翻訳し、完成させて発刊された。その後、嘗て一般財団法人加多乃会の「高齢者福祉のための研究会」の施設学会参加で納得されていた施設である「介護付き高齢者施設パナソニック・サンセール香里園」に入居された。

今年104歳になられたお誕生日祝いを、先生は少女のように喜んでおられた。これまで先生がお世話になりました関西医科大学の皆様、学会の皆様にご感謝しつつ、満足な生涯を終えられた事と思います。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 関西医科大学名誉教授 大原一枝先生を偲んで

西 嶋 攝 子 (39回生)

皆さますでにご存じのように、大原一枝先生が平成30年11月12日の午後105歳の天寿を全うされました。追悼号に不肖の弟子である私にも一筆書くようにと、同窓会「おとづれ」の編集委員会から指名された時には正直とても戸惑いました。私たち(39回生)が先生の講義を受けた最後の学年のように思います。約半世紀も前から仰ぎ見るような存在であった先生の「偲び草」を書くなど、これまで想像することすらありませんでした。

前置きはこれくらいにして、私に(だけ)書くことが出来ることは?と考えると、先生の数ある業績の中のひとつである米国女性皮膚科医

協会から授与された「第一回国際先駆者賞」の受賞と、米国での授与式にお伴をしたことを書くことに致しました。

平成14年2月24日に米国ニューヨークにおつてAAD (American Academy of Dermatology) 傘下のWDS (Women's Dermatologic Society) から、その総会の席で「第一回国際先駆者賞」が先生に授与されました。受賞理由は(1)皮膚科学における女性の地位を高めた、(2)女性のためのよき指導者としての任をはたした、(3)皮膚病学又は医学の分野で刮目すべき業績をあげた、(4)女性問題又は皮膚科学にたずさわる女性にとって先達として後進への道を拓いた、の4条項を満たす女性皮膚科医に今後5年に一度授与されるというものです。

米国での受賞式への出席は、当時88歳(高齢?)での苦手の航空機での長旅のため、先生のお心は迷いに迷われたそうです。田上八朗東北大学皮膚科教授、発地雅夫信州大学病理学教授、小川秀興順天堂大学皮膚科教授・学長兼任などの諸教授の「女性医師のみならず日本の皮膚科医全体の荣誉である」との祝辞と激励のお言葉、特に煩雑な書類作成の労をお取り下さった田上教授のお励ましと、柄川武子氏<sup>③</sup>と西嶋のお伴の申し出があり、渡米の決行を決意されたことと。

出発の2月22日は日本では一番寒い時期でしたが、經由地のロサンゼルスでは太陽が照りつけ、着衣をノースリーブ一枚に変えたこと、ニューオーリンズの空港には黒塗りのリムジンが迎えに来てくれたこと、アメリカは2001年の9・11テロの後でもあり、空港でのsecurity checkがことのほか厳しく、大原先生は帽子を取られて驚いておられたこと、会場となったヒルトン・ホテルで到着翌朝のバイキング形式の朝食時、ドイツMünchen大学Plewig教授と一緒になり「挨拶した折、傍に居られた大原先生を(一)覧になつて「Is she your mother?」とお尋ねになつたのよ」 「Oh no, she is our emeritus Professor. She came here, because tomorrow she will be given the

Award by Women's Dermatologic Society」とお答えしたところ、Pewig教授は「Oh my big mistake!」と恐縮されて、丁寧にご祝辞を伝えられたこと、など沢山のことが思い出されます。

同時に開催されていたAmerican Academy of Dermatologyは米国最大の皮膚科学会であり、私もこの時が最初の参加でした。欧米から多数の皮膚科医が集まるのですが、皮膚科医でなくても楽しめますよ！と以前から聞いていたとおり、皮膚科医でない柄川氏も結構楽しんでおられたご様子に私も安堵致しました。

大原先生、有意義で楽しい思い出を頂きありがとうございました。  
\*役職は当時のものです。

参考文献・大原一枝・おとづれ 第117号、P 25～27

この時授与された賞杯は銀杯のボウルで、表面には以下の刻印がされています。現在は同窓会事務室に保管されています。



Women's Dermatologic Society  
2002 International Pioneer Award For  
Distinguished Women in Dermatology  
Kazue Ohara, M.D.Ph.D.

## 大原一枝先生を偲んで

三 木 耕一郎 (45回生)

大原一枝先生にはお二人のお父様がいらっしゃいました。お一人は大原先生が敬われていて、多くの方がご存じの大原武夫さんです。そしてもう一人が中尾義則さんです。

この方は大原先生の実の父ですが、大原先生曰く「放蕩者で家の売れるものを売り払ってしまった」人です。そして、私の祖母の出自が中尾家でしたので、私自身は祖母に連れられて、子供の頃から中尾家によく出入りしていました。このような関係で、私が関西医科大学に入学したときから、親に言われるまま、節目節目でご挨拶と近況報告を兼ねて大原先生をお伺いしていました。関西医大の教授室、本町の診療所、ご自宅とあちこちにお伺いしました。近づき難い立派な先生でしたので、私は何時もこわごわでしたが、先生は少しお話をした後、食事に連れて行ってくださいました。私にとって、大原先生は「少し怖いけれども頼りになる優しい方」でした。

約15年前、たまたまご自宅を訪問した折、身内の方が皆さん亡くなられてしまい、大原先生がお手伝いさんと愛犬スージーちゃんとで生活をされていることを知りました。その頃はまだ足もすっかりされており、ご自分で何処にでも自由に行くことができ、お友達の方々も大原先生の元を訪れられていました。90歳を過ぎられた頃から徐々に足が弱くなれば、外出も一人では遠出は難しくなってきたらしく、晴らしになるかもと、その頃から大原先生を訪問する頻度が増えました。また、少しでも刺激になればと考え、私の家族と一緒に大原先生を外出に誘うことも増えました。

香里園の高齢者施設に入所後も、できるだけ頻繁にお伺いしようと思いつつも、2〜3カ月間隔が空いてしまうこともありました。それでも行くと、私を見つけると手を振ってくださり、歓迎して頂けました。少しお話をした後は車椅子で施設内や、時には施設の周りを散歩し、1階の休憩所でお茶とおやつを頂くのが定番でした。105歳でもお元気さは変わらず、120歳なんて軽いと思っていた矢先、2018年7月に足を骨折されたとの連絡を頂きました。当初、大原先生のことだからきっと回復されると疑っていませんでしたが、手術後はいつお見舞いに伺ってもたまに目を開けてくださるだけで、ほとんど眠ってばかりでした。自分に何かできることがあればと思いつつも、何も思いつかないまま時間が過ぎ、11月にご逝去のご連絡を頂きました。

大原先生は、私にとって怖い存在でしたが、同時にメチャクチャ優しい存在でした。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## われらが誇り大原一枝先生

四方 伸 明 (46回生)

大原一枝先生が亡くなられた。

一枝先生と私の接点は、長い長い一枝先生の脈絡の限られた断片であり、前後の歴史から辻褃の合わない記憶かもしれませんが、記録に残す意味でも綴っておきたい思います。

昭和47年、関西医大入学時、クラス担任の榎坂教授から「ただ一人

の本学出身の講座主任教授が退任されてしまったて……」との話があった。それが皮膚科の大原一枝名誉教授の事であったのだろう。

〈機転〉直接お目に掛かったのは、先生が同窓会会長の時、当時の制度で任命評議員内で行われた理事の互選選挙に際し「開票係は四方さんとMさん」と大原会長が大声で投票前におっしゃった。私達は最若年評議員で知名度も低く、大半の評議員が女子医専の先生方の中で理事に選ばれるはずもなかったのだが、先生の一声で有権者の選挙に刷り込まれ、理事を務める事になって、同じく当選したM先生と顔を見合わせた。

〈祝賀〉昭和58年、同窓会創立50周年の祝賀会がシンフォニーホールとプラザホテルで開かれた。1回生はじめ女子医専の先生方もまだまだお元気で、祝賀会での久々の再会を楽しみにされる中、関西医大以後の役員との間で企画の食い違いも有り、締め括りの宴での出し物が直前までプロの出演者が未定で盛り上がり懸念があったところ、加多乃会館で夜遅く、こちらが出したアイデアがバイオリンの辻 久子、先生の縁者でもあったフォークの高石ともや、我々の年齢から言っても逆ではないかという組み合わせでフィナーレを飾れた。宴も終わり、この時主会場正面に掲げられていた2×4mもあるうかという同窓会50周年というパネルが、片付けで打ち捨てられようとしているのを見て忍びなく、加多乃会館へ運ばせ会館売却まで3階ホールでのエンブレムとされたのが先生でありました。

〈被差別〉「四方さん私達差別を受けたの。女子医専の頃は、同じ助手でも男性の助手と給料が違うかったのよ」

「戦後滝井の傍で、鮫島さんと一緒に居た時、銭湯に行くと(痩せてしまつて)石鹸が両足の太腿の間からすると滑り落ちるの」

〈艶〉80歳を超えた松下幸之助に会った女性が「男としての色気を感じた」と語ったというのを読んだことがあるが、一枝先生におかれて



は、しぐさや語りに暖かな品のみならず女としての姿があったと思います。

〈才媛〉何処かのパスツール記念館で、Pasteurのスペルの間違いを指摘され、opportunistic infectionを日和見感染と初めて適訳されるなど、驚き誇りにも思えばかりです。

合掌

## ご入院の経過

廣原 淳子（48回生）

大原一枝名誉教授のご逝去を悼み、謹んでご入院の経過につきご報告させていただきます。

平成22年7月に関西医科大学香里病院が新たに開院し、同時に私も関西医科大学附属病院より異動となりました。

大原一枝先生は、永年に亘り高血圧などにつき浜田医院濱田博章先生<sup>⑳</sup>のもとでご加療をお受けになっておられました。枚方市光善寺のお住まいから香里病院近くの施設に居を移された関係もあり、体調をお崩しになりますと当院にご連絡を頂くようになりました。平成23年11月、平成24年1月、平成27年6月、平成29年8月と内科にご入院されましたが、山下敏夫理事長から「大原一枝先生は本学の宝ですから、心してお願ひします」とのお言葉を賜り、私はじめ各科の先生方・看護部一同を引き締め、その都度心を尽くして参ったつもりでございます。この間のご入院中もすでに白寿は超えられていましたが、お部屋で新聞やご本をお読みになり、新しい知識を求められるお姿を

拝見し、こうありがたいものと皆で感嘆したものでございました。

平成30年7月1日、リーガロイヤルホテル大阪で開催された関西医科大学創立90周年式典にもご出席され、そのお元気なお声とご健啖ぶりにご臨席された誰もが益々のご長寿を確信されたことであつたと思えます。

誠に残念ながら、すぐあとの平成30年7月9日に右大腿骨を骨折され、関西医科大学附属病院整形外科にて緊急手術をお受けになり、平成30年7月20日からは当院整形外科に転院されご療養を続けられました。ご療養中病院食はお口に合わなかったのでしょうか、平成30年8月24日ご退院後には、馴染みのお店から届けられた好物の鰻を3日間連続で召し上がられたと伺い、ご回復ぶりに安堵したものでした。

しかしながら骨折後の体力の低下は否めず感染症を併発され、平成30年10月25日より当院内科にご入院されました。治療により種々の所見は比較的安定されてはいましたが、少しずつ日中もお眠りになっている時間が多くなり、お食事もなかなか進まないようになられておりました。平成30年11月11日には、お見舞いに来ていただいた同窓会事務花井榮子様からのサンタクロースのお人形を大変お喜びになりましたが、何時になく長くその手をお離しになられなかったとのことでした。平成30年11月12日の午後、急にご容態がお変わりになり、直ちに当方ならびに多数の医師により救命処置を施しましたが叶わず、駆けつけていただいたご親族の西村公夫様、大原 孝名誉教授<sup>㉑</sup>、花井様に見守られながら、平成30年11月12日午後5時18分、104歳8ヶ月の天寿を全うされました。誠に安らかに綺麗なお顔でございました。

私は、直接ご薫陶を賜る機会はございませんでしたが、同窓会・加多乃会の理事としてお手伝いをさせていたたく事になりました。以来、折につけ本学を深く愛する先生のお心に触れる機会を得ました。先生

の最晩年にひとときではありましたが、お傍に居ることが出来まして大変光栄なことと思っております。至らぬ事も多々あったかとは存じますが、安らかなご最期を看取ることができましたのも、ひとえに本学同窓会、関連各科の諸先生方ならびに温かい看護にあたって下さった看護部の皆様方、親身にしていただいた同窓会事務職員の皆様、本学内外の方々の有形無形のお力添えの賜物と厚くお礼申し上げます。

大原一枝先生を偲び謹んでご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

## 大原一枝先生を偲んで

弓削 マリ子（40回生）

関西医科大学同窓会・加多乃会から平成30年12月3日付の封書が届きました。大原一枝名誉教授が去る11月12日に105歳でご逝去され、「おとづれ」150号が追悼号となる予定であると記されていました。思いもかけないご訃報に、ひしひしと寂しさが募ってまいりました。心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、先生から賜りました長年にわたるご厚情に深く感謝申し上げます。

大原先生は私達にとって偉大な大先輩であり、医師の卵に皮膚科学を初めて伝授くださった恩師でもありました。昭和46年のご退職の際に基金を同窓会に委託され、「大原賞」を設立して後輩を激励くださるとともに、昭和50年から平成元年まで同窓会会長として母校の発展に多大のご貢献をされました。卒業後、私は母校からすっかり離れてしまいましたが、昭和47年度卒業生として第1回大原賞の荣誉に浴さ

せていただきました感激と喜びは、古希を過ぎた今も活動の原動力になっていきます。あらためて、先生に賜りましたご厚志に心から厚くお礼申し上げますとともに、ご期待に十分応えることが出来ていないことを深くお詫び申し上げます。

平成23年8月に43回生の増田理恵氏から、大原先生が白寿をお迎えになるとの吉報をいただき、ずっとご長寿でいらっしゃるものと思いでおりましたので、本当に残念でなりません。でも、後輩と母校想いの大原先生ですので、天国からエールを送り続けてくださることと信じています。私達は、少しでもご恩に報いることが出来るように日々「くすしの道」に励むことをお誓い申し上げます。大原先生、どうか安らかにお眠りくださいませ。

## 大原一枝先生を偲んで

塚口 裕 康（56回生）

大原先生、謹んでご逝去を悼み、これまで私たちが本当に温かく見守り、ご指導頂けたことに、心よりお礼を申し上げます。

私にとって、大原先生は50歳以上離れた大先輩で、直接授業を受けたり、診療上のやりとりする機会はございませんでした。しかし、私が本学卒業生として医師に成長していくそれぞれの節目で、私たち後輩を暖かく励まし、ご指導を頂いたご恩は、忘れることはできません。私が最初に大原先生にお会いしたのは、卒業時の大原賞受賞式でした。滝井学舎の2階大講義室でさずかった記念品盾・腕時計は、いま

でも大切に保管しています。その後、私は本学で臨床研修し、学位を取得した後、平成6年から20年までの15年間を、米国留学（ポスドク）、国内留学（徳島大学）の学外で過ごし、この間はお会いする機会がございませんでした。

2回目の大原先生との再会は平成23年師走でした。光善寺のご自宅にお招き下さったのです。駅から歩いて2〜3分の素敵な一戸建てのお宅で、私と妻を暖かく出迎えてくださりました。部屋の中はたくさん美術品や絵画、写真で美しく飾られておりました。大原先生は、窓辺から明るい日差しが射し込む落ち着いた応接室で、茶とお菓子をごちそうしてください、本学が女子医専から出発して、様々な苦難を克服し現在の飛躍的な発展を遂げてきた経緯を、静かにゆつくりと、ときに力強くお話し下さいました。大原先生の温厚なお顔が、お言葉とともに、今、私の胸によみがえっております。

3回目は、平成24年2月に開催された大原先生の白寿のお祝いの会で再会の光栄にあずかりました。このときは車椅子のご出席でしたが、にこやかでお元気にお話しくださいました。現役を引退されてもなお100名以上の同門が集まり、盛大な会となったことは、ひとえに大原先生のお人柄、ご人望の厚さゆえと、皆で一層のご健康をお祈り致しました。

このように大原先生は、先輩方の不断の努力により培われた、慈しみ、めぐみ、そして愛を心の規範とする本学の建学精神を、熱く語り継ぎ、身をもってお教えくださいました。そして、このような半世紀という世代を超える同門交流を支えてくださった、花井様を始め同窓会の職員の皆様に、厚くお礼を申し上げます。

大原先生、在りし日のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。大原先生の訃報はいまだに信じられず悲しみにたえません。先生のご恩を糧とし、教えてくださったリーダーシップや「大切な心」を忘れることなく、次世代へと語り継いで参りたいと思います。

## 「大原賞」受賞者一覧（第1回〜48回）



弓削マリ子 <sup>40</sup>	大久保 進 <sup>41</sup>	畑埜典子 <sup>42</sup>
増田理恵 <sup>43</sup>	播岡徳也 <sup>44</sup>	關 壽人 <sup>45</sup>
石部 司 <sup>46</sup>	板垣 隆 <sup>47</sup>	梅本真三夫 <sup>48</sup>
村瀬登志彦 <sup>49</sup>	宮谷みち子 <sup>50</sup>	出口順子 <sup>51</sup>
高橋寛二 <sup>52</sup>	沖垣光彦 <sup>53</sup>	山本千尋 <sup>54</sup>
宮脇郁子 <sup>55</sup>	塚口裕康 <sup>56</sup>	辻 博子 <sup>57</sup>
近藤照敏 <sup>58</sup>	山田明里 <sup>59</sup>	伊藤量基 <sup>60</sup>
京本良一 <sup>61</sup>	宮坂陽子 <sup>62</sup>	内山葉子 <sup>63</sup>
石田哲士 <sup>64</sup>	先花仁志 <sup>65</sup>	皆川幸子 <sup>66</sup>
高島美央 <sup>67</sup>	平田 一朗 <sup>68</sup>	小池直子 <sup>69</sup>
中西律子 <sup>70</sup>	梅垣岳志 <sup>71</sup>	山本奈恵 <sup>72</sup>
江坂和夫 <sup>73</sup>	鈴木 歩 <sup>74</sup>	香西雅介 <sup>75</sup>
中村朋子 <sup>76</sup>	岩田 恵 <sup>79</sup>	前田敦史 <sup>80</sup>
南 翔太 <sup>83</sup>	南 博也 <sup>84</sup>	坂本悠篤 <sup>85</sup>
		西尾 海 <sup>86</sup>
		中井智也 <sup>87</sup>
		徳永幸史 <sup>76</sup>
		奈佐悠太郎 <sup>81</sup>
		岩田朋子 <sup>82</sup>
		藪内智朗 <sup>77</sup>

## 「大原賞」と文集「枝の雪」について

増 田 理 恵（43回生）

大原一枝先生は、後輩である本学の学生をいつも暖かい目で見守ってくださいます。本学皮膚科教授をご退任の際、毎年度の学業最優秀卒業者に対し、記念品を贈るための基金を同窓会に委託されました。昭和47年の40回生卒業時から毎年、賞状、盾、記念品の時計が



授与されています。受賞者にとりまして大変な名誉であり、その後の勉学の大きな励みとなった事と存じます。

平成24年は、大原先生が白寿をお迎えになる記念すべき年にあたり、それまでの受賞者から大原先生への感謝の気持ちと近況のご報告をお手紙の形でお伝えすることになりました、それらのお手紙と大原先生のお言葉を掲載した文集「枝の雪」を発刊いたしました。「枝の雪」は中国の故事に由来する言葉で、「学問にいそむこと」と広辞苑に記されています。「一生勉強ですよ」と大原先生が無言のうちに語られている気がいたします。



お手紙に目を通される先生

## 偲び草

### 吉松（安藤）昌子さんのこと

前田慶子（17回生）

「母 吉松昌子は12月11日に急逝いたしました」とのハガキを山とたまった郵便物の中から見つけたのは暮れも押しつまった日、何回読み返しても間違はなく悲しい知らせ。

エエツとしか、そしてつづく???

丁度その時期、主人が腰椎骨折にて入院したのが12月3日、散々大騒ぎで退院したのが12月20日、その間のことだった。

知らなかった。知らなかった。最期のお別れが間に合わなかった。

私が関西医大に通学していたのは近鉄奈良線の石切駅、昌子さんは一つ奈良寄りの生駒駅、本当に通学仲間。そして、卒業間近にはアルバイトと称して保健所をのぞいたり、社研と称した当時の学生運動のマネ事に顔を出したり、ポスターを書いてみたり、楽しくつつましい学生時代の思い出もはるかかなたに。

インターン時代には私は大阪日赤にお世話になり、その日赤の外科部長であった吉松先生の許嫁が何と昌子さん、浅からぬ因縁を感じた。それ以来、吉松ご夫妻と主人を含めての4人の交流が約60年余り。

夏の甲子園浜でヨットを楽しんだのは昭和27年頃の夏。又、上高地の大正池のほとりでバツタリご夫妻とめぐり会い、お互いに写真のとりっこをしたのは昭和40年代か。日赤副院長をご主人が退職されてからは、ご主人の入院について来られ、よく日赤病院でお目にかかる機

### お手紙を下された皆様へ

皆様、各々信する所に従って我が道と歩んでいらつしやるらしく、私としても嬉しく存じました。私の存念はともかく、大原賞に封して、それぞれお快く、敬意とご理解いただけたような気が致します。

唯一つ、大久保先生がこの世にあらせられないことが残念に存じました。

私の存念中に、いつか皆様にお目にかかることが下さるならば、こんな嬉しいこととはありません。皆様の大原賞に対するお考えがたとえ千差万別であろうとも、

平成23年秋

大原一枝

会があった。私の主人が脳内出血で倒れたときには、いち早く見舞いに来ていただいたことも、昌子さんの心の優しさを感じる思い出の一場面である。

ここ5年くらい前から年に1回、ホテルニューオータニでクラス会を開いているが、何時もご出席いただき、その度に交わす言葉は「思いがけなくよくぞここまで長生きをしたわね。寿命があれば来年もまたお目にかかりましょう」そして再会を約して別れ、昨年4月もそうして別れた。その後、所用で私のクリニックで数回お目にかかつてはいたものの、今年の年賀状を投函直前にこのようなご連絡を受け取るとは、残念無念この上ない。昌子さんほど美貌と英才とを兼ね備えた人を、私の友達として持つことが自慢だったのに。私が唯一貴方を超えることができたのは寿命のみだった。唯々くやくしく悲しく、そして淋しい。

合掌

## 蘆田正毅君への思い

佐伯勝洋(34回生)

10月15日、僕は丹波黒豆を求めて、兵庫の丹波市春日をドライブしていました。春日は徳川三代將軍家光の乳母、春日局の出生地として知られています。でも僕にとっては、君の故郷と覚えていたので、どうしているのかなと思いつながら走っていたものでした。

君の訃報を知ったのは、その3日後でした。9月の宮崎での同窓会をドタキャンされたことにもう少し何故かと突っ込んでいたら、ドラ

イブ中に訪ねていたのでと悔やまれます。

思えば君は、学生時代からスマートでした。少しクールで、それでいて時にやさしかった。クラブでは、僕が軟式テニスで君はバドミントンと別でしたが、クラスメイトの大嶋君の小技に対し、君の長身からの力強いスマッシュに惹かれたものでした。私生活でも、クラスのアイドルの一人であった愛称「ダッコちゃん」こと現夫人の容子さんと結婚され夫婦で開業、跡取りにも恵まれ、一種の理想でした。でも好事魔多しか、夫婦での北海道旅行中に病気され、以後大変でしたね。2年前から、春日の実家より賀状をいただくことになり、心配していました。色々としんどかったでしょうね。今はゆっくりお眠りください。

ある物語では、天国への虹の袂にはきれいな広場があり、この世に思いを残したり、気になったりする人は、そこで日々暮らすそうです。そこでは痛みも苦しみもないらしい。穏やかな日々を過ごしてください。君と同じバドミントン部の横谷君含め、この2年で僕は2人の親友を失いました。今、又君と別れます。いつの日か、彼の地で再会したら、一緒に虹の橋を渡りましょう。

君と出会ってより半世紀余、永らく有り難うございました。お疲れ様、おやすみなさい。

## ご遺族様より

故車 富士子氏（12回生）ご遺族 深川淑子氏より

先日は母 車 富士子の他界にあたり、御供をお送り頂き誠にありがとうございました。また、長年に渡り色々とお世話になりました事、心より感謝いたします。

故玉本 信子氏（16回生）ご遺族 波戸佳子氏より

亡母 玉本信子死去に際しましては、ご丁寧なるご弔慰とご厚志を賜り誠にありがとうございました。無事49日の法要を終えることができましたことをご報告致しますと共に、貴校のなお一層のご発展を母と共に祈り申し上げます。

故吉松 昌子氏（17回生）ご遺族 加賀典雄氏（39回生）より

過日、義母 吉松昌子 の葬儀に際し、同窓会・加多乃会からご丁寧なご厚志を賜り、誠にありがとうございました。

90歳を超え、食欲、活動力、社交性にも衰えを見せなかった母が、11月26日の朝、軍医であった父親の戦死後の母子家庭で、清貧を共にした最愛の妹がARDSで緊急入院したとの報を受けました。その見舞いの準備の際に、気が動転していたのか家具の角で胸を強打し、胸痛が軽快しないため見舞い先の病院を受診し、急性大動脈解離の診断を受け、緊急入院となりました。

緊急手術の必要性を説かれたにもかかわらず、その病状の規模と高齢であることを理由に、外科的療法を固辞しました。しかも日頃からリビング・ウィルを記し、日々更新しながら携帯していましたので、

その意志の強さを尊重し、家族の皆が母親の意見に同意せざるを得ませんでした。

ほぼ1週間の集中治療室での治療後、一般病棟に移り、見舞いの方々の前で歩行器を使いながらも病院廊下を歩き、年末には家に戻ると言っていました。

病魔は一般病棟に移った2日目（12月11日）に突如として襲いました。最初は軽度の胸痛を訴え、本人もその異常さに気づいてか、オピオイドの投与を要求しました。しかし、主治医は便秘を誘発し腹圧のかることを恐れ、様子を見ることにしました。一旦眠りに入りましたが、約2時間後の午後10時半頃に、耐え難い胸痛に襲われ、女房（長女）に看取られながら黄泉の国に旅立ちました。

短期間の患いであったため、ふくよかで、かすかに微笑みを浮かべた寝姿は、生来の潔さと独自の一貫した美学にあったように思えてなりません。唯々、無念さが残ります。

娘が関西医大に合格し、母を囲んで撮った写真を「関西医大3代」として、書齋に飾ってくれていました。また、ここ数年は17回生クラス会にも参加するようになり、その半年前から、何を着ていこうかと楽しい悩みを、女房と相談していたことが想い出されます。

故人の遺志により家族葬にしましたため、ご厚情を賜りました皆様には大変失礼いたしました。ご容赦くださいませ。

皆様方には何かとお世話になり、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



# 投稿規定

- 1、原則として同窓会の原稿は縦書とし、加多乃会の原稿は横書とします。
- 2、文章は出来るだけ平易に、口語文の新かなづかい、常用漢字を用いてください。
- 3、敬称の「兄」「姉」は使用しないでください。  
氏・様・さん・君等を使用。「先生」は恩師や大先輩の時のみとします。
- 4、数字は算用数字とします。  
例 \* 年齢 45歳等  
\* 回生 22回生等（列挙の場合は②とします）  
\* 日時 平成29年9月20日午後3時30分等  
\* 金額 9兆8千億7650万4320円  
\* 各種単位 20% 200キロ 20・4ミリ  
40・0度 マグニチュード2・9
- 5、執筆分量は、大体左記の目安でお願いします。  
会員寄稿……………2800文字以内  
クラス会・支部だより……………2000文字以内  
各賞受賞者報告……………400文字以内  
加多乃会講演会等……………1200文字以内  
加多乃会勉強会……………2000文字以内  
偲び草・総会・新年会・懇談会等……………1200文字以内  
なお、規定文字数超過分の原稿については、印刷代を自己負担とします。別冊ご希望の場合も自己負担とします。
- 6、原稿締切日（6月15日・12月15日）は厳守してください。
- 7、投稿の採否は編集委員会で決定します。
- 8、全巻を通じての編集的配慮、たとえば活字の選択・配置・さし絵の配置をとまなう紙面構成（レイアウト）などについては、編集部において行います。  
なお、学術記事に限り初校のみ著者校正とします。

## 編集後記（同窓会のページ）

今年天皇陛下が4月末退位され、5月1日に改元があります。この記念すべき年に「おとづれ」も変わります。「おとづれ」は5回生が卒業した昭和12年（1937年）9月に創刊されました。第4号（昭和14年1月発行）から、A5版になり80年が経ちました。小さくて利便性があるとの意見もありますが、この第150号より、一機にA4版（A5の倍）に変えました。字も大きくし、写真も大きくなるので、人の顔なども見やすくなり、懐かしさが増します。

またこの第150号に、関西医科大学90周年記念事業の集大成となった大学の記録集も同封されておりますので、ご参照賜れば幸いです。「会長音信」で、秋田会長は、昨年の災害に被災された会員にお見舞いを述べられ、大学・同窓会の現状を報告されております。

次に「おとづれ」第150号の発行にあたって、山下敏夫理事長・友田幸一学長の祝辞をいただき、内藤博江氏（22回生）からは「おとづれ」誌名由来、編集秘話の寄稿がありました。

「就任挨拶」では、甲田勝康（57回生）衛生・公衆衛生学研究教授、海堀昌樹（59回生）外科学診療教授、里井壯平（59回生）外科学診療教授、山本大悟外科学診療教授、清水拓也医化学教授、堀井恵美子理事長特命教授の前向きな、力強い挨拶が述べられております。

「会員寄稿」では、南 克昌氏（38回生）は「私立医科大学あれこれ」で、28年前より、輪番制で全国29校の私立大学医学部・医科大学同窓会の年2回の連絡会があり、そこでのいろいろな同窓会組織・活動など情報交換は、同窓会活動にとって意義深いものがあると述べておられます。

「ニュースあれこれ」では、世話人 南 克昌氏（38回生）より、第6回オール関西医大ゴルフ会報告を、優勝者の戸倉敬雄氏（49回

生）は「優勝発表で自分の名前が呼ばれびっくりした」と述べられておられます。ベスグロ賞の雨堤賢一氏（54回生）の喜びのコメントもあります。

島岡昌幸氏（38回生）・木下 洋氏（42回生）からは「混声合唱団コールクライス第37回定期演奏会」、小牟田 清氏（49回生）からは「甲子園OB戦と野球部懇親会」の報告があり、三谷武生氏（48回生）からは、本年1月20日（日）帝国ホテル大阪で開催された「平成31年関西医科大学同窓会新年会」の賑やかで楽しい様子が報告されております。

「支部だより」では九州から静岡まで多くの会合報告がありました。また、32・34・51・54回生の「クラス便り」もありました。

「会務報告」・「学内ニュース」・「俳壇」も、お目通し下さい。「計報並びに偲び草」、残念です。お悔み申し上げます。

最後になりましたが、今号は昨年11月12日、105歳で大往生された、関西医科大学名誉教授・関西医科大学同窓会名誉会長 大原一枝先生の追悼号でもあります。偉大な先生のご遺徳を偲び、先生のご冥福をお祈り申し上げます。（K・M）

平成31年3月3日発行

〒573-1010 枚方市新町2-5-1 関西医科大学13F

関西医科大学同窓会

TEL 072(804)2171

E-mail: dousouka@hirakata.kmu.ac.jp

編集顧問 鮫島美子 水野孝子 秋田光彦

編集委員 南 克昌 大原 孝 柄川武子 西嶋攝子

北尻雅則 廣原淳子 大内雅文 高屋淳二

宮崎浩彰

印刷所 神戸市中央区琴ノ緒町1-2-234

（株）ミックプリント TEL 078(251)7201

## 同窓生の附属病院受診について

### <関西医科大学附属病院受診サービス利用法>

本サービスを利用して関西医大附属病院・総合医療センター・香里病院・天満橋総合クリニックを受診希望の同窓生は、最初に同窓会事務局へご一報ください。（TEL 072-804-2171）FAX診療申込書をお送りいたします。

各病院の地域医療連携部と協力し、同窓会会員の受診として対応を行いません。

### <同窓生入院時の室料負担軽減サービスについて>

日ごろの同窓生の大学への協力などに鑑み、同窓生が附属病院・総合医療センター・香里病院に入院された際の一部室料の負担の軽減が大学の配慮で実施されております。

なお、このサービスを受けるためには、所定の用紙（受診願）を提出する必要がありますので、入院時自らが同窓生である旨、病院スタッフにお伝え下さい。

関西医科大学同窓会事務局

TEL 072-804-2171

FAX 072-804-2177

E-mail dousouka@hirakata.kmu.ac.jp





## 目 次 おとづれ 第150号 (加多乃会のページ)

加多乃会だより .....	四 方 伸 明 .....	1
会務報告 (理事会議事録 平成30年7月~12月) .....		2
加多乃会「勉強会」 .....		4
脊椎外科手術における最近の進歩 - 高齢化社会を迎えての手術低侵襲化の潮流 - .....	齋 藤 貴 徳 .....	5
大動脈瘤・大動脈解離から命を守る .....	善 甫 宣 哉 .....	6
院内感染はあなたの手から広がる - WHO式擦式アルコールによる手指衛生 .....	村 尾 浩 平 .....	8
講 演 会 .....		11
わかりやすい肝炎の最新治療 .....	吉 田 勝 紀 .....	12
早期胃がんについての最近の話題 .....	森 茂 生 .....	13
加多乃会基金報告 .....		14
編集後記 .....		16
編集部から		
乾燥青汁「ピロサン」の頒布 .....		10
「加多乃会基金」にご協力を .....		14
医療施設の継承広告 .....		14
枚方学舎案内図 .....		16

---

---

# 加多乃会だより

---

---

一般財団法人加多乃会 副会長 四方 伸 明 (46回生)

平成31年を迎えましたが、5月からは新しい元号の御世が明けます。

我々が知る昭和から平成への改元のときは、昭和天皇の喪に服する印象が強く新しい御世平成の祝賀とは行かなかった様に思います。明治天皇から大正天皇、大正天皇から昭和天皇への時もそうであったのでしょうか。その大正から昭和の移り変わりを知っておられた同窓会名誉会長大原一枝先生が、平成30年11月105歳で天寿を全うされました。加多乃会に対しては、川那部喜美子会長①、岡崎國恵会長⑦、鮫島美子会長⑬、水野孝子会長⑳と一貫して、同窓生の重鎮として歴代加多乃会の会長を支えて頂きました。

そもそも同窓生の浄財を基盤とする財団として母校を支える原型は、川那部先生、大原先生が世界で見聞された海外の有力私立医科大学と卒業生や社会との強く太い関係をモデルとされたものでした。

関西医科大学枚方キャンパスでは、入学式、卒業式、大学祭はじめ学会学術集会和大きなイベントが加多乃講堂で催され、自ずから加多乃の名が目や耳に入ってくる。昨年は牧野キャンパスに武道館としての機能を有する牧野講堂が落成しました。いずれも、同窓生、同窓会、加多乃会の寄付による後輩のための顕彰命名された施設です。ご承知の様に加多乃講堂は体育館としても多目的に使用できます。

さて、筆者が顧問を務めていたクラブでは、1回生男性3名の内2人が4浪、1人が社会人経験のある28歳です。これをみても、また噂で関西医大は多浪生が入り易いと囁かれているらしく、これは即ち母校は一切の入試差別の無い証左。しかしながら、彼らには長い受験生生活でなまった体を鍛え直して精神も涵養し、来るべき医師としての活躍に備えて貰わねばならず、これらの寄贈施設の大きいなる活用を望む次第です。

その体育会クラブの成果を競う医学生の体育の祭典といえば西日本医学生体育大会ですが、その総主管校の役割が40余年振りに関西医大にめぐってきており、今まさにその準備の大役を果たしている後輩のため、加多乃会基金を通じての支援を募りました所、現在まで多数の同窓生からご支援を頂いております。厚くお礼申し上げます。

本年、本会の行事として2年任期の理事、会長の改選が行われます。本会には以前より、後輩や社会に役立つ学術への助成にと使用目的が指定された奨学基金を頂き、大いに後輩の研究邁進に寄与しておりますが、最近是一般財団として自由度の高い寄金も寄せられ法人として活動し易くなっております。その有効有益な運用に6月から2年間当たるのが平成の次の御世の新役員です。

冒頭に記しました昭和から平成への移行とは異なって、今上陛下のご意向での譲位であり、平成からの改元は明るく開けた気持ちでのバトンタッチとなりましょう。

# 一般財団法人加多乃会会務報告

(平成30年7月～12月)

平成30年7月定例理事会は大雨警報発令のため中止

## 平成30年9月定例理事会

日 時 平成30年9月1日（土）午後3時50分

場 所 枚方学舎13階 同窓会・加多乃会会議室

出席者 理事11名（理事総数16名）・監事3名

水野会長 大原 鶴田 四方各副会長 秋田 南 西嶋各業務執行理事

杉岡 立岩 大内 宮崎各理事 谷野 北尻 伊東各監事（欠席者5名）

報 告

1. 庶務 物故者 13名
2. 会計 H30年6・7月度会計
3. 第28回大学理事と同窓会・加多乃会理事との懇談会
4. 学校法人関西医科大学理事会
5. 西日本豪雨お見舞い状送付（同窓会・加多乃会連名） H30.7.11付  
広島、岡山、山口、愛媛、高知、大阪支部ブロック長 計328名

議 事

1. 募金キャンペーンの件
2. 新入会員歓迎行事準備の件
3. 産業医研修会の件
4. その他 (1) 岡村邦子氏（20回生）から美術品寄贈追加  
(2) 11月理事会開催予定日の件  
(3) 藤森民子氏（13回生）からの寄付の件

## 平成30年10月定例理事会

日 時 平成30年10月6日（土）午後3時35分

場 所 枚方学舎13階 同窓会・加多乃会会議室

出席者 理事12名（理事総数16名）・監事3名

水野会長 大原 鶴田 四方各副会長 秋田 南 西嶋各業務執行理事

杉岡 立岩 木村 廣原 大内 各理事 谷野 北尻 伊東各監事（欠席者4名）

報 告

1. 庶務 物故者 6名
2. 会計 H30年8月度会計
3. 事業 (1) 「講演会」平成30年度（第1回・通算305回）実施  
(2) 加多乃会「勉強会」平成30年度（第3回・通算204回）開催
4. 広報「おとづれ」149号
5. 創立90周年記念事業企画作業部会（実行委員会）
6. 学校法人関西医科大学理事会
7. 台風21号・北海道胆振東部地震お見舞い状送付（同窓会・加多乃会連名） H30.9.11付



(1) 台風21号 4,245名

(2) 北海道胆振東部地震 12名

## 議 事

1. 平成31年新年会準備の件
2. 理事選出の件
3. 平成31年度評議員会開催準備の件
4. 募金キャンペーンの件
5. 関西医科大学「櫻根啓子賞」の件
6. 全国規模学術総会主催への援助の件
7. 「おとづれ」150号の件
8. 平成31年度「勉強会」準備の件
9. その他 平成30年11月理事会は開催なし

## 平成30年12月定例理事会

日 時 平成30年12月2日（土）午後3時40分

場 所 枚方学舎13階 同窓会・加多乃会会議室

出席者 理事12名（理事総数16名）・監事2名

水野会長 大原 鶴田 四方各副会長 秋田 西嶋両業務執行理事

水野会長 大原 四方両副会長 秋田 南 西嶋各業務執行理事

杉岡 柄川 立岩 木村 廣原 大内 各理事 谷野 伊東両監事 （欠席者5名）

## 報 告

1. 庶務 物故者 15名
2. 会計 (1) H30.9・10月度一般会計  
(2) 国試対策協議会より平成30年度協力金依頼  
(3) ALSO（Advanced Life Support in Obstetrics）プロバイダーコース支援金依頼
3. 募金キャンペーンの件
4. 事業 (1) 加多乃会「勉強会」平成30年度（第4回・通算205回）開催  
(2) 「講演会」平成30年度（第2回・通算306回）実施
5. 第29回全国私立医科大学同窓会連絡会全国会
6. 学校法人関西医科大学理事会・評議員会

## 議 事

1. 平成31年 新年会準備の件
2. 平成31年度 各賞審査員選出の件
3. 平成31年度「勉強会」準備の件
4. 学会開催支援金交付規程の件
5. 「おとづれ」150号の件
6. 「大原一枝先生を偲ぶ会」の件
7. 故小田豊子氏（10回生）のご長女小田眞理子氏よりの遺贈の件
8. その他 (1) 平成31年1月定例理事会開催予定日の件  
(2) 職員賞与の件

# 加多乃会「勉強会」

平成30年度加多乃会「勉強会」も、皆様のご協力により好評の内に進められています。この機会にお誘い合わせの上、多数ご来聴くださいますようお願い申し上げます。

毎回配布しておりますテキストをご希望される方は「勉強会」係迄お申し込みください。1講座1,000円（送料込み）にて郵送させていただきます。

平成31年度加多乃会「勉強会」日時と内容（第3木曜日 午後2時～4時）

於 同窓会・加多乃会 会議室

回	開催日	演 題	講師（敬称略）
207	2019年 4月18日	小児外科疾患に対する最先端低侵襲外科の挑戦	関西医科大学 外科学講座 小児外科診療教授 土井 崇
208	6月20日	生活習慣病としての難治性気管支喘息	関西医科大学 内科学第一講座 診療教授 石浦 嘉久
209	9月19日	心房細動に対する最新の治療	関西医科大学 内科学第二講座 診療教授 高木 雅彦
210	11月21日	臨床判断に必要な、 人を対象とした研究論文の批判的吟味	関西医科大学 衛生・公衆衛生学講座 研究教授 甲田 勝康 ⑤⑦
211	2020年 2月20日	小児麻酔の小部屋	関西医科大学 麻酔科学講座 小児麻酔担当診療教授 大井 由美子

平成30年度「勉強会」は、下記の実績をご参照ください。平成31年度も多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

回	開催日	演 題	出席及び テキスト頒布
202	平成30年4月19日	小児の食物アレルギー	32
203	6月21日	脊椎外科手術における最近の進歩 －高齢化社会を迎えての手術低侵襲化の潮流－	28
204	9月20日	大動脈瘤・大動脈解離から命を守る	24
205	11月15日	院内感染はあなたの手から広がる －WHO式擦式アルコールによる手指衛生－	26
206	平成31年2月21日	胆膵疾患内視鏡診断治療の最前線	22

## 脊椎外科手術における最近の進歩 － 高齢化社会を迎えての手術低侵襲化の潮流－

関西医科大学 整形外科学講座 教授 齋藤 貴徳（51回生）



この度は同窓会の勉強会で講演する機会を与えていただき光栄に思います。私は昭和58年関西医科大学卒の同窓生です。2017年4月より整形外科の主任教授を拝命しております。現在、一層教室を発展させるべく、教室員と一丸となって頑張っているところです。今後の関西医科大学整形外科学講座の躍進にご期待いただければと思います。特に現在の取り組みの一つとして、我々は病院職員や同窓会の皆様に信頼し、安心してかかっただけの整形外科を目指しております。同窓会の皆様におかれましても気軽に相談いただければと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

今回の講演では、近年急速に進歩している脊椎手術の小侵襲化の話をしていただきました。当教室は日本でも有数の小侵襲手術を推進している施設として認知されており、毎週のように他大学から手術見学者が来院しております。

我が国は高齢化社会を迎え、従来では考えられなかった手術適応が生じるようになってきました。従来、お年寄りの腰曲がり、すなわち後弯変形は、年寄り病として認識され、誰もが抱える老化の過程であり、これによる歩行障害は高齢者の自然なADL障害として受け入れられてきました。しかし最近では、高齢者の体力年齢が従来比で10歳ほど下がってきている印象があり、現在の80歳は20年前の70歳程度の体力を有していると考えられています。このため、お年寄りの腰曲がりである成人脊柱変形を有する高齢者でも、杖なしでデパートに行くことや、旅行に行くなどの希望があり、変形矯正を希望される患者が増加してきています。

このような背景のもと、成人脊柱変形矯正術が飛躍的に増加してきておりますが、従来の後方からのPLIFや骨切りを併用した後方のみのアプローチでは、平均でも2000mlを越えるなど出血量が多く、合併症を有する高齢者には侵襲度が高すぎる嫌いがありました。しかし近年、XLIF（Extrem Lateral Interbody Fusion）の導入により、前方から椎間板の解離と10°前方開大が得られるcageの挿入が、L5/S椎間を除く全腰椎椎間に少量の出血で小侵襲に挿入可能となってまいりました。このXLIFを用いることにより成人脊柱変形矯正の小侵襲化が可能となりましたが、さらなる小侵襲化を目指すためには、後方をPPS（Percutaneous Pedicle Screw：経皮的椎弓根スクリュー）で施行することが必要でありました。しかし、PPSを用いるとPonte骨切やcantilever techniqueが使用できず、自ずと前弯形成に限界が生じるようになります。

このため我々は、2年前から手術法に工夫を加え、PPSを用いても十分な前弯形成が得られる手術法を開発してきました。今回は、我々が施行してきたXLIFとPPSを用いた成人脊柱変形矯正術における術式の詳細と、これにより得られた結果を、術前・術後のリハビリテーションを含めて報告いたしました。

当科ではこれまで、XLIF施行後の腹臥位側面像で計測したLLが、術前のPIと比較し、その差が



- 1) 10° 以下の場合、後方は両側PPS法を
- 2) 10° から20° の場合、片側PPS法を
- 3) 20° 以上の場合、両側openで矯正固定を行ってきました。

しかし、最近の工夫でPPSでもcantilever techniqueが使用可能となり、両側PPSを用いる限界を10° から20° へ、また20° から30° へ変更可能となってきたのです。現在では、30° まで後方をPPSを用いて矯正しています。また、成人脊柱変形矯正術対象患者では、術前・術後に歩行解析を実施しており、この歩行動作解析による新たな手術適応の設定も検討中であります。

今回は、現在我々が行っている成人脊柱変形矯正術の実際と術後成績、および術前後の動作解析の結果を解説しましたが、今後もさらなる小侵襲化をめざして、手術手技の工夫や歩行解析による新たな手術目標の設定などの研究をすすめて、関西医科大学整形外科で手術を受けられる患者様が、より痛みが少なく、短期間の入院で済み、楽に手術を受けられるよう検討を進めていきたいと考えています。もし、同窓会の皆様の中で脊椎（首や腰）のご病気をお持ちで悩んでいる方がおられましたら、是非一度関西医科大学附属病院整形外科の外来までお越しいただければと思います。今後とも関西医科大学の整形外科を宜しくお願い申し上げます。

講演要旨（第204回）（H30.9.20）

## 大動脈瘤・大動脈解離から命を守る

関西医科大学 心臓血管外科学講座 血管外科診療教授 善 甫 宣 哉



### 1. はじめに

大動脈瘤・大動脈解離は平成28年日本人の死亡原因の第9位となり、飛躍的に増加している疾患です。2015年日本胸部外科学会のアニュアルレポートでは胸部大動脈瘤・大動脈解離に対する手術が約20,000件と、10年前に比べて倍増しています。また、腹部大動脈瘤の手術件数も約20,000件で、10年前に比べて約5,000件増えています。

大動脈瘤の病因は、本邦では一般に動脈硬化性疾患といわれていますが、米国では炎症性疾患といわれており、大動脈壁外膜の炎症性細胞浸潤によりマトリックス・メタロプロテアーゼ（MMP）が増加し、膠原繊維や弾性繊維、平滑筋細胞の変性・破壊により大動脈壁が脆弱となり、部分的にこぶのように拡張する病気です。危険因子は遺伝、脂質異常症、喫煙が関与しています。一方、大動脈解離の病因は内膜外側1/3で弾性繊維が断裂し、大動脈が引き裂かれる病気です。危険因子は遺伝、脂質異常症、喫煙、高血圧、睡眠時無呼吸症候群が挙げられます。最近の報告では、現在喫煙者は非喫煙者に比べて4倍以上大動脈瘤・大動脈解離で死亡するリスクが高くなるのみならず、受動喫煙者でも2.35倍死亡するリスクが高まると報告されています。

## 2. 腹部大動脈瘤

腹部大動脈瘤の症状は破裂するまで無症状です。破裂すると激しい腹痛・腰痛をきたします。腹部大動脈瘤を念頭において、腹部拍動性腫瘤の有無を触診することが非常に重要です。エコー検査、CTA検査で正確な大動脈径を診断します。内科的治療はなく、手術適応は破裂例ではもちろんですが、紡錘形では径50mm以上が、嚢状（片方に突出する）では突出部分20mm以上が手術適応となります。従来手術は開腹人工血管置換術でしたが、2006年11月より企業製造腹部ステントグラフトが承認、保険適応となり、現在60～95%の症例で腹部ステントグラフト治療（EVAR）が行われています。

EVARは、一側または両側鼠径部の3～4cmの皮膚切開で大腿動脈を露出し、径6～8mm程度のカテーテルでバネ付き人工血管を動脈瘤の中枢側正常大動脈より末梢側正常総腸骨動脈まで留置する方法です。本邦での開腹手術とEVARの手術死亡率はそれぞれ1.0%と0.6%と後者で有意に良好で、4年動脈瘤関連死亡率も有意に低くなっています。しかし、EVAR特有の術後合併症としてエンドリークが発生する患者さんがおられます。エンドリークは動脈瘤の中側かつステントグラフトの外側に血流が残存する合併症で、中枢側、末梢側のシール部分のタイプⅠエンドリークは1～2%、下腸間膜動脈や腰動脈より瘤内へ逆流する血流がみられるタイプⅡエンドリークが10%程度みられます。エンドリークがみられる症例のうち遠隔期に動脈瘤径が拡大し、破裂に至る症例が少数例ありますので、外来で定期的なCTA検査が重要となります。

最近では破裂性腹部大動脈瘤でもEVARが積極的に行われるようになり、手術死亡率は開腹手術と変わらず15～20%ですが、自宅退院率が高いと報告されています。

## 3. 胸部大動脈瘤

胸部大動脈瘤の症状は破裂するまで無症状のことが多いですが、好発部位である遠位弓部大動脈瘤では瘤が大きくなると左反回神経を麻痺させ嗄声が発生することがあります。診断は胸部X線写真で左第1弓の拡張や左第4弓と重なって下行大動脈瘤がみられることもあります。心エコー検査、CTA検査で診断します。手術適応は破裂例ではもちろんのこと、紡錘形では径60mm以上、嚢状では突出部分20～25mmが手術適応です。従来手術は開胸下人工血管置換術で人工心肺が必要となり、術後に脳梗塞、脊髄虚血、呼吸不全の合併症が見られます。最近、手術死亡率が比較的良くなってきましたが、依然3.5%から10%の危険性があります。2008年1月より企業製造胸部ステントグラフトが承認、保険収載され、現在、50～60%の症例で胸部ステントグラフト治療（TEVAR）が行われています。

TEVARは一側大腿動脈より7～9mm程度のカテーテルでバネ付き人工血管を動脈瘤の中枢側正常大動脈より末梢側大動脈まで留置します。下行大動脈瘤では問題ありませんが、遠位弓部大動脈瘤の場合に一番問題となるのは中枢側正常大動脈長が20mm以上ないことです。この場合、上行大動脈または右鎖骨下（腋窩）動脈より左総頸動脈、左鎖骨下（腋窩）動脈に人工血管でバイパス術（debranch）を行う必要がありますが、脳梗塞の発生が問題となります。そこで、10年前より腋窩動脈と左総頸動脈より小径のステントグラフトを上行大動脈または弓部大動脈まで挿入留置し、TEVARを行う方法（Chimney法）を開発し、現在まで50例で一例も脳梗塞の発生が見られておりません。左総頸動脈チムニー法ではエンドリークが発生せず、遠隔期の動脈瘤縮小がみられ、非常に良好な成績が得られています。

## 4. B型大動脈解離

大動脈解離の症状は胸痛、背部痛、腹痛、異常高血圧です。大動脈解離が弓部から上行大動脈に及ぶA型大動脈解離では意識障害、心不全（大動脈弁逆流）、心タンポナーデが起こり、緊急手術が必要となり

ます。一方、解離が下行から腹部大動脈、腸骨動脈に及ぶB型大動脈解離では、従来、降圧と鎮痛の内科的治療が主体でした。2014年11月に急性B型大動脈解離のcomplicated case（破裂、腹部内臓・下肢循環障害）に企業製造胸部ステントグラフトが承認・保険収載されました。従来の開胸手術の成績が不良（死亡率20%）なため現在90%以上の症例でTEVARによるエントリー閉鎖術が行われており、手術死亡率も5%と良好です。一方、慢性B型大動脈解離は内科的治療のみでは遠隔期に死亡する症例が20%程度見られ、比較的早期にTEVARを行うと遠隔期生命予後が良好となる報告が欧米より出されました。最近の10年間に54例の慢性B型大動脈解離にTEVARを行い、発症より4ヶ月以内にTEVARを行なった症例では91%で胸部偽腔の血栓化と縮小（リモデリング）がみられることを報告してきました。発症後6ヶ月以降のTEVARではリモデリング率が50%と低くなり、逆に胸部偽腔が拡大する症例もあるため、TEVARに加えてリエントリーの閉鎖を積極的に行い成績向上に努めております。

## 5. さいごに

2018年はTEVARおよびEVAR、開腹人工血管置換術を合わせて100例の大動脈疾患を治療して参りました。7月には待望のハイブリッド手術室が完成し、10月より血管外科医が2人体制となりました。2~3年後までに150例のTEVAR、EVARを目指して診療を行なっております。加多乃会の会員の皆様のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

講演要旨（第205回）（H30.11.15）

## 院内感染はあなたの手から広がる －WHO式擦式アルコールによる手指衛生－

関西医科大学 麻酔科学講座 診療教授 村尾浩平（55回生）



1850~1900年の間に微生物の発見、麻酔法、止血法が開発され、この期間は近代外科学の夜明けと呼ばれる。滅菌法は医療従事者にとって当然なものとなり、もはや意識されることはないが、その重要性に変わりはない。

世界中で医療関連感染（Health Care-associated Infection : HCAI）いわゆる院内感染が大きな問題となっている。本邦において1990年後半から院内感染対策が実施されているが、薬剤耐性菌はひそかに野火のように広がっている。

現在、先進国の近代的病院の5~10%の患者が1種類以上の細菌に感染している。2017年度、アメリカ疾病予防管理センター（CDC）は薬剤耐性菌感染患者数が年間200万人存在し、2万3千人が死亡したことを報告した。アメリカ感染症学会は、現時点では世界の薬剤耐性菌による死者数は70万人であるが、2050年には1000万人を超え、悪性腫瘍による死者を超えると思われている。



世界保健機構（WHO）は2009年「患者安全を進める最初の挑戦」とし「清潔なケアがより安全なケア」を発表した。日本は2016年にこの宣言を批准した。

WHOの感染防御対策として、標準予防策や抗菌薬使用のコントロール、感染経路別対策が打ち出された。特に尿路感染、外科処置部位感染、呼吸器感染、血流感染を重点対象とした。この4か所の感染に共通することは手指衛生の不足である。

「清潔なケアがより安全なケア」の序文に、ほとんどの感染は適切な手指衛生により予防できると記されている。手指衛生は院内感染を減らすただ一つの効果的な方法であるが、医療従事者により守られていないことが問題であると指摘している。

医療従事者が適切な手指衛生を実行するためには、病原体がいつどう移動するかを理解することが重要である。

ステップ1：病原菌は患者の皮膚および周囲のものに付着している。

ステップ2：直接的・間接的接触によって、患者の菌が医療者の手指を汚染する。特に患者を抱える、脈・血圧・体温を測定するといった「クリーンな処置」により看護師の手指は汚染される。集中治療室で働く看護師の15%がその手指に10000個の黄色ブドウ球菌をつけている。一般的な医療施設で働く30%の看護師の手に3800個の黄色ブドウ球菌、17～30%に3400～38000個のグラム陰性桿菌が付着している。

ステップ3：病原菌は医療者の手指上で生存し増殖する。病原菌が医療者の手指上で生存できる期間は様々である（2～60分）。手指衛生動作をしないでおくと、ケアの時間が長ければ長いほど、手指汚染度は増大する。

ステップ4：洗浄剤の量や、消毒時間が不十分であることで手指の汚染除去が不完全になる。石けんと流水による手洗い後に試験をすると、通過菌（Transient microorganisms）はまだ手指上から分離されたが、アルコールベースの消毒剤による擦式手指衛生は、これよりはるかに効果的であることが証明された。（図1）

ステップ5：病原菌は患者Aから患者Bに、医療者の手を通じて移動する。汚染された手で侵襲的機器を操作することは、患者の病原菌を感染のリスクのある部位に移動させることを意味する。

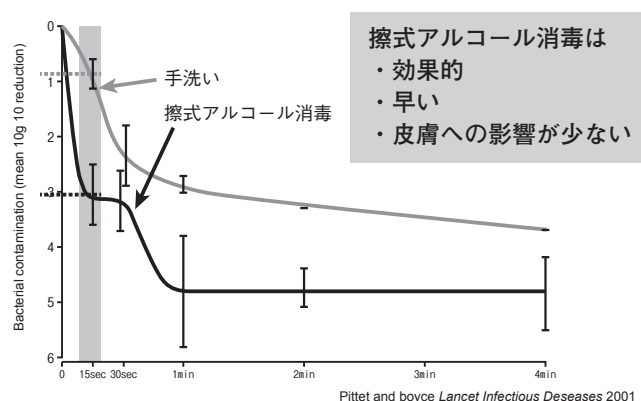


図1 手指衛生の時間と細菌の減少

手指衛生が順守できない理由として、

- 理論理解が理解できていない。
- 時間がない、忙しい。
- 手洗い手指消毒の方法が理解できていない。
- 手荒れがひどい。
- 院内感染を起こしてはいけないことを、管理者を含め覚悟していないこと

が挙げられた。

WHOの報告では施設別手指衛生遵守率は40%を下回る。看護師、助産師は50～65%で手指衛生が行われているが、医師の遵守率は30%に留まる。

医療者が手指衛生を妨げる主な原因として時間的制約が挙げられる。流水と石けんの適切な手洗いには40～60秒要するが、医療従事者に与えられる平均時間は10秒以下である。

2002年に発表されたCDCによる手指衛生ガイドラインでは、従来行われていた石けんと水洗いを用いた方法から擦式アルコールを用いた方法への転換が推奨された。本邦でもウォーターレス法が推奨されたが、手術室においてはツースクラブ法、すなわち消毒薬と水を用いて手を洗い、続いてアルコール製剤を手にもぬる方法が多く用いられている。この方法では、手は湿った状態にあるためアルコールは完全に蒸発できない。そのため皮膚はぬるぬるした状態が続き手荒れの原因にもなる。WHOの提唱する手指衛生は、目で見て汚れていれば2～5分流水と石けんで洗い、汚れていなければ手が乾いた状態で20秒間(手術前は90秒間)アルコールを擦ることをはっきりと分けるよう指導している。

手指衛生のゴールドルールは

- 1、擦式アルコールを用い、患者をケアしたその場所で手指衛生を行うこと(ポイントオブケア)。
- 2、医療従事者が手指衛生を必ず実施しなければならない5つのモーメントがあることを理解することである。

WHOは医療従事者の教育の手助けに、個人間の違いを最少にするために、遵守率を上げるために5つのモーメントに関し統一化されたビジョンを提案している。(図2)

敗血症の減少に偉大な功績を残し、近代外科学の父と称されたりスターは、「ハエや虫を見るように、はっきりと病原微生物を心の目で見なければいけない。本当に知的な目ではっきりとそれらを見ることのできるならば、病原微生物に対する防御は適切に行われる。しかし、警戒心はとかく緩みがちになる。」と戒めた。

2017年のWHOの手指衛生の標語は「Are your hands clean?」である。乾いた手に適量のアルコールを5秒間塗りこんでしっかり擦る。患者の命を救うために、あなた自身が簡単なそして単純な感染症対策を忠実に実行する必要がある。



図2 手指衛生の“5モーメント”

## 自然のまま、そのままの乾燥青汁「ピロサン」の頒布

同窓生関係でかなりご使用が増している「ピロサン」を加多乃会事業部にて、頒布のお取り次ぎをいたしております。

価格(同窓生特別価格)は下記の通りです。ご希望の方は直接加多乃会へお申し込み下さい。送料および荷造り手数料として、一律1,000円頂戴いたします。

◎顆粒 6箱 29,160円 1ケース(12箱入) 47,300円

◎固形 6箱 16,850円 18箱 48,600円 1ケース(36箱入) 73,440円

申し込み先 〒573-1010 枚方市新町二丁目5番1号 関西医科大学13F

一般財団法人加多乃会 事業部ピロサン係迄

TEL 072-804-2171 FAX 072-804-2177

# 講 演 会

守口市・枚方市の要請に応じて平成30年度講演会を次の通り開催いたしました。

## 平成30年度「講演会」日時と内容

回	開催日	場 所	演 題	講師（敬称略）
1	平成30年 9月18日	枚方市 保健センター	わかりやすい肝炎の最新治療	関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科 講師 吉田 勝紀 ⑥⑥
2	11月19日	枚方市 保健センター	早期胃がんについての最近の話題	関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科 准教授 森 茂生 ⑥③
3	平成31年 1月31日	枚方市 保健センター	認知症の初期症状と予防的取り組み	関西医科大学総合医療センター 精神神経科 病院准教授 吉村 匡史 ⑥④



## わかりやすい肝炎の最新治療

関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科 講師 吉田 勝 紀（66回生）



慢性肝炎の主な原因はB型、C型肝炎ウイルスです。自覚症状がないため放置されがちですが、10年から20年で肝硬変、肝癌に進みます。B型肝炎ウイルスのキャリアの約10%が慢性肝炎になり、そのうちの約10%が肝硬変に進行します。C型肝炎の場合は、感染すると40%が慢性化し肝硬変に進展します。

肝硬変となると腹水、浮腫、消化管出血、黄疸、肝性脳症といった症状を示します。血清アルブミン値が3.0g/dL以下に減少すると、血管の中に水分を保たせておく膠質浸透圧が低下する為、腹水が発生しやすくなります。肝硬変では肝臓に入る門脈の抵抗が増え周囲にバイパスができ、胃・食道静脈瘤が形成されやすくなるため、内

視鏡検査が必要です。食道静脈瘤の治療は硬化療法・静脈瘤結紮術を組み合わせることで、予後が改善されてきています。肝性脳症も肝硬変により発現する症状の一つで、意識障害を主とするさまざまな精神神経症状を示します。肝性脳症を起こす原因として注目されているのは血中のアンモニアです。腸ではアミノ酸や腸管内に排泄された尿素から腸管細菌によってアンモニアが生成されますが、肝臓で解毒されます。肝硬変ではこのアンモニア処理能力が低下する為、高アンモニア血症となります。

肝硬変とならないようにするために以前はインターフェロン治療が用いられてきましたが、C型肝炎ではインターフェロンを使わない治療が主流となっています。これにより、95%以上の人でウイルスを体内からなくすことが可能となっています。しかも、副作用が少なく、これまで合併症でインターフェロンが使えなかった患者さんでも短期間で安全に治療ができるようになりました。一方、B型肝炎も新薬が開発され、ウイルスを持続的に低く抑える治療が可能となりました。肝炎ウイルスを体内から排除したりコントロールすることは容易になりましたが、これまで悪くなってきた肝臓病そのものが完治したわけでは決してありません。肝臓病そのものの経過観察を引き続きお受けになることが重要です。特に肝臓病が進行してしまった方は、肝がん合併の危険性が引き続き残っており、定期的な超音波検査やCT・MRI検査などの画像検査を受けることが重要です。

肝臓は、とても我慢強い臓器ですが限界があります。肝臓病は初期の段階、つまり、検診などで肝機能異常が指摘された段階で肝臓専門医に相談して頂ければ、根本的な治療が出来ることが多いと言われています。またすでに肝機能が低下していても、治療によってその進行を遅らせることも出来ます。肝臓で必要なタンパク合成をしたり、有害な物を処理することが出来なくなった症状が出現したときにはかなりの肝機能を失っています。肝臓病は、初期の段階で対応すれば決して怖い病気ではありません。できるだけ早く病院で検査を受けることが必要です。

## 早期胃がんについての最近の話題

関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科 准教授 森 茂 生（63回生）



日本人の死亡原因の第一位は癌であり、そのうちで胃癌は約15%を占めます。胃癌検診の普及や内視鏡検査などの機器の進化や診断技術の向上により早期胃癌が多く発見されるようになり、死亡率は低下傾向です。しかし、部位別の罹患率ではまだ増加傾向で男性では第一位、女性では第三位で、いまだ注意が必要な癌です。

胃癌は胃の粘膜にできた悪性腫瘍で、男性に多くみられ50～60歳代の人に好発しています。胃癌のリスクとして、ヘリコバクター・ピロリ菌が確実であることがWorld Cancer Research Found・American Institute for Cancer ResearchやWHO・国際がん研究機関から報告されており、食塩の過剰摂取もほぼ確実と指摘されています。早期胃癌は無症状な事が多く、検診が重要ですが、検診での胃癌発見率は内視鏡検査で0.13%となっています。

早期胃癌に対する治療としては、内視鏡的治療と外科的治療があり、最近内視鏡的治療で治癒切除できることが多くなってきました。内視鏡的治療としては、内視鏡的粘膜切除術（EMR）と内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）があり、発見された胃癌の38.5%に施行されています。内視鏡的治療の適応条件としては、1) 絶対適応病変 ①EMR/ESD適応病変:2cm以下の肉眼的粘膜内癌と診断される病変で組織型が分化型（固まって増殖するタイプ）、潰瘍のないもの ②ESD適応病変：2cmを超える肉眼的粘膜内癌、分化型癌、潰瘍のないもの。3cm以下の肉眼的粘膜内癌、分化型癌、潰瘍のあるもの（UL1） 2) 適応拡大病変：2cm以下の粘膜内癌、未分化癌、潰瘍のないもの。3) 相対適応病変：上記1)、2) 以外のもので、年齢や併存疾患など何らかの理由で外科的胃切除を選択し難い早期胃癌です。2018年1月にガイドラインが改定され、内視鏡的切除術の適応が今までより拡大されました。治療効果は、早期胃癌 {cT1aの上記1)、2)} に対する内視鏡的粘膜下層剥術（ESD）後の5年生存率が97.0%となっています。

次に、胃癌検診と予防についてです。胃癌リスク検診としてABC検診が自治体や企業検診などにて行われ、ピロリ菌感染の有無と血中ペプシノーゲン値による胃粘膜萎縮の程度により、その後の精査の必要性や経過観察についての推奨を提示することができます。我が国のピロリ菌感染率は上下水道の整備発達により低下傾向ですが、胃癌発症予防のためにはピロリ菌除菌が必要です。若年での除菌が勧められ、40歳未満が望ましいと報告されています。高齢者の除菌療法も有効であるとの報告が多く、お孫さんなどへの感染予防やアスピリン、NSAIDs等による消化性潰瘍発症予防に有効です。また、除菌に成功した場合、胃癌発症は抑制されるも30%の危険度が残りますので、定期的な胃内視鏡検査が必要になります。最近、内視鏡検査による胃癌検診が枚方市をはじめ多くの自治体で導入されつつあります。早期胃癌は、早く見つけ低侵襲に治療すれば怖くない病気と言えます。早期発見の為には、胃内視鏡などによる検診が重要です。

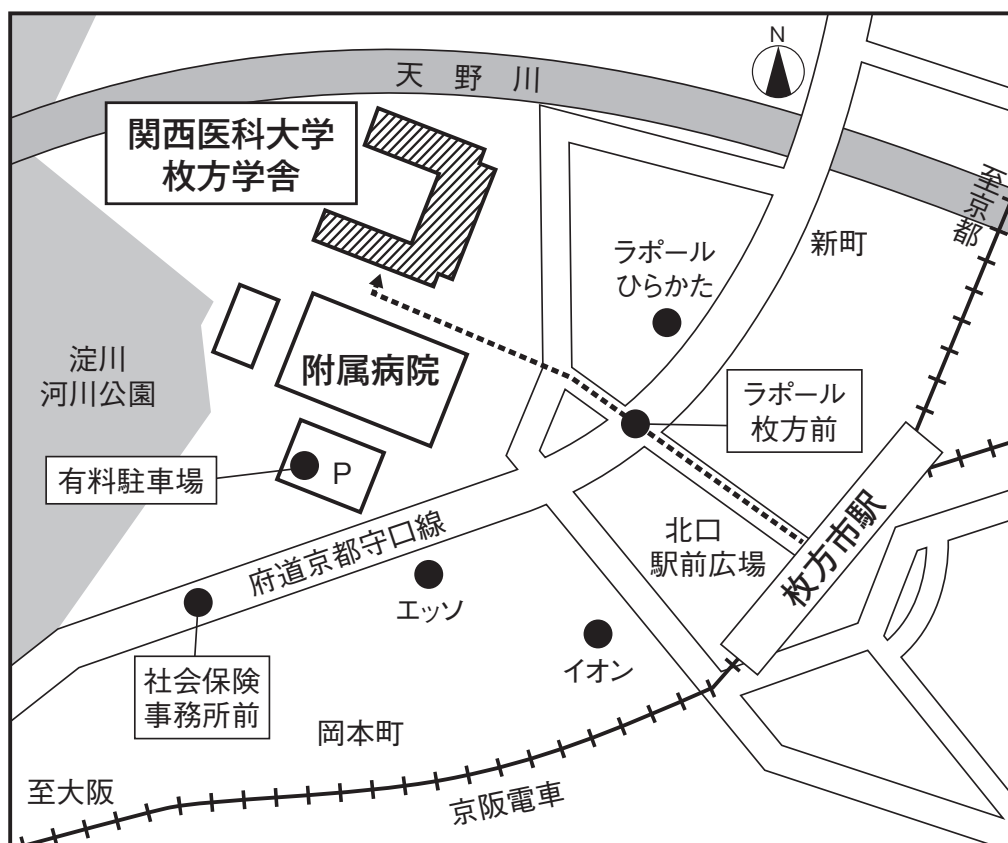
## 編集後記（加多乃会のページ）

昨年8月、東京医大の不正入試のニュースに始まり、スポーツ界のパワハラ、よきニュースといえば、本庶 佑先生のノーベル賞、大坂なおみ選手のテニス世界ランキング1位、スケート、水泳界などの活躍は、オリンピックの期待が高まってきます。大阪市、北海道、西日本各地の地震国の日本の備えは、その重要さも考えねばならなくなった時代です。

今回は、加多乃会の勉強会の整形外科学講座 齋藤貴徳教授、心臓血管外科学講座 善甫宣哉診療教授、麻酔科学講座 村尾浩平診療教授による、改めて目から鱗の講演をしていただきました。加多乃会への美術品寄贈による会議室の展覧は、美術館さながらとなっており、編集後記を借りまして感謝申し上げます。

昨今は俳句熱も上昇いたしまして、俳壇の充実を楽しみにしています。新しい元号となり、より一層の会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。 (T・E)

### 案内図



場所：枚方市新町2-5-1 枚方学舎13F ◎京阪枚方市駅から徒歩5分

京阪枚方市駅まで

- 京阪京橋駅から15分 (特急利用時)
- 京阪淀屋橋駅から21分 (特急利用時)
- 京阪祇園四条駅から28分 (特急利用時)



# 豊かな人生は、安心の先にある。

— ロングライフはお約束します —

五ツ星品質の  
グランドエイジホーム。  
(有料老人ホーム)



ロングライフお客様満足度調査  
株日本能率協会総合研究所調べ



※調査実施:2016年12月(ご入居の自立のお客様132名を無作為に抽出)



**ご見学会で、お確かめください!**

無料 随時受付 時間:10:00~14:00~ 1日限定2組様・完全予約制

※見学会当日は、ご入居のお申し込みは受け付けておりません。

全国23の有料老人ホームを展開。1986年の創業よりケアサービスひと筋34年のロングライフにお任せください。

首都圏	★ロングライフ・アークインズ宮崎台	●ロングライフ・アークインズたま	●ロングライフ・アークインズ厚木	●ロングライフ・アークインズ西	★ロングライフ・アークインズ静岡呉服町	静岡 官民一体プロジェクト
兵庫	●ロングライフ・アークインズ小谷	★ロングライフ・アークインズ岩屋	●ロングライフ・アークインズ厚木	●ロングライフ・アークインズ西	●ロングライフ・アークインズ中京	京都 ★ロングライフ京都嵐山
大阪	●ロングライフ・アークインズ阿倍野	●ラビアンローズ千里山	●ロングライフ・アークインズ西	●ロングライフ・アークインズ西	●ロングライフ・アークインズ西	大阪 ★ロングライフみなせ
	●ラビアンローズ緑地公園	●ロングライフ・アークインズ西	●ラビアンローズ高槻	●ラビアンローズ高槻	●ラビアンローズ上野芝	グループホーム ★ラビアンローズ宝塚 ■グループホームみなせ

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ★住宅型有料老人ホーム ■グループホーム(認知症対応型共同生活介護)



人生は、まだまだ未来になる。

日本ロングライフ

Resort & Longlife



大阪本社:〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階  
東京本社:〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-18 東京建物室町ビル3階

お問い合わせは、お客様相談室へ

こ こ わ ふ く し

0120-550-294

受付時間  
9:00~18:00  
365日受付

<http://www.j-longlife.co.jp> 日本ロングライフ



社会医療法人真美会  
**中野こども病院**

---

診療科目：小児科

---

理事長・院長 木野 稔 (45回生)  
副院長 荒木 敦 (53回生)

〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17

**TEL 06-6952-4771(代)**

<http://www.nakano-kodomo.or.jp>



# 医療法人 河北会

理事長 板垣通孝(43回生)

## □ 河北病院

院長 板垣通孝(43回生)

副院長 柴田英治(57回生)



### 診療科目

内科・心療内科・外科・整形外科・皮フ科  
リハビリテーション科・放射線科・訪問診療・特定健診

- 介護療養型医療施設…… 48床
- 医療療養病床…………… 82床
- 一般病床(障害者施設)… 40床

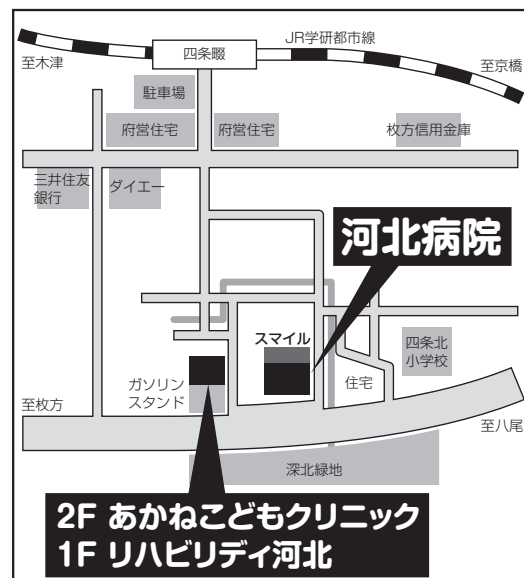
〒572-0815  
大阪府寝屋川市河北東町19番1号

TEL 072(822)3663

FAX 072(822)4460

<http://www.kahoku.or.jp/>

E-mail : [home@kahoku.or.jp](mailto:home@kahoku.or.jp)



### 関連施設

□ 居宅介護支援事業所かほく

TEL 072(821)1631

□ 訪問介護ステーションかほく

TEL 072(822)3443

□ 有料老人ホーム スマイル

TEL 072(822)2323

□ あかねこどもクリニック

TEL 072(824)3781

□ リハビリディ河北

TEL 072(823)5281



# 医療法人 協仁会

日本医療機能評価機構認定病院

## 小松病院

〒572-8567 大阪府寝屋川市川勝町11-6  
TEL 072-823-1521 FAX 072-823-1588

総院長 一番ヶ瀬 明 (48回生)

院長 齊藤 幸人 (42回生)

院長代行 神 畠 宏 (51回生)

クリニックこまつ

介護老人保健施設 松柏苑

グループホーム・なごやか

グループホーム第2なごやか

グループホーム第3なごやか

訪問看護ステーション こまつ

健康管理センター

クリニックこまつ 在宅医療室

こまつ デイサービスセンター

こまつケアプランセンター

緩和ケア病棟・ひまわり

病児保育所つくし



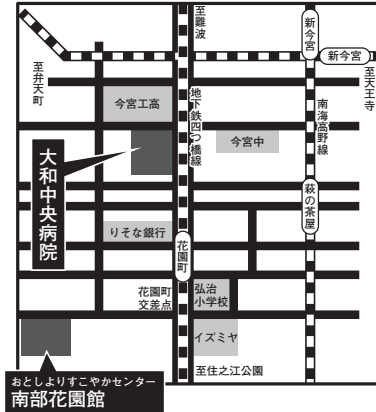
# 特定医療法人 ダイワ会

会長 南 克昌 (38回生)

だい わ ちゅう おう びょう いん  
大 和 中 央 病 院



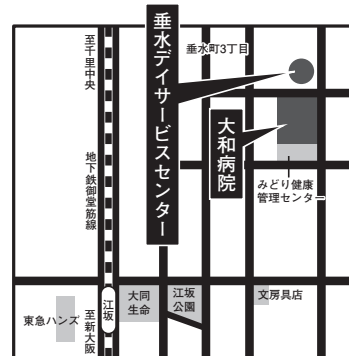
〒557-0025  
大阪市西成区長橋1丁目2番7号  
TEL 06-6632-6181 (代表)  
FAX 06-6632-6133  
地下鉄 四つ橋線『花園町』駅  
JR・南海 『新今宮』駅



だい わ びょう いん  
大 和 病 院



〒564-0062  
吹田市垂水町3丁目22番1号  
TEL 06-6380-1981 (代表)  
FAX 06-6380-2568  
地下鉄 御堂筋線『江坂』駅  
  
垂水サービスセンター  
TEL 06-6380-1986  
  
垂水居宅介護支援事業所  
TEL 06-6380-2187  
  
垂水訪問看護ステーション  
〒564-0062  
吹田市垂水町3丁目19番5号  
TEL 06-6380-2170



大阪市立介護老人保健施設

おとしよりすこやかセンター

なんぶはなぞのかん

南部花園館

〒557-0033  
大阪市西成区梅南1丁目4番26号  
TEL 06-6651-8700 (代表)  
FAX 06-6651-8719

おとしよりすこやかケアプランセンター

南部花園館



## 医療法人 藤井会

理事長 藤井 弘史 (59回生)

### 藤井外科

〒579-8004 東大阪市布市町3丁目6番21号  
TEL (072) 985-3051

### みくりや診療所

〒577-0034 東大阪市御厨南2丁目6番3号  
TEL (06) 6787-2508

### 石切生喜病院

〒579-8026 東大阪市弥生町18番28号  
TEL (072) 988-3121

### 大東中央病院

〒574-0042 大東市大野2丁目1番11号  
TEL (072) 870-0200

### 深江クリニック

〒537-0002 大阪市東成区深江南3丁目22番13号  
TEL (06) 6977-2955

### 住道クリニック

〒574-0046 大東市赤井1丁目13番1号  
TEL (072) 872-9555

### 藤井会リハビリテーション病院

〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号  
TEL (072) 983-7811

### 北河内藤井病院

〒575-0003 四條畷市岡山東3丁目1番6号  
TEL (072) 879-5311

### 香芝生喜病院

〒639-0252 奈良県香芝市穴虫3300番地3  
TEL (0745) 71-3113

### 藤井会ケアプランセンター

〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号  
TEL (072) 983-7806

### 藤井会新石切デイサービス

〒579-8014 東大阪市中石切町1丁目8番22号  
TEL (072) 987-5005

### 藤井会訪問看護ステーション

〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号  
TEL (072) 983-7622

### 看護多機能施設さくら

〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号  
TEL (072) 983-7633



社会医療法人社団 沼南会



日本医療機能評価機構認定病院

## 沼隈病院

福山市沼隈町中山南 469-3  
☎(084)988-1888

私たちは、医療・看護・介護のトータルサービスで、地域のみなさまが笑顔でいきいきと人生をおくることができるよう支援します。

理事長 檜谷 鞠子 (39回生)

介護老人保健施設 **ぬまくま**  
訪問リハビリテーション  
通所リハビリテーション(デイケア)  
☎(084)988-1165

## 常石医院

☎(084)987-0045

まり居宅介護支援事業所  
☎(084)988-0065



まり高齢者複合施設 **山南** 福山市沼隈町中山南 1387 番地  
☎(084)988-1767

山南クリニック  
まりデイケア 山南  
まり介護付高齢者住宅 山南  
まりショートステイ 山南  
まり訪問看護ステーション(訪問リハビリ)  
まり訪問介護ステーション  
山南居宅介護支援事業所



社会福祉法人 まり福祉会

まりデイサービス内海

まりホーム熊野

まりホーム内海

グループホームぬまくま

特別養護老人ホームまり沼隈





抗ウイルス化学療法剤

処方箋医薬品<sup>注)</sup> 薬価基準収載

# マヴィレット<sup>®</sup> 配合錠

**MAVIRET<sup>®</sup>**

グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル配合剤

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

● 効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

2018年8月作成  
JP-MAVI-180080

製造販売元【資料請求先】  
アッヴィ合同会社

〒108-6302 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館  
TEL 03-4577-1111 FAX 03-4577-1011  
<http://www.abbvie.co.jp/>

abbvie





抗ウイルス剤  
**ハーボニー® 配合錠**  
 HARVONI® Combination Tablets  
 (レジバシビル/ソホスビル配合錠)  
処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

抗ウイルス剤 [薬価基準収載]  
**ソバルディ錠400mg**  
 SOVALDI® Tablets (ソホスビル製剤)  
処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること



抗ウイルス化学療法剤  
**ベムリディ® 錠25mg**  
 VEMLIDY® Tablets (テノホビルアラフェナミドフマル酸塩錠)  
【創薬】 処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  
**ギリアド・サイエンシズ株式会社**  
〒100-6616 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサスタワー 16階  
<http://www.gilead.co.jp/>

資料請求先  
**メディカルサポートセンター**  
フリーダイヤル: 0120-506-295 9:00-17:30 (土日祝日及び会社休日を除く)

STR18SW0045AD  
 2018年2月作成

# 安心・安全のDOCTOR'S BANK

大阪府医師信用組合 “いししん” を是非ご利用ください。

大阪府医師信用組合 “いししん” は昭和27年に大阪府医師会代議員会の決議を受けて設立した大阪府医師会員の専門金融機関です。医師会員様の相互扶助をお手伝いすることを使命として、背筋を真っ直ぐに伸ばし「堅実な経営」を伝統として今日まで活動しております。ご預金、ご融資のみならず、大阪府医師会・地区医師会の会費、医師国保の保険料、その他関連団体の会費等を、先生方の銀行口座から自動引き落としする業務も行っており、医師会員様のお役に立てることを誇りとして、日々業務に努めております。

## ローンのご案内

### 新規開業ローン

■ 診療所の開業資金に

	限度額	期間
無担保型	5,000万円	20年以内
有担保型	2億円	35年以内

### ステップアップローン

■ 診療所の設備資金に

	限度額	期間
無担保型	5,000万円	20年以内
有担保型	3億円	35年以内

### 診療所継承ローン

■ 診療所の継承資金に

	限度額	期間
無担保型	5,000万円	20年以内
有担保型	3億円	35年以内

### オートローン

■ 自動車の購入資金に

	限度額	期間
無担保型	1,000万円	7年以内

### 研修医応援ローン

■ 研修医の結婚・旅行・自動車購入等資金に

	限度額	期間
無担保型	500万円	5年以内

この他にも各種ローンをご用意しております。  
最新のローン金利等の条件については、  
本店融資課までお問い合わせください。

融資お問い合わせ専用番号（平日9:00～17:00/土日祝休） ☎543-0011

**0120-947-604**

大阪市天王寺区清水谷町19番14号  
（大阪府医師会保健医療センター1階）

ホームページ用  
QRコード



## 関西医科大学卒業生の皆様へ



プレミスト茨木 西中条(分譲済)



永く、優しく、美しく  
それがダイワハウスのマンションづくりです



ダイワハウスの分譲マンション プレミストシリーズ



プレミスト南青山(分譲済)



プレミスト代沢(分譲済)

お住まいに関するご相談は下記までお問い合わせください。

法人提携グループ Tel.06-6342-0980

■営業時間/9:00~18:00  
■休日/土・日・祝 ■担当/柏原

ダイワ プレミスト

検索



Daiwa House®  
大和ハウスグループ

**大和ハウス工業株式会社** 本社マンション事業推進部

大阪市北区梅田三丁目3番5号 〒530-8241  
Tel.06-6342-0980 Fax.06-6342-1580

建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-27・28)第5279号 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(15)第245号 (一社)大阪府宅地建物取引業協会会員/(一社)不動産協会会員/(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟

www.daiwahouse.co.jp